

茨城大学工学部年報

2015

(対象年度:2014)

茨城大学工学部

まえがき

「茨城大学工学部年報 2015」は 2014 年度における茨城大学工学部ならび大学院理工学研究科工学系の教育活動，研究活動，社会連携活動，国際交流活動，施設・設備および管理運営の状況等の記録を取りまとめたものです。

本年報をみて頂きますと，茨城大学の教職員の皆様の活発な活動がご覧頂けると思います。

さて，既にご存じのことと存じ上げますが，今，茨城大学を含めて，国立大学は大学改革のまただ中にあります。今回は大学を取り巻く状況とそれに対する工学部の対応についてご紹介したいと思います。

さて，平成 28 年度より国立大学は第 3 期中期目標期間(平成 28 年から平成 33 年)が始まります。文科省から公表された国立大学改革プランによれば，第 3 期中期目標期間において，持続的な“競争力”を持ち，高い付加価値を生み出す国立大学へ，改革を求められています。

工学部の第 3 期においては「既設学部・研究科組織の教育を担保しながら，ミッションの再定義に基づいた改革を着実に進める」を改革の方向性と決めました。工学部のミッションの再定義のポイントは前回にも説明しましたが以下の 3 点にまとめられます。

- (1) 茨城県東海地域に隣接した地域的特色を生かし，日本原子力研究開発機構など周囲の研究機関と連携した原子科学関連の高度専門職業人養成の役割を果たす。
- (2) 機械系，電気系など工学各分野において，我が国の産業基盤を支える高度な技術者を育成する。
- (3) 茨城県をはじめとする周辺地域への工学教育の機会均等に寄与する。

そこで，平成 28 年度には，上記のミッションの再定義のポイント(1)の遂行を目的に，大学院理工学研究科後期課程の改組と量子線科学専攻の設置を（前期・後期課程）を申請し，8 月に設置が認可され，平成 28 年 4 月からスタートします。

改組の具体的内容は，理工学研究科の後期課程を 6 専攻から量子線科学専攻，複雑系システム科学専攻，社会インフラシステム科学専攻の 3 専攻に再編し，前期課程に量子線科学専攻を設けたことです。た。量子線科学専攻は 5 年一貫の教育カリキュラムとなっています。この改組の目的は，理工融合教育による量子線科学分野における全国的な教育・研究拠点化に基づく大学の機能強化と社会の幅広い分野で活躍できる博士人材の育成を目的としています。量子線科学専攻前期課程については既に学生募集を開始し，入学定員 102 名に対して，110 名の合格者を出しております。

改組の内容の詳しい内容は

http://www.gse.ibaraki.ac.jp/admission/2016_master_20150930.pdf

をご覧ください。

H29 年はミッションの再定義のポイント(2)と(3)の遂行すべく、工学部と理工学研究科前期課程の専門分野の再編・統合と学部・前期課程の入学定員の増員を文科省と交渉を始めました。

このような改組を行うことができるのも、本年報に記載されている本学教職員のご活躍の賜であると厚く感謝致します。

最後に、本年報の刊行に尽力された教職員の皆様に心から感謝致します。

2016 年 3 月

茨城大学工学部長

大学院理工学研究科長

馬場 充

目 次

I	沿革・理念・目的	1
1.	工学部	1
2.	理工学研究科博士前期および後期課程（工学系）	2
II	教育活動	4
1.	学部教育	4
1.1	在籍者数	4
1.2	卒業生の産業別就職数	11
1.3	就職支援	12
2.	大学院博士前期課程教育	13
2.1	在籍者数	13
2.2	修士論文題目一覧	14
2.3	修了生の進路状況	25
3.	大学院博士後期課程教育	26
3.1	在籍者数	26
3.2	学位授与状況	26
3.3	博士論文題目一覧	27
3.4	修了生の進路状況	29
4.	特色ある教育活動	30
4.1	学部教育	30
(1)	社会人入門特別講義	30
(2)	学外実習（インターンシップ）	31
(3)	単位互換制度	32

(4) オープンキャンパス	58
4.2 大学院博士前期課程教育	59
(1) 社会公開セミナー	59
(2) 国際コミュニケーション基礎	60
(3) 実践国際コミュニケーション	61
(4) 工学特別講義（国際コミュニケーション演習）	62
(5) 工学特別講義（実践産業技術特論）	63
(6) 工学特別講義（組込みシステム開発特別演習）	65
(7) 工学特別講義（組込みシステム開発特論）	66
(8) 学外実習（インターンシップ）	67
5. 教育環境（学部および大学院）	68
5.1 学費・住居などの支援体制	68
(1) 奨学金受給者	68
(2) 授業料免除者	69
(3) 学寮制度	72
(4) 学習・生活相談	72
(5) 課外活動	73
6. 教育改善	75
6.1 点検・評価活動	75
6.2 工学部後援会と懇談会	76
Ⅲ 研究活動	77
1. 研究業績（著書，論文等）	77
1.1 著書	77
1.2 学術誌論文	79
1.3 国際会議論文	95
1.4 大学・研究所等紀要	109
1.5 総説・解説・報告等	110
1.6 その他	112

1.7	知的財産権	114
1.8	受賞・表彰	116
2.	外部獲得資金	118
2.1	競争的資金（科学研究費補助金等）	118
2.2	民間等との共同研究・受託研究	125
2.3	奨学寄付金	131
IV	教職員組織と管理・運営	133
1.	組織	133
2.	教育組織	135
2.1	教員名簿（学部・領域）	135
2.2	教員名簿（大学院）	137
2.3	教職員数	139
3.	各種委員会と構成	140
3.1	学科	140
3.2	領域	141
3.3	大学院理工学研究科	142
V	社会における活動	143
1.	セミナー	143
2.	教員の学外活動	144
2.1	学外教育	144
2.2	兼業・兼職	146
VI	国際交流	153
1.	国際交流実績	153
2.	留学生の受入れと支援	154

3. 国際交流会館の概要と実績	157
4. 大学間および学部間学術交流協定	158

I 沿革・理念・目的

1. 工学部

沿革

- 1939年 多賀高等工業学校創立（機械科，精密機械科，原動機械科，電気科，金属工業科）。
- 1942年 通信工学科を増設。
- 1944年 多賀工業専門学校に改称および改組（機械科，原動機械科，電気科，金属工業科，電気通信科，舶用機関科（新設））。
工業教員養成所を附設。
- 1949年 旧制の水戸高等学校，茨城師範学校，茨城青年師範学校，多賀工業専門学校を包括し，文理学部・教育学部・工学部（機械工学科，原動工学科，電気工学科，金属工学科）の3学部からなる新制国立茨城大学として発足。
- 1950年 工業短期大学部（機械工学科，電気工学科，工業化学科，電子工学科）を併設。
- 1956年 工業化学科を増設。
原動工学科を機械工学科に統合。
- 1959年 精密工学科を増設。
- 1964年 電子工学科を増設。
- 1966年 機械工学第二学科を増設。
- 1972年 情報工学科を増設。
- 1981年 建設工学科を増設。
- 1990年 6学科（機械工学科，物質工学科，電気電子工学科，情報工学科，都市システム工学科，システム工学科）に改組。
- 1991年 工業短期大学部を廃止し，システム工学科 B コースを設置。
- 1996年 メディア通信工学科を増設。
- 2005年 8学科（機械工学科，マテリアル工学科，生体分子機能工学科，電気電子工学科，メディア通信工学科，情報工学科，都市システム工学科，知能システム工学科）に改組。

理念および目的

科学技術はますます高度化し、しかも先端技術が世界に急速に普及しつつある現在、大学は、次世代の科学技術を支え、その進展について深く洞察できる人材を育成するとともに、人と自然環境に調和した独自の科学技術を創造し発信していかなければならない。茨城大学工学部は、世界的視野で未来に向かってはばたく科学技術を創造する拠点として、絶えまない前進を続けている。工学部が掲げる理念は人と自然環境に調和した高度科学技術の実践であり、以下に示すような目的を掲げている。

- (1) 専門的な科学技術の習得を目指す高い目的意識を持ち、習得に必要な基礎学力とコミュニケーション能力を有する人材を養成する。
- (2) 国際的活動を含めた社会とのかかわりへの関心を持ち続け、科学技術に関する高度な知識の習得と論理的思考力の向上を目指す人材を養成する。
- (3) 高い工学的専門性を備えた職業人を育て、持続可能な社会の形成や発展に貢献する。

2. 理工学研究科博士前期および後期課程（工学系）

沿革（工学系に関連する項目を抜粋）

- 1968年 大学院工学研究科(修士課程)を設置（機械工学専攻，電気工学専攻，金属工学専攻，工業化学専攻，精密工学専攻，電子工学専攻）。
- 昭和45年4月 大学院工学研究科(修士課程)機械工学第二専攻を増設。
- 昭和51年4月 大学院工学研究科(修士課程)情報工学専攻を増設。
- 昭和60年4月 大学院工学研究科(修士課程)建設工学専攻を増設。
- 平成5年4月 大学院工学研究科(修士課程)を改組し，博士前期課程（機械工学専攻，物質工学専攻，電気電子工学専攻，情報工学専攻，都市システム工学専攻，システム工学専攻），博士後期課程（物質科学専攻，生産科学専攻，情報・システム科学専攻）を設置。
- 平成7年4月 大学院工学研究科を理工学研究科に名称変更，大学院理学研究科(修士課程)を廃止し，大学院理工学研究科(博士前期課程（工学系6専攻と理学系3専攻），博士後期課程（工学系3専攻と理学系1専攻）)に再編成。
- 平成12年4月 大学院理工学研究科(博士前期課程)メディア通信工学専攻を増設。
- 平成16年4月 大学院理工学研究科(博士前期課程・博士後期課程)応用粒子線科学専攻を増設。

理念および目的

理工学研究科が掲げる理念は、自然や人間社会に対する深い洞察と高度な専門実践能力をもち、自然を探究して知識を体系的に組み立てながら問題を解決・評価することができる人材を育成すること、および世界レベルの学術研究を推進して社会に発信し、自然環境と調和した地域と人間社会の持続的発展に貢献することであり、以下に示すような目的を掲げている。

- (1) 多様な科学的創造能力と問題解決能力を養成する教育研究プログラムにより、幅広い学際的視野と深い専門知識を修得させ、事象への探求心並びに創造性と実行力を併せもつ高度専門技術者・研究者を育成する。
- (2) 科学技術分野において、地域の特色を活用して、国際的・学際的な視野に立った先進的・開拓的な研究を推進し、世界レベルの研究拠点を形成する。
- (3) 教育・研究成果を積極的に地域や社会に還元して産業・文化・学術の発展に寄与する。

II 教育活動

1. 学部教育

1.1 在籍者数

(1) 研究生受入れ（日本人学生）

平成 26 年度研究生調べ（学部生）

学 科	受入数
機 械 工 学 科	0
生 体 分 子 機 能 工 学 科	0
マ テ リ ア ル 工 学 科	1
電 気 電 子 工 学 科	0
メ デ ィ ア 通 信 工 学 科	0
情 報 工 学 科	0
都 市 シ ス テ ム 工 学 科	0
知 能 シ ス テ ム 工 学 科	0
計	1

(5-2)学部生【留学生】

平成26年5月1日現在

入学年度別 学科等別	4月1日報告数				1年次 (14年度)				2年次 (13年度)				3年次 (12年度)				4年次 (11年度)				正規の修業年限を超えた者												男女別計		合計	
	男女別計		合計		在籍		休学		(10年度)				(09年度)				(05年度)																			
	在籍	休学	在籍	休学	在籍	休学	在籍	休学	在籍	休学	在籍	休学	在籍	休学	在籍	休学	在籍	休学	在籍	休学	在籍	休学	在籍	休学	在籍	休学	在籍	休学	在籍	休学	在籍	休学				
機械工学科	17	0	19	0	1	0	2	0	4	0	4	0	2	0	2	0	4	0	5	0	4	0	4	0	1	0	1	0	1	0	1	0	17	0	19	0
	2	0			1	0			0	0			4	0			0	0			1	0			0	0			1	0			0	0		
生体分子機能工学	2	0	6	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	3	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	6	0
	4	0			0	0			1	0			1	0			2	0			0	0			0	0			0	0			0	0		
マテリアル工学科	3	1	5	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	5	1
	2	0			0	0			0	0			0	0			2	0			0	0			0	0			0	0			0	0		
電気電子工学科	11	0	12	0	2	0	2	0	3	0	3	0	1	0	2	0	4	0	4	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	12	0
	1	0			0	0			0	0			3	0			1	0			0	0			0	0			0	0			0	0		
メテ'イア通信工学	8	0	10	0	1	0	2	0	3	0	3	0	2	0	2	0	2	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	10	0
	2	0			1	0			0	0			3	0			0	0			0	0			0	0			0	0			0	0		
情報工学科	7	0	7	0	2	0	2	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	7	0
	0	0			0	0			0	0			0	0			0	0			0	0			0	0			0	0			0	0		
都市システム工学	9	0	15	0	1	0	1	0	1	0	5	0	4	0	5	0	3	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	15	0
	6	0			0	0			4	0			1	0			1	0			0	0			0	0			0	0			0	0		
知能システム工学	4	0	5	0	0	0	0	0	1	0	2	0	2	0	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	5	0
	1	0			0	0			1	0			0	0			0	0			0	0			0	0			0	0			0	0		
小計	61	1	79	1	8	0	10	0	13	0	19	0	14	0	17	0	16	0	23	0	8	1	8	1	1	0	1	0	1	0	1	0	61	1	79	1
	18	0			2	0			6	0			3	0			7	0			0	0			0	0			0	0			0	0		
知能システム工学(B)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0			0	0			0	0			0	0			0	0			0	0			0	0			0	0			0	0		
合計	61	1	79	1	8	0	10	0	13	0	19	0	14	0	17	0	16	0	23	0	8	1	8	1	1	0	1	0	1	0	1	0	61	1	79	1
	18	0			2	0			6	0			3	0			7	0			0	0			0	0			0	0			0	0		

<注> (1)学生数の上段は男子数を、下段は女子数を表す。

(2)休学者数は、在籍者数の内数で示す。

(5-3)学部非正規生学生数

平成26年5月1日現在

区 分 学科等別	科目等履修生		研 究 生		特 別 聴 講 生		委 託 生		そ の 他		男 女 別 計		合 計	
	在籍	休学	在籍	休学	在籍	休学	在籍	休学	在籍	休学	在籍	休学	在籍	休学
機 械 工 学 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0												
生 体 分 子 機 能 工 学 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0												
マ テ リ ア ル 工 学 科	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	0	0												
電 気 電 子 工 学 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0												
メ デ ィ ア 通 信 工 学 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0												
情 報 工 学 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0												
都 市 シ ス テ ム 工 学 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0												
知 能 シ ス テ ム 工 学 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0												
そ の 他 学 科 に 所 属 し な い 者	12	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
	0	0												
計	12	0	12	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	13
	0	0												

- <注> (1) 学生数の上段は男子数を、下段は女子数を表す。
(2) 学部非正規生外国人学生は、別葉とする。

(5-4)学部非正規生外国人学生数

平成26年5月1日現在

区 分	科目等履修生				研 究 生				特別聴講生				委 託 生				そ の 他				男女別 計		合 計	
	在籍	休学	在籍	休学	在籍	休学	在籍	休学	在籍	休学	在籍	休学	在籍	休学	在籍	休学	在籍	休学	在籍	休学	在籍	休学	在籍	休学
機 械 工 学 科	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生 体 分 子 機 能 工 学 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マ テ リ ア ル 工 学 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電 気 電 子 工 学 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
メ デ ィ ア 通 信 工 学 科	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
情 報 工 学 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
都 市 シ ス テ ム 工 学 科	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0
	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
知 能 シ ス テ ム 工 学 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他 学 科 に 所 属 し な い 者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	3	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	4	0
	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0

<注> (1)学生数の上段は男子数を、下段は女子数を表す。

(5-5) 学部生退学者数

平成 26 年度

入学年度別 学科別	1 年 次 (14年度)		2 年 次 (13年度)		3 年 次 (12年度)		4 年 次 (11年度)		過年次生										男女別 計	合 計
									(10年度)		(09年度)		(08年度)		(07年度)		(06年度)			
	男女別	男女計	男女別	男女計	男女別	男女計	男女別	男女計	男女別	男女計	男女別	男女計	男女別	男女計	男女別	男女計	男女別	男女計		
機 械 工 学 科	0	0	2	2	0	0	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	0	0	8	8
生体分子機能工学科	0	0	2	2	3	3	1	1	2	2	1	2	1	1	0	0	0	0	10	11
マテリアル工学科	2	2	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4
電 子 電 子 工 学 科	0	0	3	3	0	0	2	2	0	0	3	3	1	1	1	1	0	0	10	10
メディア通信工学科	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	4	4
情 報 工 学 科	2	2	1	1	2	2	4	4	3	3	1	1	0	0	3	3	1	1	17	17
都市システム工学科	0	0	0	0	0	0	1	1	2	2	1	1	1	1	0	0	0	0	5	6
知能システム工学科	0	0	1	1	1	1	2	2	1	1	4	4	1	1	0	0	0	0	10	10
知能システム工学科 (B)	0	0	4	4	0	0	1	2	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	8	9
計	4	4	13	13	6	6	15	16	9	9	12	14	8	8	7	7	2	2	76	79
	0		0		0		1		0		2		0		0		0		3	

- <注> (1) 学生数の上段は男子数を、下段は女子数を表す。
(2) 外国人留学生及び大学院・専攻科生並びに聴講生は、別表とする。
(3) 編入学生数を含める。
(4) 除籍者数を含める。

(5-6) 学部生留學生退学者数

平成 26 年度

入学年度別 学科別	1 年次 (14年度)		2 年次 (13年度)		3 年次 (12年度)		4 年次 (11年度)		過年次生										男女別 計	合 計	
	男女別	男女計	男女別	男女計	男女別	男女計	男女別	男女計	(10年度)		(09年度)		(08年度)		(07年度)		(06年度)				
機 械 工 学 科	0 0	0	0 0	0	0 0	0	0 0	0	1 0	1	0 0	0	0 0	0	0 0	0	0 0	0	0 0	1 0	1
生体分子機能工学科	0 0	0	0 0	0	0 0	0	0 0	0	0 0	0	0 0	0	0 0	0	0 0	0	0 0	0	0 0	0 0	0
マテリアル工学科	1 0	1	0 0	0	0 0	0	0 0	0	0 0	0	0 0	0	0 0	0	0 0	0	0 0	0	0 0	1 0	1
電子電子工学科	0 0	0	0 0	0	0 0	0	0 0	0	1 0	1	0 0	0	0 0	0	0 0	0	0 0	0	0 0	1 0	1
メディア通信工学科		0	0 0	0	0 0	0	0 0	0	0 0	0	0 0	0	0 0	0	0 0	0	0 0	0	0 0	0 0	0
情 報 工 学 科		0	0 0	0	0 0	0	0 0	0	0 0	0	0 0		0 0	0	0 0	0	0 0	0	0 0	0 0	0
都市システム工学科		0	0 0	0	0 0	0	0 1	1	0 0	0	0 0		0 0	0	0 0	0	0 0	0	0 0	0 1	1
知能システム工学科		0	0 0	0	0 0	0	0 0	0	0 0	0	0 0	0	0 0	0	0 0	0	0 0	0	0 0	0 0	0
知能システム工学科 (B)	0 0	0	0 0	0	0 0	0	0 0	0	0 0	0	0 0	0	0 0	0	0 0	0	0 0	0	0 0	0 0	0
計	1 0	1	0 0	0	0 0	0	0 1	1	2 0	2	0 0	0	0 0	0	0 0	0	0 0	0	0 0	3 1	4

- <注>
- (1) 学生数の上段は男子数を、下段は女子数を表す。
 - (2) 外国人留学生及び大学院・専攻科生並びに聴講生は、別葉とする。
 - (3) 編入学生数を含める。
 - (4) 除籍者数を含める。

1.2 卒業生の産業別就職数（平成 26 年度）

学 科 名	建 設 業	製 造 業											電 気 ・ ガ ス ・ 熱 供 給 ・ 水 道 業	情 報 通 信 業	運 輸 業 ・ 郵 便 業	卸 売 ・ 小 売 業		金 融 ・ 保 險		不 動 産 ・ 物 品 賃 貸 業	学 術 研 究 ・ 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	宿 泊 業 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス 業 ・ 娯 楽 業	教 育 ・ 学 習 支 援		医 療 ・ 福 祉		複 合 サ ー ビ ス 事 業	サ ー ビ ス		公 務 員		左 記 以 外	就 職 者 計	
		食 料 品 ・ 飲 料	た ば こ ・ 飼 料 製 造 業	織 維 工 業	印 刷 ・ 同 関 連 業	化 学 工 業 ・ 石 油 ・	石 炭 製 品 製 造 業	鉄 鋼 業 ・ 非 鉄 金 属 ・	金 属 製 品 製 造 業	は ん 用 ・ 生 産 用 ・ 業	務 用 機 械 器 具 製 造 業	電 子 部 品 ・ デ バ イ ス				・ 電 子 回 路 製 造 業	電 気 ・ 情 報 通 信	機 械 器 具 製 造 業	輸 送 用 機 械 器 具 製 造 業					そ の 他 の 製 造 業	卸 売 業	小 売 業	金 融 業		保 險 業	不 動 産 取 引 ・ 賃 貸 ・ 管 理 業	物 品 賃 貸 業	学 術 ・ 開 発 研 究 機 関			そ の 他 の 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業
機械工学科	1		1	4		1	2	1		1	5	2			1	1						4			1						2		2		29
生体分子機能工学科		1		1	2		1	1				2			5	1	1		2			2					1								20
マテリアル工学科	6					5					3	1																		1				17	
電気電子工学科	6						2	2	1	3	1	3	1	1			1					6				1					1	1	2		31
メディア通信工学科	1	1				1		1	1				1	9			1											1			1	1	3		21
情報工学科										1				25	2				1			3				3				1		4		40	
都市システム工学科	6													1	1							3										12		24	
知能システム工学科	1						1		1	1				9			1	1				3	1				1			5	2	3		30	
知能システム工学科 (B)	1	1				1	2	1		3	1	1	6									2				1				2		1		23	
計	22	3	1	5	2	8	8	6	4	16	6	3	58	6	3	2	4		2			23			1	1	5		2	2	11	4	27		235

1.3 就職支援

平成26年度就職ガイダンス実施状況

期 日	曜日	時 間	内 容	対 象	所 属	講 師 名	教 室
5月7日	水	14:20～15:50	「スケジュール後ろ倒しに伴う変化と内定取得へ向けての準備」	3年・院1年	(株)リクルート	野入卓也	E1棟 10番教室
5月14日	水	14:20～15:50	「理系学生のための就職活動準備講座 ～2016年卒就活スケジュール変更のポイント～」	3年・院1年	(株)マイナビ	マイナビキャリア サポーター	E1棟 10番教室
5月21日	水	14:20～15:50	「《進学と就職に迷う3年生も必見！》 理系学生の進路&自己分析講座」	3年・院1年	(株)マイナビ	マイナビキャリア サポーター	E1棟 10番教室
5月28日	水	14:20～15:50	就職活動アドバイス職務適性テスト:無料	3年・院1年	(株)ディスコ	ディスコキャリアサ ポーター	E1棟 10番教室
6月1日	日	13:30～14:30 14:30～15:30	OB,OGによる就職講演会	1年		工学部卒業生	E1棟 10番教室
6月4日	水	12:00～16:00	合同企業説明会	4年・院2年	(社)茨城県情報サービ ス産業協会		E5棟8階イノベ
6月4日	水	14:20～15:50	「企業が学生をみる視点」	3年・院1年	(株)学情	東 修三	E1棟 10番教室
6月11日	水	14:20～15:50	「職務適性テスト」結果の配付と対策	3年・院1年	(株)ディスコ	ディスコキャリアサ ポーター	E1棟 10番教室
6月18日	水	14:20～15:50	「茨がいCareerNavi」活用法・夏休みの有効な過ごし方」	3年・院1年	(株)ディスコ	ディスコキャリアサ ポーター	E1棟 10番教室
6月25日	水	14:20～15:50	SPI試験説明会	3年・院1年	(株)ジェイ・ブロード	川人 誠	E1棟 10番教室
7月2日	水	14:20～15:50	SPI試験(有料)	3年・院1年	(株)ジェイ・ブロード	川人 誠	E1棟 10番教室
10月1日	水	14:20～15:50	学生用ジョブカードの活用 (自分の強みや企業への自己PR等の明確 化)	3年・院1年	ハローワーク日立	学卒ジョブサポー ター	E1棟1階10番教室
10月3日	金	12:40～14:10	就職活動における心構え	3年・院1年	工学部就職相談員	山本 徹	E1棟1階11番教室
10月8日	水	14:20～15:50	就職活動の進め方	3年・院1年	(株)ディスコ	遠藤 淳二	E1棟1階10番教室
10月10日	金	12:40～14:10	就職活動の進め方(10月8日の内容と同じ)	3年・院1年	(株)ディスコ	遠藤 淳二	E1棟1階10番教室
10月15日	水	14:20～15:50	履歴書・エントリーシートの書き方講座	3年・院1年	(株)マイナビ	マイナビキャリア サポーター	E1棟1階10番教室
10月17日	金	12:40～14:10	履歴書・エントリーシートの書き方講座(10月15日の内容と同じ)	3年・院1年	(株)マイナビ	マイナビキャリア サポーター	E1棟1階10番教室
10月22日	水	14:20～15:50	就職のプロが教える面接対策講座	3年・院1年	(株)学情	片 晃彦	E1棟1階10番教室
10月24日	金	12:40～14:10	就職のプロが教える面接対策講座(10月22日の内容と同じ)	3年・院1年	(株)学情	片 晃彦	E1棟1階10番教室
10月29日	水	14:20～15:50	SPI試験の説明会	3年・院1年	(株)ジェイ・ブロード	川人 誠	E1棟1階10番教室
10月31日	金	12:40～14:10	スーツ着こなし講座&フェイスメイクアップ講習会	3年・院1年	—	専門講師(主催: 生協)	E1棟1階10番教室
11月7日	金	12:40～14:10	SPI試験(第1回) 有料	3年・院1年	(株)ジェイ・ブロード	川人 誠	E1棟1階10番教室
11月12日	水	14:20～15:50	SPI試験(第2回) 有料	3年・院1年	(株)ジェイ・ブロード	川人 誠	E1棟1階10番教室
11月19日	水	14:20～15:50	内定に繋がる企業研究対策講座	3年・院1年	(株)リクルートキャリア	野入 卓也	E1棟1階10番教室
11月26日	水	14:20～15:50	留学生のための就職ガイダンス	留学生	(株)ディスコ	遠藤 淳二	E1棟1階10番教室
12月3日	水	14:20～15:50	労働法講話、租税講話	4年・院2年	ハローワーク日立、労働基 準監督署、水戸税務署 各担当官	ハローワーク日立、労働基 準監督署、水戸税務署各 担当官	E1棟1階10番教室
12月17日	水	14:20～15:50	就職活動直前講座	3年・院1年	(株)マイナビ	マイナビキャリア サポーター	E1棟1階10番教室
2月18日	水	14:20～15:50	合同企業説明会のまわり方と面接対策	3年・院1年	(株)リクルートキャリア	野入 卓也	E1棟1階10番教室
2月20日	金	12:40～14:10	「マイナビ就職EXPO」事前説明会(マナー講座)	3年・院1年	(株)マイナビ	マイナビキャリア サポーター	E1棟1階10番教室
3月6、7日	金、土		「業界研究セミナー」バスツアー 無料	3年・院1年	(株)学研メディコン		五反田TOC13階
3月7日	土		「リクナビスーパーLIVE東京」バスツアー 無料 先着44名	3年・院1年	(株)リクルートキャリア		幕張メッセ
3月8日	日		「マイナビ就職EXPO」バスツアー 無料 先着44名	3年・院1年	(株)マイナビ		東京ビックサイト

2. 大学院博士前期課程教育

2.1 在籍者数

(1) 学生定員充足状況

平成 26 年 5 月 1 日時点での各学年の在籍者数は、以下のとおりである。
 なお、応用粒子線科学専攻は理学系を含んだ数である。

	1年次	2年次	過年次生	合計
機械工学	47	45	2	94
物質工学	35	38	1	74
電気電子工学	36	25	1	62
メディア通信工学	17	23	1	41
情報工学	20	24	0	44
都市システム工学	21	18	0	39
知能システム工学	26	32	3	61
応用粒子線科学	21	20	0	41
合計	223	225	8	456
	留学生在籍者数			
	1年次	2年次	過年次生	合計
合計	15	17	0	32

(2) 研究生受入れ

平成 26 年度研究生調べ（大学院生）

専攻	受入数
機械工学専攻	0
物質工学専攻	0
電気電子工学専攻	0
メディア通信工学専攻	0
情報工学専攻	0
都市システム工学専攻	1
知能システム工学専攻	0
応用粒子線科学専攻	0
計	1

2.2 修士論文題目一覧

平成25年度博士前期課程修了者 修士論文題目

専攻名	氏名	論文題目	主査
機械工学専攻	安嶋 魁	GPGPUを用いた多自由度波力発電装置挙動の高速数値解析	田中伸厚
機械工学専攻	安蒜 正志	ワイヤ駆動一脚ホッピングロボットに関する研究	近藤 良
機械工学専攻	石塚 悠登	ドライビングシミュレータを活用した黄信号場面における運転支援システムの評価	道辻洋平
機械工学専攻	磯貝 駿介	垂直管内の突沸現象に及ぼす加熱方式の影響に関する研究	松村邦仁
機械工学専攻	磯部 直澄	急速圧縮装置を用いたフラン類の自着火特性	田中光太郎
機械工学専攻	ト部 直樹	発生条件の異なる渦輪の等価性に関する実験と数値解析を用いた研究	田中伸厚
機械工学専攻	大川恵里	イソオクタン/ノルマルヘプタン混合燃料を用いた HCCI 燃焼に関する研究	金野満
機械工学専攻	大島 翔	Preparation of Laminated Scaffold of Hydroxyapatite/Collagen Bone-like Nanocomposite and Collagen Sponges for Osteochondral Regeneration	尾関和秀
機械工学専攻	大塚 明宏	ELID マイクロファブ리케이션を用いた機能性着色微細ピンの製造技術	伊藤伸英
機械工学専攻	大原 俊弘	液体貯蔵タンク内の温度成層界面の安定性に関する研究	松村邦仁
機械工学専攻	大森 直樹	人工心臓用磁気浮上モータのセンサレス化に関する研究	増澤 徹
機械工学専攻	大和田 詠里	アパタイト/ケイ酸塩複合体を用いた放射性物質吸着に関する研究	尾関和秀
機械工学専攻	大和田 祐輝	オーステナイト系ステンレス鋼の水素挙動の解析	車田 亮
機械工学専攻	岡田陵佑	急速圧縮装置を用いたエタノール混合燃料の自着火特性	田中光太郎
機械工学専攻	柏 拓貴	相変化蓄熱物質の伝熱・熱物性評価と蓄熱熱交換器の基礎的研究	稲垣照美
機械工学専攻	加藤正寛	ホモポーラ型ハイブリッド5軸制御セルフベアリングモータに関する研究	松田健一
機械工学専攻	喜古 陵	胴体付き二脚走行ロボットに関する研究	近藤 良
機械工学専攻	國井 健生	マグネシウム合金の水素脆化	伊藤吾朗
機械工学専攻	小塚 健司	7000系アルミニウム合金中の水素挙動に及ぼす応力負荷の影響	伊藤吾朗

機械工学専攻	斎藤 光	磁場下における磁性流体の熱物性評価と自然対流熱伝達の解明	稲垣照美
機械工学専攻	櫻井 航太	偏心円孔を有する帯板の曲げ	堀辺忠志
機械工学専攻	島崎 潤	垂直細管群流路における流下液の流量及び圧力変動に関する研究	松村邦仁
機械工学専攻	菅原 篤史	フェライト系鋼の水素挙動	伊藤吾朗
機械工学専攻	鈴木 博大	プール系におけるブタノール水溶液の二成分沸騰熱伝達特性に関する研究	松村邦仁
機械工学専攻	諏訪 陽祐	複合低エネルギー生体組織接合技術の開発研究-コラーゲン変性可視化による至適接合条件の検討-	増澤 徹
機械工学専攻	高野雅俊	近赤外レーザー吸収分光法を用いた自動車排気に含まれるアンモニアのリアルタイム計測	田中光太郎
機械工学専攻	寺田 将也	アルミニウム合金の長期負荷割れ挙動	伊藤吾朗
機械工学専攻	萩原 史門	ELID 研削用導電性ラバーボール含有メタル-レジンボンド砥石を用いた高品位加工面の創成技術	伊藤伸英
機械工学専攻	畑中 智大	曲線区間における通り変位が車輪・レール接触力に及ぼす影響分析	道辻洋平
機械工学専攻	秦野 健太郎	下掛け式クロスフロー水車の性能向上と流れ場に関する研究	西 泰行
機械工学専攻	原田滉士	等熱流束加熱された垂直平板に沿って発達する乱流自然対流の大きな渦構造と伝熱	稲垣照美
機械工学専攻	平間 壮	集水装置を有する軸流水車の高性能化と流れ場に関する研究	稲垣 照美
機械工学専攻	福島 惇	医療分野における交流インピーダンス法の応用に向けた基礎的研究	尾関和秀
機械工学専攻	三浦 公大	鉄道車両の輪重に着目した車両走行位置補正プログラムの開発	道辻洋平
機械工学専攻	水庭 彰	アルミニウム合金中の水素挙動と第二相粒子の関係	伊藤吾朗
機械工学専攻	宮村芽維	小型多重反射セルと中赤外半導体レーザーの微量燃焼排出ガス計測への適用	田中光太郎
機械工学専攻	山下 裕介	小型プロペラ形風車の設計法に関する研究	西 泰行
機械工学専攻	山田 隆一	航空機用アルミニウム合金の疲労き裂進展挙動	伊藤吾朗
機械工学専攻	吉田昭洋	ホット EGR が天然ガス/軽油の二元燃料エンジンの燃焼特性に与える影響	金野満
機械工学専攻	吉田 翔一	薄小型磁気浮上補助人工心臓の浮上安定性に関する研究	増澤 徹
機械工学専攻	與那覇政樹	マイクロ波の照射が PRF 予混合気の火炎伝播に及ぼす影響	金野満

機械工学専攻	若林大輝	DME 噴霧燃焼の高速度観察と数値解析	金野満
機械工学専攻	渡邊 司	下肢障害者のための装着型脚支援システムに関する研究 — 模擬義足による歩行実験 —	近藤 良
機械工学専攻	Mohammad Zulhazim Bin Md Talib	PELID 法を用いたナノダイヤモンド砥石作成の検討	伊藤伸英
物質工学	安藤 正敏	直鎖型含フッ素共役ポリマーの合成	久保田 俊夫
物質工学	伊藤 正哉	ヒト ABO 式血液型遺伝子のゲノム進化に関する研究	北野 誉
物質工学	伊藤 諒一	拡散浸透法による Al ₂ O ₃ -YTZ 複合材料の欠陥修復	阿部 修実
物質工学	今川 順貴	カルシウム置換ストロンチウムセルシアン蛍光体の低温合成	阿部 修実
物質工学	岩下 翔伍	オクタフルオロシクロペンテンを用いる含フッ素多環芳香族化合物の合成	久保田 俊夫
物質工学	江井 太紀	PG 電極に吸着させたテトラアザポルフィリン錯体の酸化還元特性と触媒作用	大野 修
物質工学	遠藤 大介	生体系金属-ポルフィリン錯体を用いる時間計測-化学発光分析法の開発	五十嵐 淑郎
物質工学	大山 真由	含フッ素機能性ポリマーを指向するモノマーの合成	久保田 俊夫
物質工学	岡村 圭祐	遷移金属酸化物のメカノケミカル還元	阿部 修実
物質工学	尾島 沙希子	機能化エポキシ基含有ポリマーを担持した綿球による金属の選択的な分離・回収法の開発	五十嵐 淑郎
物質工学	川崎 夏未	酸素の電極還元反応におけるコロール錯体の触媒作用	大野 修
物質工学	川又 寛子	BphA4-BphA3 間の特異的認識部位に関する研究	木村 成伸
物質工学	佐々木 雅弥	イミダゾリウム系イオン液体の均一液抽出法による凝集相のビーズ化とレアメタルの分離・回収法の開発	五十嵐 淑郎
物質工学	塩田 知美	含フッ素屈曲型多環芳香族化合物の合成	久保田 俊夫
物質工学	渋谷 恭輔	医療用複合ナノ粒子の開発に関する研究	小林 芳男
物質工学	鈴木 雄也	リチウムイオン電池正極材料 LiFePO ₄ と導電助剤マリモカーボンの複合化	江口 美佳
物質工学	竹内 愛絵里	レドックス活性な遷移金属を π 共役ポリエチン分子で架橋した電子機能性分子ワイヤー錯体の創製	福元 博基
物質工学	塚田 哲哉	臭素化した鉄ポルフィリンを触媒とする過酸化水素によるアルケンのエポキシ化反応	大野 修

物質工学	中村 真哉	カルボン酸が青色光受容体 BLUF タンパク質の信号状態の生成と減衰に与える影響	小野 高明
物質工学	野中 千尋	シアノバクテリア由来 BphA3 還元タンパクの探索	木村 成伸
物質工学	延原 諒	PtRu 担持マリモカーボンのメタノール酸化特性	江口 美佳
物質工学	藤平 翔大	リン脂質膜に対するポリオールの作用	熊沢 紀之
物質工学	三谷 大輔	青色光受容体 BLUF タンパク質 PapB -AppA126・Slr1694 との比較-	小野 高明
物質工学	三好 健太	TiO ₂ /マリモカーボン複合体の電気化学的特性	江口 美佳
物質工学	森 一馬	中性子回折テストを含めた Glucose Isomerase の結晶構造学的研究	田中 伊知朗
物質工学	山本 悠平	一滴濃縮を用いる異種原子価金属イオンの HPLC 分析	五十嵐 淑郎
物質工学	横山 智子	キレート部位を主鎖骨格に含む π 共役高分子の合成と金属イオンとの反応性	福元 博基
物質工学	猪瀬 司	CaO-SiO ₂ -Al ₂ O ₃ -R ₂ O(R=Na,K,Li)系溶融ケイ酸塩の熱伝導率と粘性係数の関係	太田 弘道
物質工学	岩野 祐平	レーザフラッシュ法による面積熱拡散時間法を用いた二層試料の熱拡散率の測定	太田 弘道
物質工学	亀谷 美百合	極低炭素鋼の降伏および加工硬化挙動に及ぼすひずみ時効硬化の影響	鈴木 徹也
物質工学	菊田 了介	有限要素多結晶モデルによる FCC および BCC 多結晶材の変形予測	鈴木 徹也
物質工学	久保田 光	Al-Zn-Mg 合金中粒界偏析水素の第一原理計算	篠嶋 妥
物質工学	佐藤 諒	フェライト多結晶材の加工硬化異方性とひずみ時効硬化の影響	鈴木 徹也
物質工学	宍戸 亮一	Cr-Mo 鋼の熱処理条件が力学的性質に与える影響	鈴木 徹也
物質工学	渋井 洋平	二相ステンレス鍛造鋼の脆性破壊が及ぼす影響の組織観察と3D観察	鈴木 徹也
物質工学	矢田部 樹	超微細配線中の Cu 粒界に及ぼす不純物元素の影響	篠嶋 妥
物質工学	吉永 はんな	アルミ銅合金ワイヤ中の Cu 添加量が時効処理に及ぼす影響	鈴木 徹也
物質工学	AHMAD EHSAN BIN MOHD TAMIDI	Computer Simulation of Atomic Structure and Thermal Conductivity of Si/Ge Amorphous Multi-Layer Film: Effect of Cu Addition	篠嶋 妥

物質工学	CHAE HUI JUN	焼入れ焼戻しマルテンサイト系ステンレス鋼のマイクロ組織・特性と溶接性	鈴木 徹也
電気電子工学	板橋 勇貴	耐放射線環境用イメージセンサのための追従比較型 AD 変換器に関する研究	木村 孝之
電気電子工学	荒井 雄貴	電動工具用ユニバーサルモータの高性能化に関する研究	栗原 和美
電気電子工学	飯岡 優	シリコン系化合物半導体の電気・光学特性評価	鶴殿 治彦
電気電子工学	岩本 恵祐	有機金属分解法による高品質な BSCCO 薄膜の作製	島影 尚
電気電子工学	遠藤 沙弥圭	多チャンネル電気定位センサーの開発研究	三枝 幹雄
電気電子工学	大竹 秀明	Mg ₂ Si への不純物添加と熱伝導率に関する研究	鶴殿 治彦
電気電子工学	岡野 敦	マルチモードファイバグレーティングを用いた温度・曲げ同時センシング	横田 浩久
電気電子工学	小貫 健次郎	ポリマーチューブ積層構造によるテラヘルツ波ファイバとファイバカブラの開発	今井 洋
電気電子工学	神子 裕明	集合住宅および学生食堂のエネルギー需要を利用した SOFC CGS の省エネ性の検討	垣本 直人
電気電子工学	亀田 陽介	光後方散乱測定法を用いた偏波面保存光ファイバ放射線センシング	今井 洋
電気電子工学	岸 湧大	金属スリットアレー構造によるテラヘルツ波帯偏光子の研究	三枝 幹雄
電気電子工学	後藤 一樹	リチウムイオン電池の温度特性とモデリング	垣本 直人
電気電子工学	小森 章広	新しい自励式リアクタンス発電機に関する研究	栗原 和美
電気電子工学	齊藤 和雄	ビスマス薄膜表面における電子状態の数値計算	青野 友祐
電気電子工学	篠崎 政人	紫外線誘起ファイバグレーティングの特性に対する放射線照射の影響	横田 浩久
電気電子工学	大徳 健太	Mg ₂ Si 系受光素子の作製と受光特性に関する研究	鶴殿 治彦
電気電子工学	滝井 啓太	大電力ミリ波帯立体回路に関する研究	三枝 幹雄
電気電子工学	竹林 佑記	金属非対称ペアカットワイヤーによるテラヘルツ波帯での負の屈折率構造の研究	三枝 幹雄
電気電子工学	長嶋 浩司	大電力ミリ波帯高速スイッチの高効率化研究	三枝 幹雄
電気電子工学	中村 眞悟	複数送信アンテナを用いるシングルキャリア再送ダイバーシチの性能改善	宮嶋 照行
電気電子工学	梨本 博路	MIMO-OFDM における副情報を必要としない効率的な PAPR 低減法	宮嶋 照行

電気電子工学	奈村 晃平	レーザー照射による偏波保持フォトニック結晶ファイバへの長周期グレーティング形成	横田 浩久
電気電子工学	藤木 隼人	ベクトル磁気特性を考慮した有限要素解析のメッシュ分割の影響に関する研究	祖田 直也
電気電子工学	松原 史明	大電力ミリ波帯広帯域偏波器の開発研究	三枝 幹雄
電気電子工学	八代 真樹	水素と天然ガスを燃料とする SOFC 発電システムのシミュレーション	三枝 幹雄
電気電子工学	綿引 祥隆	リチウムイオン二次電池とコンデンサを併用した複合電源回路のシミュレーション	垣本 直人
電気電子工学	張 曦	OFDM におけるブロック間干渉と IQ インバランスの同時補償	宮嶋 照行
電気電子工学	Nkwanga John Baptist Mwanje	Maximizing Distributed Generation Active Power Penetration Using a Back-to-Back Converter Control Strategy	垣本 直人
メディア通信工学	宮内 竜	特定文字探索課題における見落としの発生要因	矢内 浩文
メディア通信工学	相田 悠介	レーザー核融合におけるレーザー照射位置の計測法の検討	辻 龍介
メディア通信工学	飯田 啓介	一般化平均に基づいたファジィ推論の多次元化とその免疫アルゴリズムによるファジィルールの最適化	上原 清彦
メディア通信工学	井田 絢	単眼カメラによる自車両の方位変化量の計測手法に関する研究	杉田 龍二
メディア通信工学	市毛 達哉	グラフェンにおける導電率の $1/f$ ゆらぎ	赤羽 秀郎
メディア通信工学	伊藤 詩音	免疫アルゴリズムに基づいたファジィルールの局所制御による大域的最適化	上原 清彦
メディア通信工学	内田 仁志	コンピュータシミュレーションによる高機能薄膜の特性解析	杉田 龍二
メディア通信工学	大木 勇治	バイナリ法を使用した二線四相式 RSA 暗号化回路の実装	梅比良 正弘
メディア通信工学	恩田 亮介	フラーレンにおける誘電率のゆらぎ	赤羽 秀郎
メディア通信工学	上小澤 佑太	LCOS を用いた位相物体の可視化及び位相限定マッチトフィルタによる光学的形状識別	鶴野 克宏
メディア通信工学	河村 春樹	極薄 CoPt 垂直磁気異方性膜の作製及びその磁気特性と磁区構造に関する研究	杉田 龍二
メディア通信工学	木方 健心	光学的空間周波数フィルタリングを用いた金属板と多孔質カーボン部品上の欠陥検出	鶴野 克宏
メディア通信工学	工藤 真二	高機能薄膜の作製と評価	杉田 龍二
メディア通信工学	熊谷 信治	積層構造垂直磁気記録媒体における磁気特性及び磁化分布のマイクログネティックシミュレーション解析	杉田 龍二

メディア通信工学	河野 駿介	ボタン押し動作時の人物シルエットを用いた個人識別に有効な特徴量の考察	矢内 浩文
メディア通信工学	小室 佑太	屋内 WLAN におけるアクセスポイントへの適応指向性アンテナの適用効果	梅比良 正弘
メディア通信工学	菅沼 晃	センサ無線端末用超小形多周波共用ヘリカルアンテナに関する研究	武田 茂樹
メディア通信工学	鈴木 健太	アラゴスポットによる鋼球直径計測システムの開発	辻 龍介
メディア通信工学	高村 佳佑	TVWS 用ガードバンドアグリゲーション方式における同期 OFDM の応用	梅比良 正弘
メディア通信工学	富山 直樹	磁気力顕微鏡を用いた積層構造ハードディスクの磁化状態及びノイズ解析	杉田 龍二
メディア通信工学	増田 大輝	下向き指向性アンテナを用いたマイクロ波/ミリ波切り替えのためのエリア推定法に関する研究	武田 茂樹
メディア通信工学	宮坂 隆平	大災害発生時における UHF 帯 RFID を用いた電子掲示板への情報伝達に関する研究	武田 茂樹
メディア通信工学	吉成 洗人	任意の中心周波数を設定可能なバンドパス形 $\Delta \Sigma$ 変調器に関する研究	杉田 龍二
メディア通信工学	和田 翔	マルチバンド WLAN のための 2.4/5GHz 帯 RSSI に基づく 60GHz 帯サービスエリア検出法	梅比良 正弘
メディア通信工学	王 挺	60GHz 帯における移動する人体によるシャドローイングの計算モデルと実験による検証	梅比良 正弘
情報工学	飛鳥井元晴	敬語文章変換システムの作成	岸 義樹
情報工学	上原貴広	客観解析データを用いた衛星熱赤外面像の大気補正に関する研究	外岡秀行
情報工学	長田純平	意図的に判断ミスを生じさせる対戦用ゲーム AI の構築	荒木俊郎
情報工学	鎌田和樹	深度画像センサを用いた拮抗体操支援システムの開発	澁澤 進
情報工学	菊池裕紀	ベイズ規則による確率密度比の推定を用いた語義曖昧性解消の領域適応	新納浩幸
情報工学	木村祐貴	柱状回転体を用いた CAPTCHA の提案	鎌田 賢
情報工学	國井慎也	トピックモデルをソーラスとして利用した語義曖昧性解消の領域適応	新納浩幸
情報工学	小澤 怜	ファイル内の付箋情報が見える作業効率化ファイルマネージャ	鎌田 賢
情報工学	小橋太輔	グループ分け問題への遺伝的アルゴリズムの応用	山田孝行
情報工学	佐藤尋時	Forward Privacy を考慮した動的な検索可能暗号	鎌田 賢

情報工学	清水麻衣子	大型商用施設駐車場向け駐車待ちモデリングシミュレータの構築	米倉達広
情報工学	鈴木雄作	平面上の2色点集合の無交差単色ハミルトン道	鎌田 賢
情報工学	硯見一磯	秘密鍵発行センタが複数のIDベース暗号に関する研究	黒澤 馨
情報工学	瀬戸一馬	隣接関係による発話タイプの推定を用いた対話システムの構築	岸 義樹
情報工学	高橋悠紀	NeighborNote: An Evernote Application with Capability of Suggesting Related Notes Based on User Operation History	鎌田 賢
情報工学	高丸祐典	擬直交拡張プライム符号を用いる光無線符号多値変調方式	羽瀨裕真
情報工学	三上健太	イベントコミュニティ SNS bubble の開発	米倉達広
情報工学	峯岸賢吾	Simulink モデルメトリクスによる分割判別を利用した品質評価手法の検討	上田賀一
情報工学	宮城翔一	実行履歴と制御構造の解析によるUMLシーケンス図の差異検出手法	上田賀一
情報工学	宮島卓巳	情報制御システムにおける段階的検査法を用いたモジュラ検証	上田賀一
情報工学	山崎真吾	産学間のコミュニティ形成を志向したラジオ番組制作のためのマーケット調査	米倉達広
情報工学	吉田悠人	A Business Log System to Display Related Logs Based on Past Cyclic Events of Business	鎌田 賢
情報工学	渡辺 翠	制御状態遷移設計のための協調解析手法によるモデル検査	上田賀一
情報工学	周 而晶	Interactive Animation Authoring Platform Based on State-Transition Diagrams that Runs on Android Devices	鎌田 賢
情報工学	RAI SACHIN	Transmission Signal Design for Performance Improvement of Optical Wireless Turbo Code	羽瀨裕真
都市システム工学	荒 孝太郎	タイヤチップ混合によるソイルセメントコラムの地震時安定性評価	村上 哲
都市システム工学	伊藤 紗由未	砂・ベントナイト混合土のための透水試験方法の選定・改良とその適用	村上 哲
都市システム工学	今井 友桂子	生活環境圏におけるCO ₂ 濃度の改善に向けた植生の活用に関する研究	桑原 祐史
都市システム工学	江口 三希子	潮汐と吹送流を考慮したフナフチ環礁ラグーン内の3次元流動場の数値シミュレーション	横木 裕宗
都市システム工学	江刺 宏紀	大型商業施設駐車場における歩行空間の安全性評価に関する研究	山田 稔
都市システム工学	遠藤 重紀	安定化有限要素法による3次元津波シミュレーションの効率化と構造物の動的応答に関する基礎的研究	呉 智深

都市システム工学	木村 明日香	食と景観のテロワールを考慮した地域づくり手法の構築 -干しいも産地である茨城県ひたちなか市を対象として-	熊澤 貴之
都市システム工学	久保 美春	中性子ラジオグラフィを用いたセメント硬化体の含有水分量測定に関する研究	沼尾 達弥
都市システム工学	栗原 航介	避難環境の観点から見た日立市の地域特性の分析 -高齢者に主眼を置いて-	桑原 祐史
都市システム工学	黒滝 秀平	環礁州島先端部におけるリーフフラット上の礫の移動と回り込みの数値計算	横木 裕宗
都市システム工学	高橋 愛	中心市街地における空地と建築群の空間構成の連続が街路の律動感に与える影響	熊澤 貴之
都市システム工学	高柳 亮太	スマート連続繊維ロッドによるRC柱の構造ヘルスマonitoringに関する研究	呉 智深
都市システム工学	新妻 憂	地盤情報の希薄な地域を対象としたシームレス電子地盤図作成手法の開発	村上 哲
都市システム工学	根本 忍	画像解析によるコンクリートの破壊進行過程の計測と可視化に関する基礎的研究	呉 智深
都市システム工学	藤野 友彰	海面上昇を考慮した波浪による海岸堤防の不安定性評価手法の提案と Hai Hau 海岸への適用	村上 哲
都市システム工学	松本 隆太郎	住宅地における照度と視認性に着目した光環境のあり方に関する基礎的研究	金 利昭
都市システム工学	森本 佐理	移動に伴う軒庇空間からの景観体験が心理的移行に与える影響	熊澤 貴之
都市システム工学	山本 誠也	連続バサルト繊維ロッドによるコンクリート構造物の高性能化に関する研究	呉 智深
都市システム工学	張 樹盛	ツバル国フナフチ環礁における植栽計画支援を目的とした土地被覆変化の時系列分析	桑原 祐史
知能システム工学	高野 巧一郎	シリコンウエハ加工変質層の除去メカニズムの解析	清水 淳
知能システム工学	赤石 亮介	レーザー光を用いた半透明物体の3次元形状計測に関する研究	馬場 充
知能システム工学	伊藤 健治	全方位カメラと移動ロボットを用いた情報取得・提示システムに関する研究	城間 直司
知能システム工学	伊藤 立裕	空間格子とGPUによる多数の立体間の衝突判定の高速化	乾 正知
知能システム工学	伊藤 宏起	有限時間拡張状態オブザーバを用いたロボットマニピュレータ制御	楊 子江
知能システム工学	奥野 慧	ヘビの蛇行に関する接地圧力分布制御の構成論的調査	森 善一
知能システム工学	小沼 卓也	Ca ²⁺ イメージングデータに基づいた線虫の塩走化性神経回路の解析	星野 修
知能システム工学	小沼 元	カオス予測モデルに基づいた非線形時変 AR-ARCH モデル	鈴木 智也

知能システム工学	北村 悠樹	デクセルモデルを用いた自動車の内装部品の安全性評価	乾 正知
知能システム工学	橋内 雄司	三重水槽の制御器パラメータ調整	楊 子江
知能システム工学	久保田 禎之	ナノ傾斜構造化複合表面改質によるAIの高機能化と疲労信頼性保証に関する研究	中村 雅史
知能システム工学	熊原 友里	高齢者に散歩を促す携帯型ロボットの開発	森 善一
知能システム工学	軍司 拓道	ポリゴン表現された部品の特徴抽出に関する研究	乾 正知
知能システム工学	佐川 惲	4脚ロボットを用いた歩行時の脚負荷が歩容に及ぼす影響の分析	福岡 泰宏
知能システム工学	島根 亮平	立体形状の Sphere 法による厚み計算の高速化手法	乾 正知
知能システム工学	杉山 剛史	ボール軌道の局所的特徴量を用いた空力係数の推定	坪井 一洋
知能システム工学	瀬谷 美樹	カオス通信システムの隠匿データ伝送に対する有限時間オブザーバの応用	楊 子江
知能システム工学	田邊 圭祐	ヘビ型ロボット PAS-2 の胴体弾性の運動への影響の調査	森 善一
知能システム工学	塚原 将史	サンプリング密度の操作による立体モデルの簡略化	乾 正知
知能システム工学	中川西 知也	予期による閾値以下のニューロモジュレーション	星野 修
知能システム工学	長山 拓矢	ステレオ画像による砥石作業面トポグラフィの機上 3 次元計測システム開発に関する研究	周 立波
知能システム工学	芳賀 要平	視覚的な動作情報の提示による直観的な作業指示システムの開発に関する研究	城間 直司
知能システム工学	羽部 安史	シミュレーションによる4脚モデルの自律歩容遷移実現と歩容生成ルール の提案	福岡 泰宏
知能システム工学	福井 貴大	4脚ロボットを用いた前庭感覚に基づく自律歩容遷移の実現	福岡 泰宏
知能システム工学	藤澤 久夢	4脚ロボットの歩行・走行を両立可能な脚機構の設計	福岡 泰宏
知能システム工学	藤澤 良太	線虫の腸細胞におけるカルシウムダイナミクス	星野 修
知能システム工学	古牧 允彦	ダイヤモンド-銅間のナノトライボロジーに関する研究	清水 淳
知能システム工学	山島 信幸	片麻痺障がい者のための車輪型歩行アシスト機	森 善一
知能システム工学	雪下 剛仁	立位・不整地移動を可能にする高機能電動車いす	森 善一
知能システム工学	横内 萌美	予測リスクを最小化する再構成状態空間の適応的最適化	鈴木 智也
知能システム工学	米川 篤	人工蜂コロニーアルゴリズムの改良とそのデータ分類への適用に関する研究	星野 修

知能システム工学	若崎 和馬	距離場に基づく立体の厚みの可視化手法	乾 正知
知能システム工学	馬 興敏	シリコンウェハ変形に基づく加工変質層の評価に関する研究	周 立波
知能システム工学	MARTIAS AKBAR	切削加工シミュレーションの並列処理による高速化	乾 正知
応用粒子線科学	岩間 彩	Si ₅ O(PO ₄) ₆ の合成プロセスとプロトン伝導機構	高橋 東之
応用粒子線科学	菊地 悠介	Cu 基材温度のその場計測に基づき ECR プラズマ作成 Cu/Cu ₂ O 型 PV セルの特性向上実験	佐藤 直幸
応用粒子線科学	北川 悠乃	自動車用鋼板の着磁特性に及ぼす弾塑性変形と加工硬化の影響	西野 創一郎
応用粒子線科学	鈴木 雅晃	残留農薬迅速分析に向けた食品抽出物および農薬のレーザーイオン化質量分析	池畑 隆
応用粒子線科学	鈴木 善貴	C ₈ HSO ₄ -C ₈ H ₂ PO ₄ 系の相転移と超プロトン伝導機構	高橋 東之
応用粒子線科学	高木 雄太	固相拡散法による単結晶サファイア基盤へのマグネシウムシリサイド薄膜合成	池畑 隆
応用粒子線科学	田村 勇平	プレス加工製品の強度評価と加工硬化挙動に関する研究	西野 創一郎
応用粒子線科学	山崎 竜也	プレス加工におけるコーティング金型の表面および内部損傷評価	西野 創一郎
応用粒子線科学	王 延緒	Relationship between microstructure and deformation behavior in high carbon steel	西野 創一郎
応用粒子線科学	賈 珍珍	Bluetoothとタブレットを用いた水環境モニタリングシステムの開発	湊 淳
応用粒子線科学	NGUYEN CAO THANG	放射線計測を目的とした簡易型ネットワークセンシング技術の開発	湊 淳
応用粒子線科学	谷 政和	画像計測による傾斜計測と構造物モニタリングへの応用	湊 淳
応用粒子線科学	張 月	固相拡散法による単結晶シリコン基盤へのマグネシウムシリサイド薄膜合成	池畑 隆
応用粒子線科学	秋元 恵	放射光を使った蛋白質脱イミノ化酵素 PAD3 の構造機能相関研究	海野 昌喜

2.3 修了生の進路状況

進路		人数
鉱業, 採石業, 砂利採取業		0
建設業		14
製造業	印刷・同関連業	7
	化学工業・石油・石炭製品製造業	18
	鉄鋼業, 非鉄金属・金属製品製造業	20
	はん用・生産用・業務用機械器具製造業	24
	電子部品・デバイス・電子回路製造業	7
	電気・情報通信機械器具製造業	28
	輸送用機械器具製造業	31
	その他の製造業	2
電気・ガス・熱供給・水道業		5
情報通信業		36
運送業, 郵便業		5
卸売業, 小売業		0
金融業, 保険業		0
学術研究, 専門・技術サービス業		0
生活関連サービス業, 娯楽業		0
サービス業		22
複合サービス事業		5
公務員		2
就職者計		226
大学院等進学		5
不明・その他		6
合計		237

3. 大学院博士後期課程教育

3.1 在籍者数

平成 26 年 10 月 1 日時点での各学年の在学者数は、以下のとおりである。

なお、環境機能科学及び応用粒子線科学専攻は理学系を含んだ数である。

在学者数（留学生を除く）					平成 26.10.1 現在
	1年次	2年次	3年次	過年次生	合計
物質科学	6	2	11	2	21
生産科学	6	5	14	7	32
情報・システム科学	5	6	7	5	23
応用粒子線科学	0	5	5	2	12
合計	17	18	37	16	88

留学生在籍者数					平成 26.10.1 現在
	1年次	2年次	3年次	過年次生	合計
合計	15	17		0	32

3.2 学位授与状況

日立地区関連の学位の授与状況を以下の表に示す。

表 学位授与状況

		博士(工学)	博士(理学)	博士(学術)	計
H26 年 9 月	課程	3	0	0	3
	論文	1	0	0	1
H27 年 3 月	課程	20			
	論文	0	0	0	0

3.3 博士論文題目一覧

平成 25 年度の博士論文の題目等を以下の表に示す。

(平成 26 年 9 月)

学位記番号	学位の種類	氏 名	論 文 題 目
博理工第 478 号	博士 (工学)	多田 智紀	環境共生型半導体 p 型 Mg ₂ SiSn 系熱電材料の性能向上に関する研究
博理工第 479 号	博士 (工学)	鬼澤 高志	高強度フェライト系耐熱鋼における微量添加元素と長時間材料特性の関係に関する研究
博理工第 480 号	博士 (工学)	DUONG THE TOAN	Assessment of riverbank stability : the perspectives of unsaturated soils and erosion function (不飽和土の浸食作用に着目した河川堤防における安定性の評価)
博理工第 482 号	博士 (工学)	高橋 治	鑄造二層合金のミクロ組織と特性
乙理工第 57 号	博士 (工学)	熊谷 達也	偏波面保存光ファイバを用いたサニャック干渉型光ファイバセンサに関する研究

(平成 27 年 3 月)

学位記番号	学位の種類	氏 名	論 文 題 目
博理工第 483 号	博士 (工学)	上田 悟	固体高分子形燃料電池における作動状態の水観察技術の開発および発電性能に関する研究
博理工第 484 号	博士 (工学)	岡野 元	カスケード型濃縮分離システムを用いる高マトリックス試料中の微量金属元素の分析に関する研究
博理工第 485 号	博士 (工学)	中津 欣也	電力変換器向けパワーモジュールの小型高密度化実装技術
博理工第 486 号	博士 (工学)	堀川 隼世	中赤外光検出器の性能向上に向けた中赤外光アンテナ・分布定数回路技術の研究
博理工第 487 号	博士 (工学)	前田 貴史	銅酸化物および金属銅系ナノ粒子の水相合成とその金属接合特性に関する研究
博理工第 488 号	博士 (工学)	中條 智哉	シャシダイナモメータを用いた燃費測定に影響を及ぼす要因の研究

博理工第 489 号	博士 (工学)	猪瀬 悟史	時系列予測モデルを導入したポートフォリオモデルの効率的資産運用手法
博理工第 490 号	博士 (工学)	植崎 圭人	局所圧縮静水圧応力を利用した高品位切削法の開発に関する研究
博理工第 491 号	博士 (工学)	江尻 賢治	自己操舵性を有する鉄道車両独立回転車輪台車の走行安定性向上に関する研究
博理工第 492 号	博士 (工学)	小串 正樹	小形ファンモータの振動騒音特性の解明に関する研究
博理工第 493 号	博士 (工学)	初沢 英文	電子制御スロットルボディに付着するデポジットに関する研究
博理工第 494 号	博士 (理学)	Yan Zheng	Factors and Spanning Trees of Graphs (グラフの因子と全域木)
博理工第 495 号	博士 (学術)	高村 秀彰	生体機能状態からみた MRI 騒音とストレス : 音楽呈示の効果を中心に
博理工第 496 号	博士 (工学)	赤津 典生	大型商用施設駐車場設計におけるシミュレーション技術を用いた評価手法に関する研究
博理工第 497 号	博士 (工学)	相葉 孝充	曲げ不感多モード光ファイバの解析と設計に関する研究
博理工第 498 号	博士 (工学)	松浦 聡	光ファイバ応用歪分布測定技術の高度化に関する研究
博理工第 503 号	博士 (学術)	ENDA THEMESE UALESI	Development of a mobile e-learning method in Samoa (サモア独立国におけるモバイル E ラーニングの構築)
博理工第 504 号	博士 (工学)	梶谷 明大	製造物の検査工程における画像計測の応用に関する研究
博理工第 505 号	博士 (工学)	堀野 孝	高周波焼入れシミュレーションによる熱処理変形と残留応力の予測技術に関する研究
博理工第 506 号	博士 (工学)	SAMARATTHUNGA HEERALU PATHIRANNEHELAGE KUSHANTHA LAKESH	Development of Portable Monitoring Systems for Water Environment (水環境のための可搬型環境計測システムの開発)

3.4 修了生の進路状況

進路		人数
製造業	印刷・同関連業	1
	鉄鋼業, 非鉄金属・金属製品製造業	5
	電気・情報通信機械器具製造業	4
	輸送用機械器具製造業	3
情報通信業		1
サービス業		2
保険衛生・医療業		2
その他		14
合計		32

4. 特色ある教育活動

4.1 学部教育

工学部では、特に下記の科目群が特色を持つものとして開講されている。

(1) 社会人入門特別講義 (就業力育成・ステップアップ系科目、平成26年度前期・水・5講時)

概要	本講義は根力育成プログラムの中で教養科目として位置付けられている「根力養成プログラム」の一つである。様々な職種で活躍する講師が、それぞれの職場における体験や人生経験から得た社会人として必要な資質について講義する。また、各講師が提示するテーマに関して自ら調査・検討を行い、レポートにまとめて提出する。
到達目標	社会人に必要な資質を理解し、社会で活躍するための基盤となる能力の獲得に向けた自発的な学習能力や態度を身に付ける。実社会での多様な価値観を獲得し、これらに基づいてものごとを総合的・実証的・論理的に判断する能力や態度を身に付ける。また、自らの方向性を確認し、将来あるべき社会人像を描く。
授業計画	(1) 講義ガイダンス (2) モノづくりの要 ～生産技術に関わる仕事～ (3) 会社に入る前と会社に入ってから ～仕事を通して学んだ社会人に求められるスキルについて～ (4) 若い研究者・技術者に望むこと ―ブレークスルーのために感性を磨く― (5) 会社に必要とされる人財，会社に捨てられる人(在(罪)) (6) 企業で研究開発に携わる技術者の働き方の紹介 ～これから社会に出る皆さまの参考のために～ (7) 温暖化と途上国支援に関するコンサルタントの仕事 (8) キャリアビルディング 主体性を持って仕事を考える (9) すべての人の健康のためのQOLの向上・ヘルスプロモーション的観点に立った歯科保健活動 (10) 技術者としてのいきがい，そして企業人として (11) 人材流動化の時代における企業の取り組み (12) 地方行政の中の技術系公務員 (13) 感性でとらえる自然災害の科学実験教室 (14) 技術者の起業とその次に行わなくてはならないこと (15) 講義に関する討論会および最終アンケート

(2) 学外実習（インターンシップ）

平成 26 年度 インターンシップ先一覧

機械工学科

「株式会社日立パワーソリューションズ」 「株式会社照栄製作所」
「株式会社小峰製作所」

生体分子機能工学科

「日立オートモティブシステムズ株式会社」 「茨城プレイティング工業株式会社」
「アクアス株式会社」 「株式会社リンクスポーツエンターテイメント」

マテリアル工学科

「本多金属工業株式会社（2名）」 「東日本高速道路株式会社」
「林精器製造株式会社」 「株式会社三協立山アルミ」

電気電子工学科

「有限会社メカノトランスフォーマ」

情報工学科

「株式会社ソリトンシステムズ」

都市システム工学科

「国土交通省関東地方整備局（3名）」 「大成建設株式会社（2名）」
「日立市企業局（2名）」 「株式会社大林組」 「株式会社東京鐵骨橋梁本社」 「株式
会社長大」 「国立環境研究所」 「東日本旅客鉄法株式会社」

(3) 単位互換制度

① 単位互換協定を結んでいる大学等

- 茨城大学との協定校

放送大学・福島大学・宇都宮大学・茨城高専・福島高専・茨城キリスト教大学

- 茨城大学工学部との協定校

筑波大学

② 履修者数〈平成 26 年度・工学部関係分の人数のみ〉

協定校	派遣者数 (人)	受入者数 (人)
宇都宮大学	0	0
福島大学	0	0
放送大学	2	0
筑波大学	1	0
茨城高専	0	0
福島高専	0	0
茨城キリスト教大学	3	1

③単位互換対象科目

1. 機械工学科（専門科目）

時間割 コード	授業科目	単位	担当教員	授 業 形 態	履 修 年 次	開講 区分	週 時 間 数	曜 日	講 時	受入数	受講条件等
T7107	機械製作基礎	2	前川克廣	講義	1	後学期	2	木	4	5人	水戸開講
T7108	熱力学Ⅰ	2	金野満	講義	1	後学期	2	月	5	5人	水戸開講
T7109	流体力学Ⅰ	2	松村邦仁	講義	2	後学期	2	月	2	2人	
T7110	応用数学Ⅰ	2	平澤剛	講義	2	前学期	2	月	4	5人	
T7111	応用数学Ⅱ	2	平澤剛	講義	2	後学期	2	月	4	5人	
T7112	数学解析Ⅰ	2	植木誠一郎	講義	2	前学期	2	月	3	5人	
T7113	数学解析Ⅱ	2	岡裕和	講義	2	後学期	2	月	3	5人	
T7184	機械力学Ⅰ	2	清水年美	講義	2	前学期	2	火	3	5人	

T 7 1 2 2	機械設計工学	2	塩 幡 宏 規	講 義	2	前学期集中				5人	
T 7 1 3 8	材料強度学	2	堀 辺 忠 志 森 孝 太 郎	講 義	3	後学 期	2	月	4	5人	
T 7 1 3 9	精密加工学	2	山 崎 和 彦	講 義	3	前学 期	2	木	5	5人	
T 7 1 4 1	熱機関工学	2	金 野 満	講 義	3	後学 期	2	金	2	5人	
T 7 1 4 3	メカトロニクス	2	増 澤 徹	講 義	3	前学 期	2	木	4	5人	
T 7 1 4 5	流体機械工学	2	西 泰 行	講 義	3	前学 期	2	金	3	5人	
T 7 1 4 6	伝熱工学	2	稲 垣 照 美	講 義	3	後学 期	2	火	2	3人	

2. 生体分子機能工学科（専門科目）

時間割 コード	授業科目	単位	担当教員	授 業 形 態	履 修 年 次	開講 区分	週 時 間 数	曜 日	講 時	受入数	受講条件等
T8111	応用数学Ⅰ	2	細川卓也	講義	2	前学期	2	木	3	5人	
T8112	数学解析Ⅱ	2	細川卓也	講義	2	後学期	2	木	3	5人	
T8113	数理統計	2	青木利幸	講義	2	前学期	2	月	3	5人	
T8114	数値計算法	2	小澤 哲 伊多波 正徳	講義	2	後学期	2	火	4	5人	
T8115	力学	2	田附雄一	講義	2	前学期	2	月	4	5人	
T8116	コンピュータ概論	2	春日 健	講義	2	後学期	2	金	2	5人	
T8117	基礎分析化学	2	江口美佳	講義	2	前学期	2	水	2	5人	
T8118	基礎有機化学	2	久保田俊夫	講義	2	前学期	2	水	1	5人	

T 8 1 1 9	基礎無機化学	2	大野修 阿部修実	講義	2	前学期	2	木	2	5人	
T 8 1 2 0	化学工学基礎	2	小林芳男	講義	2	後学期	2	月	3	5人	
T 8 1 2 1	電気回路	2	山内智	講義	2	前学期	2	月	1	5人	
T 8 1 2 2	電子工学基礎	2	高橋東之	講義	2	後学期	2	月	2	5人	
T 8 1 2 3	高分子材料学	2	福元博基	講義	2	後学期	2	月	1	5人	
T 8 1 2 4	生化学	2	木村成伸	講義	2	前学期	2	火	1	5人	
T 8 1 2 5	分子生物学	2	北野誉	講義	2	前学期	2	木	1	5人	
T 8 1 2 6	機器分析化学	2	五十嵐淑郎	講義	2	前学期	2	火	2	5人	
T 8 1 3 0	量子化学	2	東美和子	講義	2	後学期	2	木	2	5人	

3. マテリアル工学科 (専門科目)

時間割 コード	授業科目	単位	担当教員	授 業 形 態	履 修 年 次	開講 区分	週 時 間 数	曜 日	講 時	受入数	受講条件等
T8204	基礎物理化学	2	太田弘道	講義	1	後学期	2	金	5	5人	水戸開講
T8252	材料強度学基礎	2	鈴木徹也	講義	1	前学期	2	火	2	5人	水戸開講
T8254	数学・物理演習	2	篠嶋 妥 横田 仁志	演習	2	前学期	2	水	2	5人	
T8255	材料組織学 I	2	新任教員	講義	2	前学期	2	水	1	5人	
T8257	固体物性 I	2	篠嶋 妥	講義	2	前学期	2	火	4	5人	
T8259	計算材料学基礎	2	桃井 康行 堀江 陽介	講義	2	前学期	2	火	5	5人	
T8261	材料物理化学 I	2	田代 優	講義	2	前学期	2	金	2	5人	
T8262	材料物理化学 II	2	太田弘道	講義	2	後学期	2	金	2	5人	

T 8 2 1 7	マテリアル輸送現象	2	池 田 輝 之	講 義	2	後学 期	2	月	1	5人	
T 8 2 6 4	材料力学 I	2	西 野 創一郎	講 義	2	前学 期	2	木	2	5人	

4. 電気電子工学科（専門科目）

時間割 コード	授業科目	単 位	担当教員	授 業 形 態	履 修 年 次	開講 区分	週 時 間 数	曜日	講時	受入数	受講条件等
T8301	基礎電気物理入門	2	祖 田 直 也 柳 平 丈 志	講 義	1	前学 期	2	水	2	3人	水戸開講
T8302	数学演習Ⅰ（A班）	1	鵜 殿 治 彦	演 習	1	前学 期	2	火	2	3人	水戸開講
T8303	数学演習Ⅰ（B班）	1	横 田 浩 久	演 習	1	前学 期	2	火	2	3人	水戸開講
T8304	数学演習Ⅱ（A班）	1	山 中 一 雄	演 習	1	後学 期	2	木	4	3人	水戸開講
T8305	数学演習Ⅱ（B班）	1	三 枝 幹 雄	演 習	1	後学 期	2	木	4	3人	水戸開講
T8306	線形代数Ⅰ（A班）	2	岡 裕 和	講 義	1	前学 期	2	木	2	3人	水戸開講
T8307	線形代数Ⅰ（B班）	2	山 中 一 雄	講 義	1	前学 期	2	木	2	3人	水戸開講
T8308	線形代数Ⅱ	2	岡 裕 和	講 義	1	後学 期	2	火	2	3人	水戸開講

T8309	電気回路Ⅰ（A班）	2	栗原和美	講義	1	後学期	2	木	2	3人	水戸開講
T8310	電気回路Ⅰ（B班）	2	柳平丈志	講義	1	後学期	2	木	2	3人	水戸開講
T8311	ベクトル解析と電磁気（A班）	2	島影尚	講義	1	後学期	2	水	2	3人	水戸開講
T8312	ベクトル解析と電磁気（B班）	2	和田達明	講義	1	後学期	2	水	2	3人	水戸開講
T8313	電気磁気学Ⅰ及び演習（A班）	3	池畑隆	講義	2	前学期	4	月/ 木	3/ 4	3人	
T8314	電気磁気学Ⅱ及び演習（A班）	3	祖田直也	講義	2	後学期	4	月/ 木	3/ 1	3人	
T8315	電気回路Ⅱ（A班）	2	横田浩久	講義	2	前学期	2	水	1	3人	
T8316	ラプラス変換と過渡現象	2	宮嶋照行	講義	2	後学期	2	火	1	3人	
T8317	数学解析Ⅰ	2	岡裕和	講義	2	前学期	2	金	2	3人	
T8318	フーリエ変換と波形解析	2	宮嶋照行	講義	2	前学期	2	月	1	3人	
T8319	基礎物理学	2	小泉智	講義	2	前学期	2	月	4	3人	

T8320	量子力学	2	小泉 智	講義	2	後学期	2	月	4	3人	
T8321	LL演習	2	オーバー ボイマー	講義	2	前学期	2	火	4	3人	
T8322	アナログ電子回路	2	金谷 範一	講義	2	後学期	2	月	2	3人	
T8323	電気電子計測と統計	2	佐藤 直幸	講義	2	前学期	2	月	2	3人	
T8325	数値解析	2	栗原 和美	講義	2	後学期	2	水	2	3人	
T8326	半導体工学I	2	青野 友祐	講義	2	後学期	2	火	3	3人	
T8327	論理回路	2	木村 孝之	講義	2	後学期	2	火	2	3人	
T8328	電気電子工学実験I	3	電気電子工学科教員	実験	2	後学期	6	木	3-5	3人	
T8329	電気回路III	2	三枝 幹雄	講義	2	後学期	2	金	2	3人	

5. メディア通信工学科（専門科目）

時間割 コード	授業科目	単 位	担当教員	授 業 形 態	履 修 年 次	開講 区 分	週 時 間 数	曜 日	講 時	受入数	受講条件等
T7401	線形代数Ⅰ	2	細川卓也	講義	1	前学期	2	火	3	5人	水戸開講
T7402	線形代数Ⅱ	2	細川卓也	講義	1	後学期	2	火	3	5人	水戸開講
T7466	ベクトル解析	2	辻龍介	講義	1	後学期	2	木	4	※	水戸開講
T7403	メディア通信工学入門	2	メディア通信工学科教員	講義	1	前学期	2	金	5	※	水戸開講
T7404	電気回路Ⅰ	2	上原清彦	講義	1	前学期	2	金	1	※	水戸開講
T7405	電気回路Ⅱ	2	辻龍介	講義	1	後学期	2	木	2	※	水戸開講
T7468	電気回路Ⅲ	2	武田茂樹	講義	2	前学期	2	木	1	※	
T7407	応用数学Ⅰ	2	元結信幸	講義	2	前学期	2	月	2	5人	

T7408	応用数学Ⅱ	2	中村真毅	講義	2	後学期	2	木	2	5人	
T7409	数学解析Ⅰ	2	細川卓也	講義	2	前学期	2	月	3	5人	
T7410	数学解析Ⅱ	2	細川卓也	講義	2	後学期	2	月	3	5人	
T7412	力学	2	小澤哲	講義	2	前学期	2	火	4	5人	
T7413	量子力学	2	小澤哲	講義	2	後学期	2	火	3	5人	
T7415	情報物理	2	赤羽秀郎	講義	2	前学期	2	火	2	※	
T7417	電気磁気学Ⅰ	2	辻龍介	講義	2	前学期	2	月	1	※	
T7418	電気磁気学Ⅰ演習	2	梅比良正弘	講義	2	前学期	2	水	2	※	
T7419	電気磁気学Ⅱ	2	杉田龍二	講義	2	後学期	2	月	2	※	
T7420	電気磁気学Ⅱ演習	2	小峰啓史	講義	2	後学期	2	火	1	※	
T7421	アナログ回路Ⅰ	2	塚元康輔	講義	2	後学期	2	火	2	※	

T7469	デジタル回路	2	鵜野克宏	講義	2	前学期	2	木	2	※	
T7423	プログラミングⅠ	2	湊 淳	講義	2	前学期	2	水	1	※	
T7424	プログラミングⅡ	2	伊多波 正 徳	講義	2	後学期	2	木	1	※	
T7472	電子計算機	2	山 田 光 宏	講義	2	後学期	2	金	2	※	
T7426	情報理論	2	上 原 清 彦	講義	2	後学期	2	月	1	※	
T7465	半導体工学	2	小 峰 啓 史	講義	3	前学期	2	月	1	※	
T7428	メディア通信工学実験Ⅰ	3	メディア通信工学科教員	実験	2	後学期	6	水	1-3	5人	
T7429	統計物理学	2	赤 羽 秀 郎	講義	3	前学期	2	火	4	※	
T7430	アナログ回路Ⅱ	2	塚 元 康 輔	講義	3	前学期	2	月	3	※	
T7432	電波工学	2	鹿子嶋 憲 一	講義	3	前学期	2	水	1	※	
T7433	ワイヤレス通信	2	鹿子嶋 憲 一	講義	3	後学期	2	水	3	※	

T7436	通信ネットワーク論Ⅰ	2	梅比良 正 弘	講義	3	前学期	2	火	2	※	
T7437	通信方式Ⅰ	2	武 田 茂 樹	講義	3	前学期	2	金	1	※	
T7438	光通信工学Ⅰ	2	小山田 弥 平	講義	3	前学期	2	木	2	※	
T7439	レーザ工学	2	中 村 真 毅	講義	3	後学期	2	金	2	※	
T7440	生物情報工学	2	矢 内 浩 文	講義	3	後学期	2	木	2	※	
T7444	通信ネットワーク論Ⅱ	2	出 崎 善 久	講義	3	後学期	2	水	5	※	
T7446	メディアデバイス	2	杉 田 龍 二	講義	3	後学期	2	火	3	※	
T7448	メディア通信工学実験Ⅱ	3	メディア通信工学科教員	実験	3	前学期	6	木	3-5	5人	
T7449	メディア通信工学実験Ⅲ	3	メディア通信工学科教員	実験	3	後学期	6	木	3-5	5人	
T7451	光通信工学	2	小山田 弥 平	講義	3	後学期	2	火	2	※	
T7453	画像情報工学	2	清 原 将 裕	講義	3	前学期集中				※	

T7458	マンマシン工学	2	山田光宏	講義	3	前学期	2	月	2	※	
T7459	物性工学	2	杉田龍二	講義	3	前学期	2	火	3	※	
T7460	通信方式Ⅱ	2	梅比良正弘	講義	3	後学期	2	水	2	※	
T7461	LSI設計演習	2	武田茂樹	演習	3	後学期	2	金	3	3人	
T7467	デバイス・回路演習	1	Thithi Lay	講義	3	前学期集中				※	
T7462	音響・音声工学	2	岩谷幸雄	講義	3	前学期集中		—	—	※	
T7463	コンピュータネットワーク演習	2	出崎善久	演習	4	前学期集中				3人	
T7470	制御工学	2	広津鉄平	講義	3	後学期	2	水	1	※	

※印：制限なし

6. 情報工学科（専門科目）

時間割 コード	授業科目	単位	担当教員	授 業 形 態	履 修 年 次	開講 区分	週 時 間 数	曜 日	講 時	受入数	受講条件等
T7503	線形代数Ⅰ	2	元 結 信 幸	講 義	1	前学 期	2	金	2	3人	水戸開講
T7504	線形代数Ⅱ	2	元 結 信 幸	講 義	1	後学 期	2	金	2	3人	水戸開講
T7505	確率・統計	2	山 田 孝 行	講 義	1	後学 期	2	木	4	3人	水戸開講
T7572	プログラミング基礎	2	荒 木 俊 郎	講 義	1	前学 期	2	金	5	3人	水戸開講
T7507	コンピュータ基礎	2	黒 澤 馨	講 義	1	後学 期	2	月	5	3人	水戸開講
T7576	離散数学Ⅰ	2	(新 任 教 員)	講 義	2	前学 期	2	月	1	3人	
T7518	アルゴリズムとデータ 構造Ⅰ	2	(新 任 教 員)	講 義	2	前学 期	2	金	2	3人	
T7577	コンピュータアーキテ クチャ	2	澁 澤 進	講 義	2	前学 期	2	木	1	3人	

T7515	論理回路	2	鎌田 賢	講義	2	前学期	2	火	4	3人	
T7512	応用数学Ⅱ	2	平澤 剛	講義	2	前学期	2	水	1	5人	
T7514	数学解析Ⅰ	2	平澤 剛	講義	2	後学期	2	水	1	5人	
T7524	数値計画法	2	岸 義樹	講義	2	前学期	2	火	2	3人	
T7537	情報ネットワーク	2	外岡 秀行	講義	2	前学期	2	月	4	3人	
T7580	離散数学Ⅱ	2	藤 芳明生	講義	2	前学期	2	月	3	3人	
T7532	オートマトン論	2	荒木 俊郎	講義	2	後学期	2	木	2	3人	
T7533	オペレーティングシステム	2	岸 義樹	講義	2	後学期	2	水	2	3人	
T7581	情報理論と符号理論	2	黒澤 馨	講義	2	後学期	2	金	2	3人	
T7519	アルゴリズムとデータ構造Ⅱ	2	(新任教員)	講義	2	後学期	2	木	4	3人	
T7525	確率過程論	2	澁澤 進	講義	3	前学期	2	水	2	3人	

T7528	数値解析	2	大野博	講義	2	後学期	2	火	1	3人	
T7582	データベース論	2	岡田信一郎	講義	2	後学期	2	火	4	3人	
T7583	数理論理学	2	佐々木稔	講義	2	後学期	2	火	2	3人	
T7536	プログラミング言語処理系	2	荒木俊郎	講義	3	前学期	2	木	2	3人	
T7538	ソフトウェア工学I	2	上田賀一	講義	3	前学期	2	火	2	3人	
T7540	画像処理	2	外岡秀行	講義	3	後学期	2	月	2	3人	
T7541	グラフ理論	2	加納幹雄	講義	3	後学期	2	水	2	3人	
T7542	記号プログラミング	2	岸義樹	講義	3	前学期	2	火	1	3人	
T7556	情報セキュリティ	2	黒澤馨	講義	3	前学期	2	月	2	3人	
T7558	情報工学トピックス	2	武澤隆之他	講義	3	前学期	2	木	4	3人	
T7554	知識工学	2	岸義樹	講義	3	後学期	2	水	1	3人	

T7551	コンピュータグラフィックス	2	米倉達広	講義	3	前学期	2	火	3	3人	
T7549	ソフトウェア工学Ⅱ	2	上田賀一	講義	3	後学期	2	火	1	3人	
T7550	並列分散プログラミング	2	澁澤進	講義	3	後学期	2	木	2	3人	
T7548	通信方式	2	羽淵裕真	講義	3	後学期	2	火	2	3人	
T7557	ヒューマンコンピュータ・インタラクション	2	山田孝行	講義	3	前学期	2	金	3	3人	
T7586	自然言語処理	2	新納浩幸	講義	3	後学期	2	木	1	3人	
T7559	システム開発論	2	阿部徹	講義	3	後学期集中	金	4-5	3人	隔週開講	

7. 都市システム工学科（専門科目）

時間割 コード	授業科目	単 位	担当教員	授 業 形 態	履 修 年 次	開講 区分	週 時 間 数	曜 日	講 時	受入数	受講条件等
T7601	線形代数Ⅰ	2	仁 平 政 一	講 義	1	前学期	2	火	2	3人	水戸開講
T7602	線形代数Ⅱ	2	仁 平 政 一		1	後学期	2	火	2	3人	水戸開講
T7605	都市システム工学序論	2	都市システム工学科教 員	講 義	1	前学期	2	金	1	3人	水戸開講
T7606	応用地質学	2	天 野 一 男	講 義	1	前学期	2	火	3	3人	水戸開講
T7607	測量学	2	桑 原 祐 史	講 義	2	前学期	2	金	2	3人	
T7630	都市・地域計画	2	金 利 昭	講 義	1	後学期	2	火	1	3人	水戸開講
T7676	材料力学	2	車 谷 麻 緒	講 義	1	後学期	2	月	1	3人	水戸開講
T7610	応用数学Ⅰ	2	平 澤 剛	講 義	2	前学期	2	月	2	3人	
T7611	数学解析Ⅰ	2	植 木 誠一郎	講 義	2	後学期	2	火	2	3人	

T7612	数理統計Ⅰ	2	平田輝満	講義	2	前学期	2	月	1	3人	
T7613	数理統計Ⅱ	2	横木裕宗	講義	2	後学期	2	木	4	3人	
T7616	都市システム情報処理	2	横木裕宗	講義	2	前学期	2	火	3	3人	
T7678	空間情報工学	2	桑原祐史	講義	3	前学期	2	金	3	3人	
T7619	構造力学Ⅰ	2	呉智深	講義	2	前学期	2	木	1	3人	
T7620	構造力学Ⅱ	2	車谷麻緒	講義	2	後学期	2	金	4	3人	
T7621	水理学Ⅰ	2	信岡尚道	講義	2	前学期	2	水	1	3人	
T7622	水理学Ⅱ	2	横木裕宗	講義	2	後学期	2	火	1	3人	
T7623	土の力学Ⅰ	2	村上哲	講義	2	前学期	2	火	1	3人	
T7624	土の力学Ⅱ	2	村上哲	講義	2	後学期	2	月	1	3人	
T7626	コンクリート構造学	2	原田隆郎	講義	2	後学期	2	火	3	3人	

T7627	地球環境工学	2	三村信男	講義	2	前学期	2	火	4	3人	
T7629	景観工学	2	(新任教員)	講義	2	後学期	2	金	3	3人	
T7608	建設材料学	2	沼尾達弥	講義	2	前学期	2	金	4	3人	
T7609	土木計画論	2	金利昭	講義	2	前学期	2	木	3	3人	
T7631	上下水道工学	2	藤田昌史	講義	2	後学期	2	水	1	3人	
T7632	社会システム分析	2	金利昭 平田輝満	講義	2	後学期	2	木	5	3人	
T7634	地下構造学	2	(未定)	講義	3	後学期	2	火	2	3人	
T7635	数学解析Ⅱ	2	植木誠一郎	講義	3	前学期	2	火	2	3人	
T7636	水環境学	2	藤田昌史	講義	3	前学期	2	木	3	3人	
T7637	交通システム	2	山田稔	講義	2	後学期	2	木	3	3人	
T7639	鋼構造及び橋梁工学	2	原田隆郎	講義	3	前学期	2	木	1	3人	

T7640	地震及び振動工学	2	井上涼介	講義	3	前学期	2	月	1	3人	
T7641	河川・水循環工学	2	白川直樹	講義	3	後学期隔週	2	金	4 - 5	3人	
T7642	海岸工学	2	三村信男 横木裕宗	講義	3	前学期	2	火	1	3人	
T7643	基礎・環境地盤工学	2	(未定)	講義	3	前学期	2	月	2	3人	
T7673	輸送施設工学	2	中島・遠藤・原田	講義	3	後学期隔週	2	月	3 - 4	3人	
T7674	建設施工	2	武田・高津・藤野	講義	3	後学期	2	木	2	3人	
T7649	建築学概論	2	一ノ瀬彩	講義	3	後学期	2	金	3	3人	
T7650	都市設備及び住居環境	2	沼尾達弥	講義	2	後学期	2	火	4	3人	
T7661	構造工学	2	呉智深	講義	3	後学期	2	火	1	3人	
T7677	コンクリート工学	2	沼尾達弥	講義	3	前学期	2	火	5	3人	

8. Aコース・知能システム工学科（専門科目）

時間割 コード	授業科目	単位	担当教員	授 業 形 態	履 修 年 次	開講 区分	週 時 間 数	曜 日	講 時	受入 数	高専単位互 換 受入れ科目 ○
T8701	線形代数Ⅰ	2	深 澤 裕	講 義	1	前学 期	2	火	3	5人	水戸開講 ○
T8702	線形代数Ⅱ	2	深 澤 裕	講 義	1	後学 期	2	火	3	5人	水戸開講 ○
T8703	知能システム入門	2	知能システム工学科教 員	講 義	1	前学 期	2	火	1	5人	水戸開講 ○
T8704	コンピュータシステムⅠ	2	梅 津 信 幸	講 義	1	前学 期	2	水	2	5人	水戸開講 ○
T8705	コンピュータシステムⅡ	2	乾 正 知	講 義	1	後学 期	2	月	1	5人	水戸開講 ○
T8706	工業力学	2	井 上 康 介	講 義	1	後学 期	2	火	2	5人	水戸開講 ○
T8707	数理統計A	2	塩 田 恒 夫	講 義	1	後学 期	2	木	2	5人	水戸開講 ○
T8709	応用数学Ⅰ	2	楊 子 江	講 義	2	前学 期	2	木	1	5人	

T8710	数学解析 I	2	鈴木 智也	講義	2	前学期	2	火	3	5人	
T8711	コンピュータ数学	2	近藤 久	講義	2	前学期	2	水	2	5人	
T8712	電気工学概論	2	中野 博民	講義	2	前学期	2	水	1	5人	
T8714	材料力学	2	小貫 哲平	講義	2	前学期	2	火	5	5人	
T8717	電子工学概論	2	小林 康弘	講義	2	後学期	2	金	2	5人	
T8718	数値シミュレーション	2	岩崎 唯史	講義	2	後学期	2	火	2	5人	
T8719	現代物理学	2	武井 早憲	講義	2	後学期	2	木	2	5人	
T8720	技術プレゼンテーション	2	森 善一	講義	2	前学期	2	火	4	5人	
T8721	制御工学 I	2	青島 伸一	講義	3	前学期	2	月	2	5人	
T8723	アルゴリズムとデータ構造	2	井上 康介	講義	2	後学期	2	月	1	5人	
T8724	生産加工学	2	周 立波	講義	2	後学期	2	火	4	5人	

9. 全学科向け開講科目（学科以外の科目）

時間割 コード	授業科目	単位	担当教員	授 業 形 態	履 修 年 次	開講 区分	週 時 間 数	曜 日	講 時	受入数	受講条件等
T9910	科学英作文Ⅰ	2	中野武重	講義	2 ～ 4	前学 期	2	金	1	若干名	
T9913	科学英作文Ⅱ	2	中野武重	講義	2 ～ 4	後学 期	2	金	2	若干名	
T9928	知的財産法	1	六車正道	講義	2 ～ 4	後学 期	2	金	5	5名	

(4) オープンキャンパス

平成26年度 茨城大学工学部 オープンキャンパス案内

2014年度の茨城大学工学部オープンキャンパスを日立キャンパスで開催します。
当日は入試説明、キャンパス見学、各学科の説明会及び実験風景等を見学できます。
茨城大学工学部を志望する高校生・高専生の諸君、保護者の方々、先生を始め、関心のある方々の多数のご参加をお待ちしております。

【日 時】 平成26年7月13日(日) 9:30~15:30

【会 場】 茨城大学日立キャンパス(日立市中成沢町4-12-1)

会場へのアクセス方法は工学部ホームページをご確認ください。
<http://www.eng.ibaraki.ac.jp/generalinfo/campus/access/index.html>
なお、常陸多賀駅および日立駅から**無料シャトルバス**を運行します。
(時刻表はホームページ参照)

【日 程】 1. 受付 9:30~
2. 全体説明会 10:00~10:50
3. 学科説明会
★各学科の実験室等施設見学
第1回目 11:20~12:40(機械、生体、IT、都市)
12:00~13:20(材料、電気、情報、知能)
第2回目 13:20~14:40(機械、生体、IT、都市)
14:00~15:20(材料、電気、情報、知能)
※学科説明会の第1回と第2回の内容は同じです。

注: 昼食には学生食堂及び売店が営業していますので、ご利用ください。
営業時間 売店 10:00~15:30
食堂 10:30~14:30

【その他の企画】

○入試相談・学科説明コーナー 11:00~15:30
※各学科教員が入試等に関する個別相談に応じる他、過去の入試問題を配布します。

○図書館臨時開館 9:30~15:30 館内を適宜案内いたします(図書館ツアー)

○高校・高専教員との懇談会 12:30~13:30
会場: N4棟 小平記念ホール ※12:20頃に会場へお集まりください。

*** * 途中参加も歓迎します * ***

茨城大学工学部ホームページアドレス

http://www.eng.ibaraki.ac.jp/generalinfo/opencampus/eng_opencampus/index.html

【問い合わせ先】
茨城大学工学部学務第一係
〒316-8511 日立市中成沢町4-12-1
TEL 0294-38-5223 FAX 0294-38-5260
Emailアドレス e-kouhou@ml.ibaraki.ac.jp

《各学科で実施する説明会の主な内容》

(実験設備の都合で、多少内容が変更になる場合があります。)

学科	学科説明会の内容	会場
機械工学科	<ul style="list-style-type: none"> ●機械工学科の紹介 ●研究室見学ツアー 燃料電池自動車用材料、磁気浮上型人工心臓・モータの開発、風洞装置・水車の実演、逆解析技術、鉄道車両技術に関する研究開発などの研究室見学ツアー ●在学生(学部生、修士学生、女子学生を含む)との懇談会 	E1棟 E5棟 W1棟 W2棟 W4棟 W5棟
生体分子機能工学科	<ul style="list-style-type: none"> ●生体分子機能工学科の紹介 ●ミニ講演会1「蛋白質の構造を原子レベルで明らかにするとわかってくること」 ●ミニ講演会2「化学反応・不安定化学種をとらえる〜X線・中性子回折のチカラ」 ●生体分子機能工学科の各研究室の研究内容のパネル展示 	E1棟
材料工学科	<ul style="list-style-type: none"> ●材料工学科の紹介 ●研究紹介 ・形状記憶合金について(形状記憶合金を用いた実験、形状記憶合金のしくみ応用例など) ・熱電素子について(熱電素子(温度差を電気に変える)のしくみ、熱電素子の応用例など) ●研究室の見学 	E1棟 W3棟
電気電子工学科	<ul style="list-style-type: none"> ●電気電子工学科の紹介 ●「きれいな水を作る高電圧パワーエレクトロニクス」(高電圧パルスパワー研究室) ●「高級モーターを分解したり、動かしたりしよう」(電気機器実験研究室) ●「電磁波工学について」 	E1棟 E6棟
メディア通信工学科	<ul style="list-style-type: none"> ●メディア通信工学科の紹介 ●研究室見学 ・RFID(無線認証)タグ及び各種アンテナ技術 ・免疫アルゴリズム ・画像処理アクセラレータの開発 	E5棟
情報工学科	<ul style="list-style-type: none"> ●情報工学科の紹介 ●研究紹介(大学院生が自分たちの研究を紹介) ●キャンパスライフ紹介(大学院生が入学から卒業までの授業や行事、サークル活動などの取り組みを紹介) ●授業紹介(プログラミング演習や情報工学実験などの代表的な必修科目の概要を紹介) 	E1棟 S1棟
都市システム工学科	<ul style="list-style-type: none"> ●都市システム工学科の紹介 ●構造・地震防災工学、建設材料工学、防災・環境地盤工学の各実験施設の紹介と実演など ●学生による研究内容の紹介とパネル展示 ●在学生との懇談会(大学での講義や研究、就職状況、大学生活などに関する学生との懇談) 	S2棟 S3棟
知能システム工学科	<ul style="list-style-type: none"> ●知能システム工学科の紹介 ●研究室見学 ・「分子シミュレーションとナノレベルの実験による摩擦・加工メカニズムの解析と応用」 ・「移動ロボットシステムの機構と制御」 ・「身近に役立つ確率論」 ●在学生との懇談会 	E2棟 E3棟

4.2 大学院博士前期課程教育

博士前期課程では，大学院共通科目，大学院理工学研究科共通科目を設定している他，特に下記の科目群が特色を持つものとして開講されている。

(1) 社会公開セミナー

講師	主 題	所 属	開催日
近藤 良	下肢障害者のための脚支援システム	茨城大学大学院 理工学研究科 機械工学専攻 教授	H26. 5. 8
小峯 秀雄	放射性物質汚染土壌の実情と今後の課題	早稲田大学理工学術院 創造理工学部 社会環境工学科 教授	H26. 5. 15
井門 俊治	3次元CG・可視化と教育への応用	埼玉工業大学 教授	H26. 5. 22
池田 輝之	熱電変換技術のこれから・廃熱再生のために	茨城大学大学院 理工学研究科 物質工学専攻 教授	H26. 5. 29
岩松 勝	超電導リニアモーターカーと超電導技術 ～ 開発の歴史とキーテクノロジー ～	公益財団法人 鉄道総合技術研究所 企画室 次長	H26. 6. 5
小澤 佑介	可視光通信の仕組みと応用 －LED照明を利用した新しい通信方式－	東京理科大学 理工学部 電気電子情報工学科 助教	H26. 6. 12
藪田 哲郎	マシンインテリジェンス	横浜国立大学 大学院工学研究所 教授	H26. 6. 19
山田 悠介	－放射光施設が果たす生命科学への貢献－	高エネルギー加速器 研究機構 物質構造科学研究所 助教	H26. 6. 26

(2) 国際コミュニケーション基礎

授業科目	国際コミュニケーション基礎
担当教員	中野武重
開講時期	前期 月2
対象年次	理工研前期工・1年次
概要	①英語によるコミュニケーション, ②研究成果を英語論文としてまとめるためのテクニカル・ライティング, ③英語による発表を行うためのプレゼンテーション, 以上3つのベースとなる英語力と技能養成の講義を行う。受講生は, 体得した技術に基づき, 国際会議「International Student Conference in Ibaraki University」に論文投稿を行い, 研究発表を行うことが望ましい。
到達目標	国際会議で活躍できるような, 国際的感覚の優れた若手研究者の育成を目指す。本学で開かれる学生の学生による学生のための国際会議「International Student Conference in Ibaraki University」等で自らの研究成果を発表できるためのベースとなるコミュニケーション能力を身につけることを目標にする。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> (1) シラバス解説 (2) 国際コミュニケーションとしての英語の役割と必要性 (3) 英語の特徴: 英文構造/単数複数/冠詞/文化的側面 (4) 日常会話英語と科学技術英語の違い (5) オーラルコミュニケーションの基本: 表現・発音・強勢・イントネーション (6) 文法の要点: 時制・態・関係詞・前置詞・接続詞・比較 (7) 簡潔・明確な英文表現: 箇条書き・parallelism・冗長性の改善 (8) 英文表現と文体: 句動詞と1語動詞・名詞による前置修飾・名詞表現と動詞表現・他 (9) 論理的思考と表現: 事実と意見・抽象と具体(概要と詳細)・原因と結果・情報の分類 (10) 句読法 (11) 英語における敬語・丁寧表現 (12) 和製英語・誤用英語 (13) 論理的な記述と展開 (14) 英字新聞 (15) 国際コミュニケーション雑学

(3) 実践国際コミュニケーション

授業科目	実践国際コミュニケーション
担当教員	中野武重
開講時期	前期 水2
対象年次	理工研前期工・1年次
概要	国際コミュニケーションに必要な技能である「①英語力, ②論理力, ③交渉力, ④発表力, ⑤議論力」のベース作りの講義及び演習を行う。受講生は, 体得した 技術に基づき, 国際会議「International Student Conference in Ibaraki University」に論文投稿 を行い, 研究発表を行うことが望ましい。
到達目標	グローバル化の時代に必要な国際感覚を身に付け, 国際会議や海外とのビジネスで活躍できるための実践的コミュニケーションのベースとなる能力を身につけることを目標にする。
授業計画	(1) シラバス解説 (2) 国際コミュニケーションに必要とされる技能 (3) 英語の条件表現と条件命題 (4) 英語の論理構造1 : 命題論理の基本 (5) 英語の論理構造2 : syllogism (6) 英語の論理構造3 : Toulmin Logic (7) デイバートの基本 (8) Critical Thinking (9) 発想力・想像力・創造力・水平思考 (10) Five-paragraph writing (11) 国際交渉 (12) 英語プレゼンテーションの要点 (13) 国民性 (14) ジョーク・ユーモア (15) 国際コミュニケーション雑学

(4) 工学特別講義（国際コミュニケーション演習）

授業科目	工学特別講義（国際コミュニケーション演習）
担当教員	湊淳
開講時期	後期 水5
対象年次	理工研前期工・1年次
概要	国際社会で専門性を活かした活躍ができるよう、英語の基礎力と技術英語を中心とした応用力、コミュニケーション能力を身に付ける。学生のTOEICスコアアップと同時に、プレゼンテーション能力の向上を目指す。授業開始時点で英語能力の診断を行い、各自の学習方針を決定する。また授業終了時点で英語能力の診断を行い、授業の成果を確認する。また研究内容を英語でまとめ、口頭発表の演習を行う。
到達目標	1. 英語で研究論文の作成が行える（50%） 2. 英語で研究内容の口頭発表が行える（50%）
授業計画	1. オリエンテーションとプレテスト 2. プレテスト 3. 英語コミュニケーション基礎 4. 英語コミュニケーション基礎 5. 英語コミュニケーション応用 6. 英語コミュニケーション応用 7. 技術英語基礎 8. 技術英語基礎 9. 技術英語基礎 10. 技術英語応用 11. 技術英語応用 12. 技術英語応用 13. 英語プレゼンテーション演習 14. 英語プレゼンテーション演習 15. 英語プレゼンテーション演習

(5) 工学特別講義（実践産業技術特論）

授業科目	工学特別講義(実践産業技術特論)
担当教員	西野 創一郎
開講時期	後期 水6
対象年次	理工研前期工・1年次
概要	本授業では、(株)日立製作所協力のもとで、構造物の生産技術として必要不可欠である「溶接・接合」について、この分野において第一線で活躍されている大学・企業の方々に、金属組織や溶接原理などの基礎知識から最新の技術動向まで幅広く御紹介いただく。さらに企業を訪問して、製造現場の状況に触れ、実学としての工学を学ぶ機会とする。授業は、講義と企業見学で構成されている（昨年度：座学11回、工場見学4回）。
到達目標	溶接・接合技術に関する基礎知識・最新動向の習得と企業見学の両面から、次世代を担うエンジニアとして成長するために必要な素養を身につける。
授業計画	次ページに示す。

平成27年度 シラバス 実践産業技術特論（金属の溶接・接合技術）

Advanced Industrial Technology

受講対象：大学院1年生，2年生と企業の関連技術者

開講時間：後期 水曜日 18:00～19:30（工場見学の場合は水曜日 13:00～16:00）

週	開催日	講義題目	概要	講師	
0	9/30	水	プレ授業	・(株)日立製作所 小平記念館見学	
1	10/7	水	鉄鋼材料の熱処理と組織	・溶接，接合を理解するために必要な鋼の熱処理と組織について講義を行う。	茨城大学 名誉教授 友田 陽
2	10/14	水	金属の溶接と接合技術	・溶接，接合の重要性について（溶接の歴史，分類，難しさ）紹介を行う。	(株)日立製作所 材料イノベーションセンター 材料応用研究部 主任研究員 尾花 健
3	10/21	水	溶接に関する信頼性評価技術	・溶接に関する信頼性評価技術（欠陥の検査技術や強度評価手法など）について講義を行う。	日鉄住金テクノロジー(株) 鹿島事業所 技術部 緒方 龍二
4	10/28	水	鉄鋼材料の溶接技術	・一般構造用鋼の溶接技術，接合技術について講義を行う。	日立 GE ニュクリア・エナジー(株) 原子力製造部 主管技師 小出 宏夫
5	11/4	水	ステンレス材料の溶接技術	・ステンレス鋼の溶接技術，接合技術の特徴や問題点について講義を行う。	日立 GE ニュクリア・エナジー(株) 日立事業所 原子力製造部 主任技師 浅野 寛
6	11/11	水	【工場見学】 (株)日立製作所日立事業所臨海工場	レーザ溶接他	
7	11/18	水	溶接構造物の非破壊試験技術	・溶接，接合体の健全性を確認するための非破壊試験技術について講義を行う。	日立 GE ニュクリア・エナジー(株) 原子力品質保証部 主管技師 小池 正浩
8	11/25	水	大物溶接構造物の溶接技術	・大物溶接構造物の溶接，接合技術について特徴や問題点について講義を行う。	三菱日立パワーシステムズ(株) 日立タービン製造部 主席技師 遠藤 一彦
9	12/2	水	【工場見学】 三菱日立パワーシステムズ(株) 日立工場	アーク溶接，電子ビーム溶接他	
10	12/9	水	大型建設機械の溶接と機械接合技術	・建設機械製作に用いる一般構造用鋼の溶接や接合技術の紹介と問題点について講義を行う。	日立建機(株)研究開発本部 研究開発センター 主任研究員 中嶋 徹
11	12/16	水	【工場見学】 日立建機(株)土浦工場	建設機械工場の見学 アーク溶接他	
12	1/6	水	非鉄金属の熱処理と金属組織	・溶接，接合を理解するために必要な非鉄金属（アルミニウム，マグネシウム，チタン）の熱処理と組織について講義を行う。	茨城大学大学院理工学研究科機械工学専攻 教授 倉本 繁
13	1/13	水	アルミニウム合金と溶接特性	・アルミニウムの溶接特性を実例に入れて，材料面から講義を行う。	一般法人軽金属溶接協会 技術参与 沖田 富晴
14	1/20	水	摩擦攪拌接合（FSW）の基礎と応用	・FSWの原理，FSW適用例について講義を行う。	(株)日立製作所 材料イノベーションセンター 材料応用研究部 主任研究員 平野 聡
15	1/27	水	【工場見学】 (株)日立パワーソリューションズ 勝田事業所	FSW 装置見学	

単位数：2単位

6) 工学特別講義（組込みシステム開発特別演習）

授業科目	工学特別講義（組込みシステム開発特別演習）
担当教員	鎌田 賢 岡田 信一郎
開講時期	前期
対象年次	理工研前期工・1年次
概要	<p>身の回りの家電製品を例に，組込みシステムがどのような形で製品を実現させているかを考え，その機能の一部の実現を演習する．ソフトウェア設計演習，プログラミング技術演習は1チップマイコンをベースとする．演習キットは一人に一台を貸与し，実践的なシステム開発演習を行う．</p> <p>関連科目：組込みシステム開発特論，リアルタイム組込みシステム開発論，組込みソフトウェア概要</p>
到達目標	<p>普段何気なく使っている家電製品の仕組みを「組込みシステム」の観点から操作的に考え，実際にその機能の一部を自らの体験として実現してみることで「組み込みシステム開発」産業への関心と参画意欲を高めてもらう．又，手順としての「組込みシステム開発」を体験することで応用力を有する人材の育成を行う．</p> <p>学習・教育目標との対応：「学ぶ力」，「考える力」を培う．</p>
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 組込みシステム開発に関するグループ討論 2. システム分析／要求定義演習（1/2）：システム分析と調査：対象製品を取り巻く環境 3. システム分析／要求定義演習（2/2）：システム記述事例 4. システム設計演習（1/4）：ハードとソフトの切り分け 5. システム設計演習（2/4）：システム設計技法 6. システム設計演習（3/4）：アーキテクチャ設計技法 7. システム設計演習（4/4）：システム設計書作成演習 8. ソフトウェア設計演習（1/4）：1チップマイコンソフトウェア設計演習 9. ソフトウェア設計演習（2/4）：赤外線を使ったリモコン送信機能設計演習 10. ソフトウェア設計演習（3/4）：赤外線を使ったリモコン受信機能設計演習 11. ソフトウェア設計演習（4/4）：演習キットの機能と操作 12. プログラミング技術演習（1/4）：1チップマイコンのプログラミング演習 13. プログラミング技術演習（2/4）：R8C/Tinyを使った赤外リモコン送信機の作成 14. プログラミング技術演習（3/4）：R8C/Tinyを使った赤外リモコン受信機の作成 15. プログラミング技術演習（4/4）：演習キットによるデバッグとテスト

(7) 工学特別講義（組込みシステム開発特論）

授業科目	工学特別講義（組込みシステム開発特論）
担当教員	上田賀一
開講時期	前期
対象年次	理工研前期工・1年次
概要	組込みソフト開発の基本から製品に至るまでの工程とプログラミングや基盤OSのリアルタイム性について学習する。(1)組込みシステムを取り巻く状況、組込みシステムにおける計算機の活用、(2)組込みソフトの開発方法、(3)計算機の構成、計算機プログラムの動作原理、組込みシステムにおける計算機の役割と設計法、(4)RTOSの基礎ならびに組込みLinuxを対象にしたRTプログラミング方法について講義と演習を実施する。
到達目標	今後とも不足が見込まれている組込みソフト開発技術者の育成を目的として、組込みソフトに関する分野横断的な基礎専門知識を教育することを目的とする。まず組込みソフトの基礎となるリアルタイムプログラミングに関して講義ならびに演習により技術的・基礎的理解を深める。これらを通じて、最先端の組込みソフト開発の基盤技術を有する人材育成を行う。
授業計画	<ol style="list-style-type: none">1. 組込みソフトの動向と課題2. 組込みソフトおよびその開発の特徴3. 組込みソフト開発プロセスとその重要性4. 企業における開発プロセスと開発管理の実際5. 信頼性向上に有効な技術/手法6. 組込みソフト開発に必要なスキルとETSS7. 開発組織8. 組込みシステムとリアルタイムシステム9. 計算機基本技術10. リアルタイムOS11. 割り込み処理とプログラム動作モデル12. 組込みLinuxとその他の組込みOS13. リアルタイムプログラミングの実際14. リアルタイムシステム構成方法のまとめ15. 総合演習

(8) 学外実習（インターンシップ）

平成 26 年度 インターンシップ先一覧

機械工学専攻

「原子力規制庁」 「株式会社 IHI」 「株式会社呉羽」

電気電子工学専攻

「株式会社日立製作所（5名）」 「日立オートモティブシステムズ株式会社」「トヨタ自動車株式会社」

メディア通信工学専攻

「ソフトバンク BB 株式会社」 「ソフトバンクモバイル株式会社」

情報工学専攻

「株式会社日立製作所（3名）」 「株式会社日立ハイテクノロジーズ（3名）」「株式会社日立ハイテックスソリューションズ」「三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社」「株式会社日立パワーソリューションズ」
「東日本旅客鉄道株式会社」 「株式会社富士通」

都市システム工学専攻

「パシフィックコンサルタンツ株式会社（4名）」 「国際航業株式会社（2名）」「八千代エンジニアリング株式会社（2名）」 「株式会社長大（2名）」
「東急建設株式会社（2名）」 「東京電力株式会社」 「東日本旅客鉄道株式会社」
「大成建設株式会社」 「東亜建設工業株式会社」 「株式会社日水コン」「株式会社前田建設」 「中央開発株式会社」 「株式会社エコー」
「鹿島建設株式会社」

5. 教育環境（学部および大学院）

工学部および大学院理工学研究科(日立キャンパス)では、学生の教育環境の改善を目的として、研究支援体制経費、高度化推進特別経費の手当て、学生参考図書購入、学費の免除、奨学金の支給を行うと同時に、学寮制度、学習生活相談、課外活動支援制度に関して整備を行っている。

5.1 学費・住居などの支援体制

(1) 奨学金貸与者

本学では、企業・研究所などから奨学金に類するものを支給されている学生も多いが、ここでは貸与者が最も多い日本学生支援機構の奨学金貸与者を、工学部の学科、大学院理工学研究科の専攻ごとに示す。

なお、表中の環境機能科学専攻及び応用粒子線科学専攻は工学系のみ数である。

各学科・各専攻ごとの平成26年度日本学生支援機構の奨学金貸与者数

学部生(入学年度ごと)	14年度	13年度	12年度	11年度	過年次	合計
機械工学科	40	39	34	37	1	151
生体分子機能工学科	32	27	27	26	0	112
電気電子工学科	27	40	29	29	1	126
情報工学科	27	34	34	24	1	120
知能システム工学科	16	18	19	19	1	73
都市システム工学科	17	25	16	17	0	75
知能システム工学科Bコース	15	16	13	18	1	63
メディア通信工学科	24	18	14	9	2	67
マテリアル工学科	7	14	14	14	0	49
合計	205	231	200	193	7	836

大学院生(入学年度ごと)		14年度	13年度	12年度	合計
博士前期課程	機械工学専攻	23	24	0	47
	物質工学専攻	23	24	0	47
	電気電子工学専攻	18	12	0	30
	メディア通信工学専攻	6	12	0	18
	情報工学専攻	14	11	0	25
	都市システム工学専攻	16	15	0	31
	知能システム工学専攻	16	16	0	32
	応用粒子線科学専攻(修士)	7	5	0	12
	小計	123	119	0	242
博士後期課程	物質科学専攻	2	0	1	3
	生産科学専攻	2	2	4	8
	情報・システム科学専攻	0	0	1	1
	環境機能科学専攻	0	1	0	1
	小計	4	3	6	13
合計		127	122	6	255

(2) 授業料免除者

経済的に問題のある学生に対し全額又は半額の授業料免除を行っている。下表に学部生の前・後学期，大学院生の前・後学期に分けて授業料免除状況を示す。

なお，表中の環境機能科学専攻及び応用粒子線科学専攻は工学系のみの数である。

(a) 学部〔前学期〕

		14年度	13年度	12年度	11年度	10年度	9年度	合計
機械工学科	申請者数	5	7	6	12	1	1	32
	免除者数	5	4	4	12	0	1	26
生体分子機能工学科	申請者数	3	5	9	9	0	0	26
	免除者数	3	4	9	8	0	0	24
マテリアル工学科	申請者数	1	4	5	6	0	1	17
	免除者数	1	3	5	6	0	0	15
電気電子工学科	申請者数	6	13	8	12	1	0	40
	免除者数	6	7	8	12	0	0	33
メディア通信工学科	申請者数	3	6	4	6	0	0	19
	免除者数	3	6	4	6	0	0	19
情報工学科	申請者数	2	8	4	11	0	0	25
	免除者数	2	5	4	10	0	0	21
都市システム工学科	申請者数	3	10	8	11	1	0	33
	免除者数	3	7	5	11	0	0	26
知能システム工学科	申請者数	2	6	2	6	0	0	16
	免除者数	2	6	1	6	0	0	15
知能システム工学科Bコース	申請者数	1	5	3	3	0	0	12
	免除者数	1	4	2	2	0	0	9
合計	申請者数	26	64	49	76	3	2	220
	免除者数	26	46	42	73	0	1	188

(b) 学部〔後学期〕

		14年度	13年度	12年度	11年度	10年度	9年度	合計
機械工学科	申請者数	5	6	6	15	0	1	33
	免除者数	5	4	4	15	0	1	29
生体分子機能工学科	申請者数	5	5	10	11	0	0	31
	免除者数	5	5	10	9	0	0	29
マテリアル工学科	申請者数	0	3	6	6	0	0	15
	免除者数	0	1	6	6	0	0	13
電気電子工学科	申請者数	6	11	9	13	0	0	39
	免除者数	5	9	8	13	0	0	35
メディア通信工学科	申請者数	6	6	6	6	0	0	24
	免除者数	6	6	5	6	0	0	23
情報工学科	申請者数	2	5	5	9	1	0	22
	免除者数	2	5	5	9	1	0	22
都市システム工学科	申請者数	3	9	7	12	0	0	31
	免除者数	3	7	4	12	0	0	26
知能システム工学科	申請者数	2	6	2	6	0	0	16
	免除者数	2	6	1	6	0	0	15
知能システム工学科Bコース	申請者数	1	5	4	4	0	0	14
	免除者数	1	3	3	3	0	0	10
合計	申請者数	30	56	55	82	1	1	225
	免除者数	29	46	46	79	1	1	202

(c) 大学院〔前学期〕

		14年度	13年度			合計	
博士前期課程	機械工学専攻	申請者数	6	13	0	0	19
		免除者数	6	13	0	0	19
	物質工学専攻	申請者数	13	15	0	0	28
		免除者数	11	13	0	0	24
	電気電子工学専攻	申請者数	9	6	0	0	15
		免除者数	7	6	0	0	13
	メディア通信工学専攻	申請者数	4	5	0	0	9
		免除者数	3	5	0	0	8
	情報工学専攻	申請者数	1	6	0	0	7
		免除者数	1	6	0	0	7
	都市システム工学専攻	申請者数	12	7	0	0	19
		免除者数	12	7	0	0	19
	知能システム工学専攻	申請者数	9	13	0	0	22
		免除者数	7	13	0	0	20
応用粒子線科学専攻	申請者数	8	8	0	0	16	
	免除者数	1	7	0	0	8	
小計	申請者数	62	73	0	0	135	
	免除者数	48	70	0	0	118	
		13年度	12年度	11年度	10年度		
博士後期課程	物質科学専攻	申請者数	5	2	7	0	14
		免除者数	4	0	4	0	8
	生産科学専攻	申請者数	1	4	9	1	15
		免除者数	1	4	8	1	14
	情報・システム科学専攻	申請者数	1	3	7	2	13
		免除者数	1	3	4	2	10
	環境機能科学専攻	申請者数	0	2	0	0	2
		免除者数	0	2	0	0	2
	応用粒子線科学専攻	申請者数	0	4	2	1	7
		免除者数	0	2	2	0	4
小計	申請者数	7	15	25	4	51	
	免除者数	6	11	18	3	38	
合計	申請者数	69	88	25	4	186	
	免除者数	54	81	18	3	156	

(d) 大学院〔後学期〕

			14年度	13年度			合計
博士前期課程	機械工学専攻	申請者数	6	13	0	0	19
		免除者数	6	12	0	0	18
	物質工学専攻	申請者数	12	14	0	0	26
		免除者数	11	13	0	0	24
	電気電子工学専攻	申請者数	11	6	0	0	17
		免除者数	9	6	0	0	15
	メディア通信工学専攻	申請者数	5	5	0	0	10
		免除者数	4	5	0	0	9
	情報工学専攻	申請者数	1	6	0	0	7
		免除者数	1	6	0	0	7
	都市システム工学専攻	申請者数	12	6	0	0	18
		免除者数	12	6	0	0	18
知能システム工学専攻	申請者数	7	13	0	0	20	
	免除者数	7	13	0	0	20	
応用粒子線科学専攻	申請者数	3	9	0	0	12	
	免除者数	1	9	0	0	10	
小計	申請者数	57	72	0	0	129	
	免除者数	51	70	0	0	121	
			14年度	13年度	12年度	11年度	
博士後期課程	物質科学専攻	申請者数	4	2	6	0	12
		免除者数	4	0	4	0	8
	生産科学専攻	申請者数	3	5	7	0	15
		免除者数	3	4	6	0	13
	情報・システム科学専攻	申請者数	2	4	8	1	15
		免除者数	2	4	5	1	12
	環境機能科学専攻	申請者数	0	2	0	0	2
		免除者数	0	2	0	0	2
	応用粒子線科学専攻	申請者数	0	4	2	0	6
		免除者数	0	2	2	0	4
	小計	申請者数	9	17	23	1	50
		免除者数	9	12	17	1	39
合計			66	89	23	1	179
			60	82	17	1	160

(3) 学寮制度

学生寮 吼洋寮

所在地 日立市鮎川町6-9-1

全部屋数 168室

許可者数	留学生	日本人学生	計
学部生	6	60	66
大学院生	5	19	24
研究生		1	1
合計	11	80	91
			(累計)

学生寮 さくら寮

所在地 日立市鮎川町6-9

全部屋数 24室(4人一部屋)

許可者数	留学生	日本人学生	計
学部生	2	14	16
大学院生	3	1	4
研究生	0	0	0
合計	5	15	20
			(累計)

(4) 学習・生活相談

平成26年度 学習・生活相談(工学部保健室利用状況)

区分	相談者学年	実人数		のべ件数	
		保健室看護師	カウンセラー	保健室看護師	カウンセラー
学部生	1年次	2	0	6	0
	2年次	4	9	9	47
	3年次	3	8	9	38
	4年次	9	9	27	34
	5年次以上	5	7	30	51
	計	23	33	81	170
大学院前期	1年次	2	5	10	15
	2年次	2	2	30	4
	3年次以上	0	0	0	0
	計	4	7	23	19

大 学 院 後 期	1 年次	0	0	0	0
	2 年次	0	1	0	3
	3 年次	0	0	0	0
	4 年次以上	0	0	0	0
	計	0	1	0	3
	合 計	27	41	104	192

(5) 課外活動

1 年次にサークルに加入するため、工学部の学生も水戸キャンパスで課外活動を行う場合が多いが、参考のため日立キャンパスでの課外活動状況を下表に示す。

日立キャンパスでの課外活動状況（平成 26 年度工学部サークル一覧）

平成26年度 工学部学生サークル一覧

【体育系団体】

No.	サークル名	加入学生数	学生代表者氏名	顧問教員	部室使用
1	熱気球同好会	2	箕輪 継承	祖田 直也	○
2	日立漕艇部	11	小高 有也	伊藤 吾朗	○
3	日立スポーツ同好会	47	宮田 翔哉	鈴木 智也	
4	工学部サッカー部	18	塩原 大史	塚元 康輔	○
5	硬式庭球部	5	司城 誠	森 善一	
6	野外活動愛好会	57	坂巻 拓弥	信岡 尚道	○
7	アメリカンフットボール部	9	邊見 哲一	長山 和亮	
8	弓道部	4	安蔵 尚	車田 亮	
9	自動車部	18	成田 大	道辻 洋平	
10	少林寺拳法部	6	渡部 直樹	鈴木 徹也	○
11	自動二輪部	8	福本 純也	道辻 洋平	○
12	nLab	27	林 敏之	尾嵐 裕隆	
13	フットサル同好会@日立	9	長久保 諒輔	北野 誉	
14	極真カラテ同好会	7	向井 崇史	関東 康祐	
15	オリエンテーリング部	5	栗山 拓己	宮島 啓一	○
16	卓球部	4	井野崎 崇	伊藤 吾朗	
17	B-BOWLERS	5	野内 雄太	清水 年美	
18	茨城大学バドミントン部	5	宮本 諒	小野寺 淳	
19	茨城大学工学部体育会空手道部	9	西ヶ谷 友美	村上 哲	
20	工学部野球会	13	森崎 亮太	車谷 麻緒	
小計	20	269			

【音楽系団体】

No.	サークル名	加入学生数	学生代表者氏名	顧問教員	部室使用
21	Gitarre!!	6	小野寺 大輝	宮嶋 照行	○
22	JAZZ研究会	5	遠田 裕司	宮嶋 照行	○
23	もずコール	15	菅野 和樹	伊藤 吾朗	○
24	茨城大学吹奏楽団	11	中野 葵	山田 稔	○
25	ファミレド市	32	丸茂 優輝	赤羽 秀郎	○
26	中南米音楽研究会	4	仲江 哲志	信岡 尚道	○
27	原始音楽研究会(GEN-ON)	31	鈴木 淳平	鈴木 智也	○
28	Folk Song Club	19	鹿島 健太郎	矢内 浩文	○
29	茨城大学管弦楽団日立支部	12	久慈 裕貴	堀井 龍夫	○
小計	9	135			

【文化系団体】

No.	サークル名	加入学生数	学生代表者氏名	顧問教員	部室使用
30	メカトロニクス研究会	10	小泉 綾香	増澤 徹	希望
31	漫画研究会	10	石島 航	中村 真毅	○
32	ロボット技術研究会	27	榎田 薫	森 善一	○
33	Anime&Comic Explorers	16	山口 滉佑	小峰 啓史	○
34	マレーシア留学生会	24	<small>ムロノボク フルカハシケン アブデルラザク</small>	篠嶋 妥	
35	風力研究会	27	玉田 泰庸	稲垣 照美	
36	編入会	34	池田 雄	平田 輝満	
37	航空技術研究会	13	中山 達矢	坪井 一洋	○
38	プレイパーティ	15	岩波 拓也	周 立波	○
39	中国人留学生学友会	12	岳 文雪	湊 淳	
40	Ibaraki University Racing	23	山崎 達也	西野 創一郎	
41	茨城大学赤十字奉仕団工学部分団	5	瀧 英孝	増澤 徹	○
42	茨大声優研究会	5	野村 啓祐	尾嵐 裕隆	希望
43	テーブルゲーム研究会	75	中村 有志	福元 博基	○
44	UNICS	17	西尾 光	鶴野 克宏	○
45	YFC	7	築場 大佑	田中 光太郎	
46	エコパワー競技クラブ	21	堀江 直輝	伊藤 伸英	○
47	铸造クラブ	30	青木 雅弥	伊藤 伸英	○
小計	18	371			
合計	47	775			

6. 教育改善

6.1 点検・評価活動

平成26年度の主な活動は授業アンケートの実施，授業担当者による教育点検，各学科での授業点検評価会議ならびにFDの実施，各学科・専攻で行った点検評価会議とその内容に対する教育改善委員会での点検評価，工学部FD研修会の開催などであった．下記に，本年度の工学部FD研修会概要を示す．FDの報告書は，茨城大学工学部ホームページ <http://www.eng.ibaraki.ac.jp/collegelife/education/fd/index.html> に公開している．

平成26年度 茨城大学工学部FD 研修会

1. 日時：平成26年12月25日(木) 13:00～16:30
2. 場所：茨城大学工学部E1棟1階10番教室
3. 議事次第：

開会挨拶

13:05～13:10 工学部長 馬場 充

基調講演

13:10～13:35 「技術者教育の質保証の国内外の動き」

日本技術者教育認定機構（JABEE）副会長 岸本喜久雄先生
（東京工業大学大学院理工学研究科工学系長・工学部長）

13:45～14:35 「JABEEの基本的考え方と審査の視点」

JABEE 基準委員会委員長 牧野光則先生
（中央大学理工学部情報工学科教授）

14:35～15:00 質疑応答

15:00～15:10 休憩

本学教員による事例紹介

15:10～16:25 「学科内のFD研修会の報告ならびに総括」

工学部各学科（機械，生体分子機能，マテリアル，電気電子，メディア，情報，都市システム，知能システム）の学科長

閉会挨拶

16:25～16:30 教育改善委員会委員長 増澤 徹

6.2 工学部後援会と懇談会

茨城大学工学部後援会は、工学部及び理工学研究科（工学系）の運営及び学生生活の向上並びに施設設備等の拡充整備等に関して後援することを目的として設立され、工学部に対して、学部及び大学院の教育活動，課外活動，就職斡旋，学生医療等に関して工学部への助成事業を行っている。

平成26年6月28日の総会には、400名近くの父兄が来学された。総会日にあわせて、工学部で懇談会を開き、各学科の教職員との懇談が行われた。各学科懇談会では、学科長が就職・進学及び修学状況について説明し、学科長及び各学年クラス担任との懇談が行われた。父兄から学部・学科への要望を伺い、また、必要に応じてクラス担任との個別面談も行われた。

Ⅲ 研究活動

1. 研究業績（著書，論文等）

1.1 著書

[機械工学領域]

氏名 著者名 タイトル 出版社名 担当ページ 出版年/月

1. 伊藤 吾朗, アルミニウム中の水素量の分析技術 一般社団法人軽金属学会 研究部会報告書 No. 60 pp. 34-48 2015/03
2. 尾関 和秀, 第3章第16節”アパタイトの放射性物質吸着剤としての可能性について”, 「放射性物質の吸着・除染および耐放射線技術における材料・施工・測定の新技術」 技術情報協会 pp. 218-224 2014/11

[物質工学領域]

氏名 著者名 タイトル 出版社名 担当ページ 出版年/月

1. 久保田 俊夫, 独立行政法人日本学術振興会フッ素化学第155委員会 フッ素化学入門 2015/03
15 三共出版 pp. 215-217, 316-318

[電気電子工学領域]

氏名 著者名 タイトル 出版社名 担当ページ 出版年/月

1. 鶴殿 治彦, 熱電変換材料 実用・活用を目指した設計と開発 情報機構 205-222 2014/12
2. 鶴殿 治彦, 前田佳均編著, シリサイド系半導体の科学と技術 -資源・環境時代の新しい半導体と関連物質- 裳華房 pp. 37-47, 187-197 2014/09

[メディア通信工学領域]

[情報工学領域]

氏名 著者名 タイトル 出版社名 担当ページ 出版年/月

1. 宇野美由紀, 大瀧保広, 野口宏, 羽瀨裕真, アカデミック情報リテラシー 学術図書
出版 2015/03
2. 宇野美由紀, 大瀧 保広, 野口 宏, 羽瀨 裕真, アカデミック情報リテラシー 学術図書
出版社 2015/03
3. 古宮 嘉那子 動きを理解するコンピュータ 時空間表現の計算言語学 日本評論社 pp. 111-151 2014/09

[都市システム工学領域]

- | 氏名 | 著者名 | タイトル | 出版社名 | 担当ページ | 出版年/月 |
|---------------------------------------|-----|---|---|----------------------------------|---------|
| 1. 村上 哲 | | LANDSLIDES (Special Report on SATREPS landslide research) | JICA (Japan International Cooperation Agency) | pp. 4-9 | 2015 |
| 2. 安原一哉, 村上 哲, 木村克己, 小野澤 宏之 | | 関東の地盤 (第二版) | 地盤工学会関東支部 | pp. 31-48 | 2014 |
| 3. 一ノ瀬 彩 | | まち建築 まちを生かす 36 のモノづくりコトづくり | 彰国社・日本建築学会 | pp. 20-23, 68-71, 80-83, 158-161 | 2014/05 |
| 4. 小林 薫, 松元和伸, 森井俊広, 中房 悟, 川端淳一, 小澤一喜 | | 多層傾斜キャピラリーバリアの限界長に関する実験的研究 | 地盤工学会誌 | 62, 5, pp. 6-9 | 2014/05 |
| 5. 森井俊広, 竹下祐二, 小林 薫, 松元和伸 | | 不飽和地盤における原位置透水試験 | 地盤工学会誌 | 62, 5, pp. 18-21 | 2014/05 |

[知能システム工学領域]

[工学基礎領域]

- | | | | | | |
|---------|--|-------|------|--|---------|
| 1. 小泉 智 | | 水素の事典 | 朝倉書店 | | 2014/04 |
|---------|--|-------|------|--|---------|

1.2 学術誌論文

[機械工学領域]

- | 氏名 | 著者名 | タイトル | 掲載誌名 | 巻号頁 | 出版年/月 | 備考 |
|-----|--|---|---|-----------------------------------|--------------------|---------|
| 1. | 稲垣 照美, 柏 拓貴, 李 艶栄 | 相変化蓄熱媒体の熱物性と水平密閉矩形容器内の自然対流熱伝達 | —硫酸ナトリウム 10 水和物— | 化学工学論文集 | 41, 2, pp. 131-139 | 2015/03 |
| 2. | Yanrong LI, Satoshi SOMEYA, Koji OKAMOTO, Terumi INAGAKI, Yasuyuki NISHI, | Visualization study of flow-excited acoustic resonance in closed tandem side branches using high time-resolved particle image velocimetry | Journal of Mechanical Science and Technology | 29, 3, pp. 989-999 | 2014/12 | |
| 3. | 鈴木慎太郎, 稲垣照美, 李艶栄, 原田滉士, 井澤幸貴, 山内紀子, | カーボンナノチューブ分散流体の熱物性と自然対流熱伝達 | 化学工学論文集 | 41, 2, pp. 121-130 | 2015/03 | |
| 4. | Yanrong LI, Satoshi SOMEYA, Koji OKAMOTO, Terumi INAGAKI and Yasuyuki NISHI, | Study on Flow-induced Acoustic Resonance in Symmetrically Located Side-branches Using Dynamic PIV Technique | Bulletin of the JSME, Journal of Fluid Science and Technology (ISSN: 1880-5558) | Vol. 9, No. 2, Paper No. 14-00112 | 2014/07 | |
| 5. | 稲垣照美, 一色俊洋, 李艶栄 | 水平矩形容器内に充填した相変化蓄熱物質の凝固・冷却機構に関する研究 | —酢酸ナトリウム 3 水和物の現象論的考察— | 化学工学論文集 | 40, 5, pp. 410-419 | 2014/09 |
| 6. | Yasuyuki Nishi, Terumi Inagaki, Yanrong Li, Ryota Omiya and Kentaro Hatano, | The Flow Field of Undershot Cross-Flow Water Turbines Based on PIV Measurements and Numerical Analysis | International Journal of Fluid Machinery and Systems | 7, 4, pp. 174-182 | 2014/10 | |
| 7. | Yanrong Li, Terumi Inagaki, Hikaru Saito and Masashi Abe | Thermo-Physical Properties of Magnetic Fluid and Its Natural Convection Heat Transfer in a Horizontal Enclosed Rectangular Container without Magnetic Field | Applied Mechanics and Materials (Printed in Switzerland) | 2014, 620, pp. 461-467 | 2014/07 | |
| 8. | Yanrong Li, Yasuyuki Nishi, Terumi Inagaki and Kentarou Hatano | Study on the Flow Field of an Undershot Cross-flow Water Turbine | Applied Mechanics and Materials (Printed in Switzerland) | 2014, 620, pp. 285-291 | 2014/07 | |
| 9. | Yasuyuki Nishi, Terumi Inagaki, Kaoru Okubo and Norio Kikuchi | Study on an Axial Flow Hydraulic Turbine with Collection Device | International Journal of Rotating Machinery | 2014, ID:308058, | 2014/07 | |
| 10. | Y. Nishi, T. Inagaki, Y. Li, R. Omiya and J. Fukutomi | Study on an Undershot Cross-flow Water Turbine | Journal of Thermal Science | 23, 3, pp. 239-245 | 2014/06 | |
| 11. | 岡田陵佑, 磯部直澄, 金野満, 田中光太郎 | エタノール-PRF 混合燃料の自己着火特性に及ぼす酸素濃度の影響 | 自動車技術会論文集 | 46, 2, pp. 343-348 | 2015/03 | |

12. Hidefumi Hatsuzawa, Kotaro Tanaka, Mitsuru Konno, Mechanism of deposit formation on an electronic throttle body, *Internal Journal of Engine Research*, 2014/12
13. Shunichi Kubota, Kotaro Tanaka, and Mitsuru Konno, Effect of Relative Positions of Air-Fuel Mixture Distribution and Ignition on Combustion Variation in Gasoline Engine *SAE Int. J. Engines* 7,4, 2014/10
14. 田中 光太郎・児島 涼太・宮村 芽維・金野 満・戸野倉 賢一, 半導体レーザー吸収分光法の自動車排気中の二酸化炭素炭素同位体比計測への応用, *日本燃焼学会誌* 56, 176, 166 2014/05
15. K. Ozeki, D. Sekida, A. Uedono, K. K. Hirakuri, T. Masuzawa, Effect of incorporation of deuterium on vacancy-type defects of a-C:H films prepared by plasma CVD, *Applied Surface Science*, 330, pp. 142-147 2015/01
16. 増澤 徹, 山口聡史, 下堀拓己, 西村 隆, 許俊鋭 回転数周期的変動時の磁気浮上型血液ポンプの浮上安定性と溶血性能の検討 *日本AEM学会誌* 23, 1, 171-178 2015/03
17. 増澤 徹, 服部圭介, 林 照剛, 木村 剛, 岸田晶夫 磁気ビーズを用いた磁気励振細胞刺激システム *日本AEM学会誌* 23, 1, pp. 187-192 2015/03
18. 大森直樹, 増澤 徹, 長真啓, 巽英介 小児用補助人工心臓のための小型磁気浮上モータの第一試作 *日本AEM学会誌* 23, 1, pp. 41-47 2015/03
19. 山田 悠, 増澤 徹, Daniel L Timms, 全置換型磁気浮上人工心臓と流量バランス制御 *日本AEM学会誌* 23, 1, pp. 157-162 2015/03
20. 松田健一, 平根龍也, 近藤 良, 増澤 徹, アウターロータ型5軸制御セルフベアリングモータに関する研究 *日本AEM学会誌* 22, 3, pp. 386-392 2014/09
21. 小沼弘幸, 増澤 徹, 12突極ラジアル型セルフベアリングモータの磁気支持特性の推定 *日本AEM学会誌* 22, 2, pp. 88-95 2014/06
22. 長真啓, 増澤 徹, 大森直樹, 巽英介, 小児用人工心臓のための小型5軸制御セルフベアリングモータ *日本AEM学会誌* 22, 2, pp. 96-101 2014/06
23. 真中俊明, 伊藤吾朗, 小山僚人, 引張変形したAl-Mg合金中の水素挙動 *日本金属学会* 79, 3, pp. 137-141 2015/03
24. Tadashi Horibe and Kotaro Mori, In-plane and out-of-plane deflection of J-shaped beam, *Journal of Mechanical Engineering and Automation* 5, 1, pp. 14-19 2015/01
25. 松田健一, 平根龍也, 近藤 良, 増澤 徹, アウターロータ型5軸制御セルフベアリングモータに関する研究 *日本AEM学会誌* 22, 3, pp. 386-392 2014/09
26. 車田 亮, 伊藤吾朗, 杉田政道, 佐久間隆昭, 割裂加工による銅板の硬さ変化 *銅と銅合金* 53, 1, 101-105 2014/08
27. 松村邦仁, 神永文人, 鈴木政浩, 藤井寛一, 垂直管内の突沸現象解明に関する研究 *日本原子力学会和文論文誌* 13, 2, pp. 51-61 2014/06
28. A. Matsumoto, Y. Sato, H. Ohno, M. Shimizu, J. Kurihara, T. Saitou, Y. Michitsuji, R. Matsui, M. Tanimoto, M. Mizuno, Actual states of wheel/rail contact forces and

- friction on sharp curves - Continuous monitoring from in-service trains and numerical simulations *Wear* 314,1-2, pp.189-197 2014/06
29. Y. Li, S. Someya, K. Okamoto, T. Inagaki and Y. Nishi, Visualization study of flow-excited acoustic resonance in closed tandem side branches using high time-resolved particle image velocimetry, *Journal of Mechanical Science and Technology* 29, 3, pp.989-999 2015/03
30. Y. Nishi, T. Inagaki, Y. Li, R. Omiya and K. Hatano, The Flow Field of Undershot Cross-Flow Water Turbines Based on PIV Measurements and Numerical Analysis *International Journal of Fluid Machinery and Systems* 7, 4, pp.174-182 2014/12
31. Y. Nishi and J. Fukutomi, Effect of Blade Outlet Angle on Unsteady Hydrodynamic Force of Closed-Type Centrifugal Pump with Single Blade, *International Journal of Rotating Machinery* 2014, Article ID 838627, pp.1-16 2014/11
32. Y. Li, Y. Nishi, T. Inagaki and K. Hatano, Study on the Flow Field of an Undershot Cross-flow Water Turbine *Applied Mechanics and Materials* 620,, pp.285-291 2014/07
33. Y. Li, S. Someya, K. Okamoto, T. Inagaki and Y. Nishi, Study on flow-induced acoustic resonance in symmetrically located side-branches using dynamic PIV technique *Journal of Fluid Science and Technology* 9, 2, pp.1-12 2014/07
34. Y. Nishi, T. Inagaki, K. Okubo and N. Kikuchi, Study on an Axial Flow Hydraulic Turbine with Collection Device *International Journal of Rotating Machinery* 2014, Article ID 308058, pp.1-11 2014/07
35. Y. Nishi, T. Inagaki, Y. Li, R. Omiya and J. Fukutomi, Study on an Undershot Cross-Flow Water Turbine *Journal of Thermal Science* 23, 3, pp.239-245 2014/06

[物質工学領域]

- | 氏名 | 著者名 | タイトル | 掲載誌名 | 巻号頁 | 出版年/月 | 備考 |
|----|--|--|---|----------------------|-------|----|
| 1. | Masahiko Ogino, Tatsuya Ohashi, Hirofumi Yoshida, Daigo Nagayama, Toshio Kubota, Atsushi Morikawa, Katsumichi Ono, | Preparation of Nanopatterned Polyimide by Imprinting and Curing Phenylethynyl-terminated Imide Oligomer, | <i>Journal of Photopolymer Science and Technology</i> | 27,, pp.155-160 | 2014 | |
| 2. | Shigeyuki Yamada, Shota Iwama, Keita Kinoshita, Takashi Yamazaka, Toshio Kubota, Tomoko Yajima | Facile synthetic protocols for perfluoroalkyl-substituted diazapentaphenes | <i>Tetrahedron</i> | 70, 38, pp.6749-6756 | 2014 | |
| 3. | Takatoshi Nagano, Yasushi Sasajima, Nobuhiro Ishikawa, Kunihiro Tamahashi, Kishio Hidaka and Jin Onuki | Pinning Effect of Fe(C10) and Ti(C10) Compounds on Cu Grain Growth in Very Narrow Cu Wires | <i>ECS Electrochemistry Letters</i> | 4, 11, pp.D1-D5 | 2015 | |

4. 篠嶋 妥, Al-Si アモルファス合金の照射耐性と析出促進過程の計算機実験, 軽金属
65,, pp.326-330 2015
5. Yasushi Sasajima, Tatsuya Miyamoto, Takatoshi Saitoh, Takahiro Yokoyama and Jin Onuki Effectiveness of a periodic annealing method to coarsen Cu grains in very narrow trenches Microelectronic Engineering 131,, pp.43-50 2015
6. Gen Okano, Shukuro Igarashi, Yuhei Yamamoto, Shotaro Saito, Yoshitaka Takagai, Takao Ohtomo, Shigenobu Kimura, Osamu Ohno, Yoshio Oka HPLC-spectrophotometric Detection of Trace Heavy Metals via "Cascade" Separation and Concentration International Journal of Environmental Analytical Chemistry 95, No. 2, pp.135-144 2015/02
7. Gen Okano, Shukuro Igarashi, Osamu Ohno, Yuhei Yamamoto, Shotaro Saito, Yoshio Oka Determination of Trace Amounts of Bismuth in Steel by ICP-MS Through a Cascade-preconcentration and Separation Method ISIJ International 55, No. 1, pp. 332-334 2015/01
8. 斎藤昇太郎, 五十嵐淑郎, 山口仁志 L-アスコルビン酸添加条件における pH 刺激応答性ポリマーを用いる金(III), 銀(I), 白金(II)の選択的捕集特性と分離・回収法 分析化学 63, 10, pp. 791-795 2014/10
9. Preparation of Nanopatterned Polyimide by Imprinting and Curing Phenylethynyl-terminated Imide Oligomer Journal of Photopolymer Science and Technology 27, pp. 155-160, 2014/06
10. Takafumi Nakagawa, Atsushi Morikawa Synthesis and characterization of novel aromatic polyimides from Z-type sexiphenyltetracarboxylic dianhydride and aromatic diamines Polymer Journal 46, 5, pp.255-263 2014/05
11. Satoshi Yamauchi, Kazuhiro Ishibashi, Sakura Hatakeyama Drastic Resistivity Reduction of CVD-TiO₂ Layers by Post-Wet-Treatment in HCl Solution Journal of Crystallization Process and Technology 5,, pp.24-30 2015/01
12. Satoshi Yamauchi, Kazuhiro Ishibashi, Sakura Hatakeyama Low Resistive TiO₂ Deposition by LPCVD Using TTIP and NbF₅ in Hydrogen-Ambient Journal of Crystallization Process and Technology 5,, pp.12-23 2015/01
13. Satoshi Yamauchi, Kazuhiro Ishibashi, Sakura Hatakeyama Low Pressure Chemical Vapor Deposition of TiO₂ Layer in Hydrogen-Ambient Journal of Crystallization Process and Technology 4,, pp.185-192 2014/10
14. Satoshi Yamauchi, Shouta Saiki, Kazuhiro Ishibashi, Akie Nakagawa, Sakura Hatakeyama Low Pressure Chemical Vapor Deposition of Nb and F Co-Doped TiO₂ Layer Journal of Crystallization Process and Technology 4, 2, pp. 79-88 2014/04
15. 田代孝二, 塙坂 真, 山元博子, Kaewkan Wasanasuk, Paramita Jayaratri, 吉澤功德, 田中伊知朗, 新村信雄, 日下勝弘, 細谷孝明, 大原高志, 栗原和男, 黒木良太, 玉田太郎, 藤原悟, 勝部勝義, 森川佳介, 古宮行淳, 北野利明, 二宗 隆, 尾関智二 広角 X 線回折および

- 広角中性子回折に基づく高分子結晶構造の精密解析 高分子論文集 71, 11, pp. 508-526
2014/11
16. Takeshi Yokoyama*, Andreas Ostermann, Mineyuki Mizuguchi, Nobuo Niimura, Tobias E. Schrader and Ichiro Tanaka Crystallization and preliminary neutron diffraction experiment of human farnesyl pyrophosphate synthase complexed with risedronate
Acta Cryst. F 70, pp. 470-472 2014/05
17. 田中 伊知朗 横山武司, 水口峰之, 日下勝弘, 田中伊知朗, 新村信雄 トランスサイレチン
の中性子結晶構造解析で明らかにする水素結合ネットワークと pH 感受性 日本結晶学会誌
56, pp. 129-132 2014/04
18. Akito Nishizawa, Ayaka Harada, Miki Senda, Yuka Tachihara, Daisuke Muramatsu,
Shinya Kishigami, Shigemasa Mori, Keisuke Sugiyama, Toshiya Senda, shigenobu Kimura
Complete pyridine nucleotide-specificity conversion of an NADH-dependent
ferredoxin reductase. Biochem. J. 462, 2, pp. 257-265 2014/09
19. Kenta Iwasawa, Koki Baba, Mikka Nishitani-Gamo, Toshihiro Ando, Mika Eguchi
TiO₂/Marimo carbon composite for lithium secondary batteries Solid State Ionics
,, 2015
20. Koki BABA, Mikka NISHITANI-GAMO, Toshihiro ANDO, Mika EGUCHI Durable Marimo-
like carbon support for Platinum nanoparticle catalyst in polymer electrolyte fuel
cell Electrochimica Acta ,, 2015
21. Hiroyuki Gunji, Mika Eguchi, Fumiaki Sekine, Yasuyuki Tsutsumi Gas-Leak-Induced
Perforation at Polymer Electrolyte Membrane Fuel Cell Electrode Edges Journal
of power source ,, 2015
22. K. Miyoshi, K. Iwasawa, K. Baba, H. Ota, M. Nishitani-Gamo, T. Ando, M. Eguchi
TiO₂/Marimo carbon composite as an electrode material for lithium secondary
batteries JJAP ,, 7P-11-20 2015
23. Kazutaka Yokoyama, Michihiko Sato, Toshihiro Haneda, Kentaro Yamazaki, Takashi
Kitano, and Kazuo Umetsu An N-acetyllactosamine-specific lectin, PFA, isolated from a
moth (*Phalera flavescens*), structurally resembles an invertebrate-type lysozyme.
Insect Biochemistry and Molecular Biology 54C, pp. 106-111 2014/09
24. Akinori Suzuki, Kouhei Endo, Takashi Kitano Phylogenetic positions of RH blood
group-related genes in cyclostomes. Gene 543, 1, pp. 22-27 2014/06
25. KENJI IWASE, Naoyoshi Terashita, Kazuhiro Mori, Suguru Tashiro, Hitoshi Yokota,
Tetsuya Suzuki Effects of Mg substitution on crystal structure and hydrogenation
properties of Pr_{1-x}Mg_xNi₃ International Journal of Hydrogen Energy ,, 2014
26. Takatoshi Nagano, Yasushi Sasajima, Nobuhiro Ishikawa, Kunihiro Tamahashi, Kishio
Hidaka and Jin Onuki Pinning Effect of Fe(C10) and Ti(C10) Compounds on Cu Grain
Growth in Very Narrow Cu Wires ECS Electrochemistry Letters 4, 11, pp. D1-D5
2015

27. O. Abe, S. Sato, S. Mitachi and T. Yamada, "Mechanochemical / solvothermal synthesis of LiMn_2O_4 as a cathode material for rechargeable lithium batteries", *Key Eng. Mater.*, 617, pp.81-84 2014
28. Zhazgul Kelgenbaeva, Emil Omurzak, Shintaro Takebe, Saadat Sulaimankulova, Zhympargul Abdullaeva, Chihiro Iwamoto, Tsutomu Mashimo, Synthesis of pure iron nanoparticles at liquid-liquid interface using pulsed plasma *Journal of Nanoparticle Research* 16,,2603 2014/08
29. Liliang Chen, Tsutomu Mashimo, Hiroki Okudera, Chihiro Iwamoto, and Emil Omurzak Synthesis of W_3O_9 nanoparticles by pulsed plasma in liquid *RSC Advances* 4,, pp.28673-28677 2014/06
30. Kazuhiro Mori, Kozo Furuta, Yohei Onodera, Kenji Iwase, Toshiharu Fukunaga Three-dimensional structures and lithium-ion conduction pathways of $(\text{Li}_2\text{S})_x(\text{GeS}_2)_{100-x}$ superionic glasses *Solid State Ionics* 280,, pp.44-50 2015
31. Kenji Iwase, Kazuhiro Mori, Suguru Tashiro, Hitoshi Yokota, Tetsuya Suzuki Crystal structure analysis of $\text{La}_2\text{Ni}_6\text{Co}_x$ during deuterium absorption process *Inorganic Chemistry* 54,,8650 2015
32. Kazuhiro Mori, Kenji Iwase, Toshiharu Fukunaga Local Structures and Bottleneck Size Distributions of Lithium Ion Conducting Oxides: $\text{Li}_3\text{La}_{2/3}\text{TiO}_3$ *JPS Conf. Proc* 8,,031010 2015
33. Dyah S. Adipranoto, Toru Ishigaki, Akinori Hoshikawa, Kenji Iwase, Masao Yonemura, Kazuhiro Mori, Takashi Kamiyama, Yukio Morii, Makoto Hayashi Neutron diffraction studies on structural effect for Ni-doping in $\text{LiCo}_{1-x}\text{Ni}_x\text{O}_2$ *Solid State Ionics* 262,, pp.92-97 2014
34. Kenji Iwase, Naoyoshi Terashita, Kazuhiro Mori, Suguru Tashiro, Hitoshi Yokota, Tetsuya Suzuki Effects of Mg substitution on crystal structure and hydrogenation properties of $\text{Pr}_{1-x}\text{Mg}_x\text{Ni}_3$ *International Journal of Hydrogen Energy* ,39, pp.12773-12777 2014
35. Kazuhiro Mori, Kenji Iwase, Yojiro Oba, Toshiharu Fukunaga, Masaaki Sugiyama Surface Observation of LaNi_5 under Deuterium Atmosphere Using Small-Angle Neutron Scattering *Mater. Trans.* ,55, pp.1643-1646 2014
36. Kazuhiro Mori, Shogo Tomihi, Kenji Iwase, Toshiharu Fukunaga Visualization of conduction pathways in a lanthanum lithium titanate superionic conductor synthesized by rapid cooling *Solid State Ionics* ,268, pp.76-81 2014
37. A. Sudo, T. Nishi, N. Shirasu, M. Takano, M. Kurata Fundamental experiments on phase stabilities of Fe-B-C ternary systems *Journal of Nuclear Science and Technology* 52,, pp.1308-1312 2015
38. T. Nishi, K. Nakajima, M. Takano, M. Kurata, Y. Arita Thermal conductivity of U-

- 20wt.%Pu-2wt%.Am-10wt.%Zr alloy Journal of Nuclear Materials 464,, pp.270-274
2015
39. M. Pukari, 高野 公秀, 西 剛史 Sintering and characterization of (Pu,Zr)N
Journal of Nuclear Science and Technology 51,, pp.859-875 2014
40. 高野 公秀, 西 剛史, 白数 訓子 Characterization of solidified melt among materials
of UO₂ fuel and B₄C control blade Journal of Nuclear Science and Technology 51,,
pp.859-875 2014
41. 徳永 陽, 西 剛史, 中田 正美, 伊藤 昭憲, 酒井 宏典, 神戸 振作, 本間 佳哉, 本多 史憲,
青木 大, R. E. Walstedt Self-radiation effects and grassy nature of magnetic
transition in AmO₂ revealed by 170-NMR Physical Review B 89,,214416 2014

[電気電子工学領域]

- | 氏名 | 著者名 | タイトル | 掲載誌名 | 巻号頁 | 出版年/月 | 備考 |
|----|---|---|--|--------------------|---------|----|
| 1. | Kazumi Kurihara, Tomotsugu Kubota | Stand-alone pico-hydro generation system using a high-efficiency IPM synchronous generator | Journal of International Conference on Electrical Machines and Systems | 3,2, pp.121-125 | 2014/06 | |
| 2. | 吉岡 佐友里, 池畑 隆, 寺重隆, 岡野一雄 | Comparison of Ion Balance Sensors for Static Control Systems of Air Ionizer | 電気学会論文誌 E | 135,3, pp.108-111 | 2015/03 | |
| 3. | 吉岡 佐友里, 池畑 隆, 寺重隆, 平田安菜, 岡野一雄, | Emitter current sensor for measuring ion generation rate of corona discharge air ionizer | 電気学会論文誌 E | 135,1, pp.7-12 | 2015/01 | |
| 4. | T. Wada, A.M. Scarfone | Information Geometry on the κ -Thermostatistics | Entropy | 17,3, pp.1204-1217 | 2015/03 | |
| 5. | Teruyuki Miyajima, Mizuki Kotake | Blind Channel Shortening for MC-CDMA Systems by Restoring the Orthogonality of Spreading Codes | IEEE Trans. Commun. | 63,3, pp.938-948 | 2015/03 | |
| 6. | Toshiyasu Motegi, Shohei Koike, Teruyuki Miyajima, Masahiro Umehira, Shigeki Takeda, Ken-ichi Kagoshima | A Frequency Cooperative ARQ Scheme for Multi-band WLAN | IEICE Commun. Express | 4,2, pp.79-84 | 2015/02 | |
| 7. | M. Mori, Y. Shimotsuma, T. Sei, M. Sakakura, K. Miura, and H. Uono | Tailoring thermoelectric properties of nanostructured crystal silicon fabricated by infrared femtosecond laser direct writing | Phys. Status Solidi A | 212,4, pp.715-721 | 2015/01 | |
| 8. | M.Nakamura, S. Murakami, and H. UDONO | Depth profiles of the nickel donor center in p-type silicon diffused with dilute nickel measured by deep-level transient spectroscopy | Jpn. J. Appl. Phys. | 53,,091301 | 2014/08 | |
| 9. | M. Yazdan Mehr, W.D. van Driel, H. Uono, G. Q. Zhang | Surface aspects of discolouration in Bisphenol A Polycarbonate (BPA-PC), used as lens in LED-based products | Optical Materials | 37,, pp.155-159 | 2014/06 | |

10. S. Yamauchi, S. Hatakeyama, Y. Imai, and M. Tonouchi Nondestructive evaluation of crystallized-particle size in lactose-powder by terahertz time-domain spectroscopy
Optical Engineering 53, 031203-1-5 2014
11. Mohd Shah, Hiroki Yokoyama, Naoto Kakimoto, High-precision forecasting model of solar irradiance based on grid point value data analysis for an efficient photovoltaic system IEEE Transactions on sustainable energy 6, 2, pp. 474-481 2015/02
12. Ahamad Syahiman, Yuki Ishikawa, Suguru Odakura, Naoto Kakimoto Numerical model of energy control for Lithium-ion batteries based on PV system Int. J. of simulation: systems, science & technology 15, 6, pp. 68-74 2014/12
13. H. Shimakage, M. Tamura, , "Chaotic Oscillations in Josephson Junctions for Random Number Generation IEEE Transactions on Applied Superconductivity 25, 3, 2377240 2015/02
14. J. Horikawa, A. Kawakami, M. Hyodo, S. Tanaka, M. Takeda, H. Shimakage Study of Midinfrared Superconducting Detector With Phased-Array Nanoslot Antenna IEEE Transactions on Applied Superconductivity 25, 3, 23815174 2015/02
15. A. Kawakami, J. Horikawa, , M. Hyodo, S. Tanaka, M. Takeda, H. Shimakage Fabrication of Superconducting Mid-Infrared Photodetectors With Dipole Nanoantennas IEEE Transactions on Applied Superconductivity 25, 3, 23815174 2015/02
16. 武田正典, 小嶋崇文, 牧瀬圭正, 齊藤敦, 齋藤伸吾, 島影 尚 進行波型カイネティックインダクタンス増幅器開発に向けた 超伝導材料の検討 日本赤外線学会誌 24, 2, 24-2-P02 2015/02
17. J. Horikawa, A. Kawakami, M. Hyodo, S. Tanaka, M. Takeda, and H. Shimakage Evaluation of nano-solot antenna for mid-infrared detectors Infrared Physics & Technology 67, , pp. 21-24 2014/07
18. 祖田直也, 榎園正人 磁束密度の振幅および位相差の関数として表現された複素型E & Sモデルによる鉄損解析 日本AEM学会誌 22, 2, pp. 306-311 2014/06
19. Masaya Nagai, Noriyuki Mukai, Yosuke Minowa, Masaaki Ashida, Takehito Suzuki, Jun Takayanagi, and Hideyuki Ohtake Achromatic wave plate in THz frequency region based on parallel metal plate waveguides with a pillar array Optics Express 23, 4, pp. 4641-4649 2015/02
20. Yudai Kishi, Masaya Nagai, John C. Young, Keisuke Takano, Masanori Hangyo, and Takehito Suzuki Terahertz laminated structure polarizer with high extinction ratio and transmission power Applied Physics Express 8, 3, 032201-1-4 2015/02
21. Takahisa Togashi, Hideaki Kitahara, Keisuke Takano, Masanori Hangyo, Mamoru Mita, John C. Young, and Takehito Suzuki Terahertz Path-Length Lens Composed of Oblique Metal Slit Array Applied Physics A118, 2, pp. 397-402 2015/02

22. Katsunari Irie, Keisuke Takano, John C. Young, Kohji Yamamoto, Masahiko Tani, Takehito Suzuki Spectral Characteristics of Photoconductive Dipole Antennas that Include Photocurrent and Receiving Antenna Effects Journal of Modeling and Simulation of Antennas and Propagation (accepted) , , 2015/01
23. J. C. Young, D. Boyd, S. D. Gedney, T. Suzuki, J. Liu A DGFETD Port Formulation for Photoconductive Antenna Analysis IEEE Antennas and Wireless Propagation Letters , , 2014
24. Yuki Takebayashi, Takuya Konno, Shouhei Shimada, Fumiaki Miyamaru, John C. Young, Hideaki Kitahara, Keisuke Takano, Masanori Hangyo, and Takehito Suzuki Focusing Effect Measurements of Artificial Dielectric Multilayer Lens with Metal Rectangular Chips for Terahertz Wave Band Applied Physics A (Nov. 2013 Online version) , , 2014/05
25. Takehito Suzuki, Hiroki Yonamine Takuya Konno , John C. Young, Keisuke Takano, and Masanori Hangyo Parallel Plate Lens with Metal Hole Array for Terahertz Wave Band Applied Physics A (Nov. 2013 Online version) , , 2014/05
26. Takehito Suzuki, Hiroki Yonamine, Takuya Konno, John C. Young, Kotaro Murai, Fumiaki Miyamaru, Keisuke Takano, Hideaki Kitahara, and Masanori Hangyo Analysis and Design of Concave Lens with Metallic Slit Array for Terahertz Wave Band Applied Physics A (Nov. 2013 Online version) , , 2014/05
27. T. Tanaka, S. Ito, M. Muramatsu, T. Yamada, H. Kamiko, N. Kakimoto, Y. Inui Accurate and Versatile Simulation of Transient Voltage Profile of Lithium-ion Secondary Battery Employing Internal Equivalent Electric Circuit Applied Energy 143,, pp.200-210 2015
28. T. Tanaka, H. Kamiko, T. Bando, A. Zaffirah, N. Kakimoto, Y. Inui, T. Maeda Proposal and Study on Optimum Operation of SOFC CGS with EV Charging Stand International Journal of Hydrogen Energy 39,, pp.5097-5104 2014

[メディア通信工学領域]

- | 氏名 | 著者名 | タイトル | 掲載誌名 | 巻号頁 | 出版年/月 | 備考 |
|----|--------------------------------|--|-----------------------|----------------------|---------|----|
| 1. | 松浦 聡, 赤羽秀郎, 小山田弥平 | BOTDR を用いたグレーデッド型多モードファイバの歪分布測定に関する基本検討 | 電子情報通信学会論文誌 B | J98, 1, pp. 77-87 | 2015/01 | |
| 2. | 赤羽秀郎 | ダブルパルス BOTDR の測定能力向上 | 電子情報通信学会論文誌 B | J97, 10, pp. 962-972 | 2014/10 | |
| 3. | S. Sato, S. Kumagai, R. Sugita | Effects of sub-domain structure on initial magnetization curve and domain size distribution of stacked media | J. Magn. Magn. Mater. | 377,, pp. 147-152 | 2014/09 | |

4. N.Tomiyama, A.Oyama, S.Sato, R.Sugita Influence of recording field direction on transition noise of stacked media EPJ (European Physical Journal) Web of Conferences 75,,06010, pp.1-4 2014/07
5. A.Oyama, R.Sugita Effect of layer thickness ratio on magnetization reversal process in stacked media with high coercivity EPJ (European Physical Journal) Web of Conferences 75,,06009, pp.1-4 2014/07
6. S.Kumagai, S.Sato, R.Sugita Micromagnetic study on influence of the recording field direction on transition noise of stacked media J. Appl. Phys. 115,, pp.17B706-1-17B706-3 2014/05
7. T. Motegi, S. Koike, T. Miyajima, M. Umehira, S. Takeda, K. Kagoshima A Frequency Cooperative ARQ Scheme for Multi-band WLAN IEICE Communications Express vol.4, no.2, pp.79-84 2015/02
8. A Frequency Cooperative ARQ Scheme for Multi-band WLAN IEICE ComEX 4,2, pp.79-84 2015/02
9. 梅比良 正弘 茨城大学工学部における教育事業への取組み 電子情報通信学会通信ソサイエティマガジン 2014 春号, No. 28, 2014/04
10. Katsuhiro Uno, Isao Shimizu Dual Focus Diffractive Optical Element with Extended Depth of Focus Optical Review 21,5, pp.668-675 2014
11. Katsuhiro UNO, Yuta KAMIKOZAWA1, Isao SHIMIZU Rotation- and Size-Invariant Object Identification System Using the Liquid Crystal on Silicon Device Optical Review 21,3, pp.404-409 2014
12. Katsuhiro Uno, Takemune Kihou Optical Detection of Mechanically Damaged Areas on Manufactured Metal Parts by Spatial Frequency Filtering Optical Review 21,3, pp.382-388 2014
13. Shinki Nakamura, Yuto Hikita, Hiroyasu Sone, Takayo Ogawa, and Satoshi Wada High-Power Diode-Pumped Mode-Locked Yb:YAG Ceramic Laser Optical Review 21,3, pp.401-403 2014/06
14. R. Homma, Y. Hasegawa, H. Terakado, H. Morita, and T. Komine Simultaneous measurement of the Seebeck coefficient and thermal diffusivity for bulk thermoelectric materials Jpn. J. Appl. Phys. 54,,026602 2015/01
15. Kiyohiko Uehara and Kaoru Hirota Inference with Fuzzy Rule Interpolation at an Infinite Number of Activating Points Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics 19,1, pp.74-90 2015/01

[情報工学領域]

氏名	著者名	タイトル	掲載誌名	巻号頁	出版年/月	備考
1.	古川 覚, 上田 賀一, 中島 震	組込みシステム検査のための協調解析	日本ソフトウェア科学会コンピュータソフトウェア	31, 3, pp.307-317	2014/08	

2. 須藤翔太, 小玉駿, 福田貴大, 渋沢進, 鎌田賢, 米倉達広 歩行者の位置に応じて情報を
 正対表示するシステム 電子情報通信学会論文誌 (A) J98-A, 1, pp.129-134
 2015/01
3. 赤津典生, 清水麻衣子, 米倉達広 シミュレーション技術を適用した駐車場内部レイアウト評
 価に関する研究 第12回 ITS シンポジウム 2014 論文集2, 1A, 2014/12
4. 須藤翔太, 小玉駿, 福田貴大, 渋沢進, 鎌田賢, 米倉達広 歩行者の位置に応じて情報を
 正対表示するシステム 電子情報通信学会論文誌(A) J98-A, 1, pp.129-134 2015/01
5. Kyohei Sumikawa, Hiromasa Habuchi Optical Wireless LDGM-BPPM With Unequal
 Transmission Power Allocation Scheme IEICE Transaction on Fundamentals E97-A, 12,
 pp.2578-2585 2014/12
6. Yusuke Takamaru, Sachin Rai, Hiromasa Habuchi Theoretical Analysis of New PN Code
 on Optical Wireless Code-Shift-Keying IEICE Transaction on Fundamentals E97-A, 12,
 pp.2572-2578 2014/12
7. Kyohei Sumikawa, Hiromasa Habuchi Influence of Scintillation and Background
 Noise on LDGM-BPPM with Unequal Transmission Power Allocation Scheme in Optical
 Wireless Channel Journal of Signal Processing 18, 4, pp.181-184 2014/07
8. 須藤翔太, 小玉駿, 福田貴大, 渋沢進, 鎌田賢, 米倉達広 歩行者の位置に応じて情報を
 正対表示するシステム 電子情報通信学会論文誌(A) 98, 1, pp.129-134 2015/01
9. 野口宏, 大瀧保広, 鎌田賢 BCP としての学内データセンターの設置とその活用方針
 学術情報処理研究 18,, pp.24-32 2014/09
10. 新納浩幸, 佐々木稔 共変量シフト下の学習による語義曖昧性解消の教師なし領域適応
 自然言語処理 21, 5, pp.1011-1035 2014/09
11. D. D. G. L. Dahanayaka, H. Tonooka, J. Wijeyaratne, A. Minato, S. Ozawa
 Comparison of three chlorophyll-a estimation approaches using ASTER data
 acquired over Sri Lankan coastal water bodies Malaysian Journal of Remote Sensing
 & GIS 4, 1, 2015/01
12. S. H. P. K. Lakesh, G. A. Nisha, N. Warnajith, D. D. G. L. Dahanayaka, H. Tonooka, A.
 Minato, S. Ozawa Development of inexpensive multi-parameter sensors based network
 system for water environment monitoring International Journal of Environmental
 Sciences 5, 2, pp.341-352 2014/09
13. S. Kato, T. Matsunaga, H. Tonooka Statistical and in-situ validations of the
 ASTER spectral emissivity product at Railroad Valley, Nevada, USA Remote Sensing of
 Environment 145,, pp.81-92 2014/04
14. Kaoru KUROSAWA, Ryo NOJIMA, Le Trieu PHONG Generic Fully Simulatable Adaptive
 Oblivious Transfer IEICE Transactions on Fundamentals E98-A, 1, pp.232-245
 2015/01
15. 野口 宏, 大瀧 保広, 鎌田 賢 BCP としての学内データセンターの設置とその活用方針
 学術情報処理研究 18, 1, pp.24-32 2014/09

16. 新納浩幸, 佐々木稔 共変量シフト下の学習による語義曖昧性解消の教師なし領域適応
自然言語処理 21, 5, pp.1011-1035 2014/09
17. Kazuki Yoneyama Compact Authenticated Key Exchange from Bounded CCA-Secure KEM
IEICE Trans. on Fundamentals 98. A, 1, pp.132-143 2015/01
18. Hideo Miyachi, Tomoyuki Ishida, Naohisa Sakamoto, Koji Koyamada Fusion
Visualization for Fluid Dynamics in Blood Vessel Journal of Artificial Life and
Robotics Vol.19, Issue 3, pp. 286-290. 2014/11
19. Tomoyuki Ishida, Kazuhiro Takahagi, Noriki Uchida, Yoshitaka Shibata Proposal
of the Disaster Information Sharing System for the Disaster Countermeasures
Headquarters IT CoNvergence PRActice (INPRA) Vol.2, No. 3, pp. 34-54. 2014/10
20. Noriki Uchida, Norihiro Kawamura, Tomoyuki Ishida, Yoshitaka Shibata Resilient
Network with Autonomous Flight Wireless Nodes based on Delay Tolerant Networks
IT CoNvergence PRActice (INPRA) Vol.2, No. 3, pp. 1-13. 2014/10
21. Tomoyuki Ishida, Kazuhiro Takahagi, Akira Sakuraba, Noriki Uchida, Yoshitaka
Shibata The Real-time Disaster Damage Information Sharing System for Information
Acquiring in Large-scale Natural Disaster Journal of Internet Services and Information
Security (JISIS) Vol. 4, No. 3, pp. 40-58. 2014/08
22. Akira Sakuraba, Tomoyuki Ishida, Yasuo Ebara, Yoshitaka Shibata Design of
Disaster State Presentation System Using Ultra High Resolution Display Journal
of Mobile Multimedia (JMM) Vol. 10, No. 1&2, pp. 160-178. 2014/05

[都市システム工学領域]

- | 氏名 | 著者名 | タイトル | 掲載誌名 | 巻号頁 | 出版年/月 | 備考 |
|----|-----------------------|--|-------------------|------------------------|---------|----|
| 1. | 川嶋 良純・桑原 祐史・横木 裕宗 | 広領域を対象とした氾濫シミュレーションの精度向上を目的とする簡易な DSM 補間方法の提案 | 日本沿岸域学会誌 | ,, | 2015 | |
| 2. | 山崎 正稔・石内 鉄平・桑原 祐史 | EOS-Terra/ASTER を用いたマングローブ域抽出に関する研究—マンマー沿岸域を対象として— | 日本沿岸域学会誌 | ,, | 2015 | |
| 3. | 今井友桂子・石内鉄平・桑原祐史 | 都市域を対象とした CO2 濃度の計測とその変動要因の分析 | (社)日本測量協会 応用測量論文集 | 25,, pp. 3-14 | 2014 | |
| 4. | 桑原祐史・山田貴弘・今井友桂子・神澤雅典 | 茨城県を対象とした生活環境圏における CO2 濃度観測データの補正方法と地域性の検討 | (社)日本測量協会 応用測量論文集 | 25,, pp. 15-23 | 2014 | |
| 5. | 佐藤大作, 横木裕宗, 有田正光 | ツバル国フナフチ環礁ラグーンの流動特性に関する数値計算 | 土木学会論文集 B2 (海岸工学) | 70, 2, pp. I_431-I_435 | 2014/11 | |
| 6. | 海野円, 小峯秀雄, 村上哲, 瀬戸井健一 | 低炭素社会形成のための鉄鋼スラグの二酸化炭素固定化量の定量評価と二酸化炭素固定化メカニズムの推察 | 地盤工学ジャーナル | 9, 4, pp. 469-478 | 2014 | |

7. Murakami, S., Nishigaya, T.: Investigation of Geological Conditions and Historical Slope Disaster in Malay Peninsula, Landslides(Special Report on Satreps Landslide Research. JICA), 4-9, 2015/03
8. 藤田 昌史 明石詢子, 石渡恭之, 藤田昌史 水道管における懸濁態元素と細菌の挙動 土木学会論文集 G (環境) 70, 7, pp. 33-38 2014/12
9. 藤田 昌史 王峰宇, 石渡恭之, 藤田昌史 ツバル国海岸の重金属汚染の評価と既設の Septic Tank の活用を想定した除去手法の検討 土木学会論文集 G (環境) 70, 7, pp. 509-515 2014/12
10. 藤田 昌史 見島伊織, 吉田征史, 藤田昌史 実下水処理施設における硝化プロセスの N20 生成ポテンシャルの解析 水環境学会誌 37, 6, pp. 219-227 2014/06
11. 藤田 昌史 石渡恭之, 宇津野典彦, 見島伊織, 加藤健, 藤田昌史 水道管のライニングの種類・供用年数と管内流水中の懸濁物組成との関係 水道協会雑誌 83, 5, pp. 2-8 2014/05
12. 田中 智, 檜山和男, 今西準紀, 車谷麻緒 三次元非構造メッシュ修正システムへの要素細分化手法の導入とシステム適用性の向上研究 土木学会論文集 A2 (応用力学) 70, 2, pp. I_339-I_348 2014/06
13. 加藤準治, 加茂純宜, 高瀬慎介, 森口周二, 車谷麻緒, 寺田 賢二郎, 京谷孝史 フェーズフィールド法によるマイクロ構造トポロジー最適化の基礎的研究 土木学会論文集 A2 (応用力学) 70, 2, pp. I_173-I_183 2014/06
14. 車谷麻緒, 松浦 遵, 根本 忍, 呉 智深 コンクリートのひび割れ進展計測のための画像解析手法に関する基礎的研究 土木学会論文集 A2 (応用力学) 70, 2, pp. I_135-I_144 2014/06
15. 車谷麻緒 異形鉄筋周辺のコングリートに形成する内部ひび割れモードの再現シミュレーション 日本計算工学会論文集 2014, , 20140008 2014/06
16. 神野真弥, 車谷麻緒, 寺田 賢二郎, 京谷孝史, 檜山和男 微細ひび割れの形成と接触を考慮した準脆性材料の圧縮破壊シミュレーション 日本計算工学会論文集 2014, , 20140006 2014/04
17. 小林 薫, 松元和伸, 森井俊広, 中房 悟 ホタテ貝殻を用いた成層傾斜キャピラリーバリアの限界長に関する研究 土木学会論文集 B3(海洋開発) 70, 2, pp. I-1092 - I-1097 2014/10
18. 小林 薫, 松元和伸, 森井俊広, 中房 悟, 西村友良 砂層の乾燥密度がキャピラリーバリアの限界長に及ぼす影響 地盤工学ジャーナル 9, 4, pp. 591-602 2014/12
19. Phun, V. , Hirata, T. and Yai, T. Effects of Noise Sensitivity, Noise Exposure, and Affluent Status on Aircraft Noise Annoyance Journal of Environmental Protection 6, , pp. 976-985 2015
20. Veng Kheang PHUN, Junro TERADA, Terumitsu HIRATA, Tetsuo YAI Analysis of Aircraft Noise Sensitivity for Urban Airport: A Concept of Reference Noise Level Asian Transport Studies 3, 3, pp. 345-361 2015/03

21. 栗原 剛・平田 輝満・高田 陽介・林 泰三・三崎 秀信 羽田空港国際化前後の空港選
 択行動変化に関する実態分析 土木学会論文集 D3 (土木計画学), Vol. 70, No. 5 (土木計
 画学研究・論文集第 30 巻) 70, 5, pp. I_915-I_922 2014/12
22. 槇 究, 紀室 さやか, 山本 早里, 熊澤 貴之 被験者主導の街路景観カラーシミュレーション
 における色彩規制の効果- 壁面色の変化とその評価 - 日本建築学会環境系論文集 79, 706,
 pp. 1009-1015 2014

[知能システム工学領域]

- | 氏名 | 著者名 | タイトル | 掲載誌名 | 巻号頁 | 出版年/月 | 備考 |
|-----|---|--|---|---------------------|------------|----|
| 1. | Masatomo Inui, Nobuyuki Umezu, and Hidekazu Kamei | Automatic detection of the optimal ejecting direction based on a discrete Gauss map | Journal of Computational Design and Engineering | 1, 1, pp. 48-54 | 2014 | |
| 2. | Masatomo Inui, Nobuyuki Umezu, and Yuuki Kitamura | Visualizing sphere-contacting areas on automobile parts for ECE inspection | Journal of Computational Design and Engineering | Available online | ,, 2014/12 | |
| 3. | 星野 貴弘, 田 川, 小室 孝文, 坪井 一洋, 浜松 芳夫 | 輸送システム合流部のモデル化とその解析 | 電気学会論文誌D (産業応用部門誌) | 135, 2, pp. 155-161 | 2015/02 | |
| 4. | 安田 海人, 坪井 一洋, 田中 晃平, 宮崎 武 | 軌道の特徴量を用いたボールの空力係数の推定 | 日本機械学会論文集 | 80, 814, pp. 1-10 | 2014/06 | |
| 5. | Tepei Onuki, Ippei Murayama, Hirotaka Ojima, Jun Shimizu, Libo Zhou | Modeling of process mechanisms in pulsed laser micro machining on lithium niobate substrates | International Journal of Automation Technology | 8, 6, pp. 896-902 | 2014/11 | |
| 6. | 小貫 哲平, 小野 竜典, 尾 崎 裕隆, 清水 淳, 周 立波 | 近赤外分光計器を用いた反射分光方式の薄シリコンウェハ厚さ計 | 砥粒加工学会誌 | 58, 8, pp. 515-519 | 2014/08 | |
| 7. | Keito Uezaki, Jun Shimizu, Libo Zhou | Development of metal cutting process accompanied by a localized compressive hydrostatic stress field formation: Examination by molecular dynamics simulation | Precision Engineering | 38, 2, pp. 371-378 | 2014/04 | |
| 8. | Tepei Onuki, Ippei, Murayama, Hirotaka Ojima, Jun Shimizu and Libo Zhou | Modeling of process mechanisms in pulsed laser micro machining on lithium niobate substrates | Journal of Automation Technology | 8, 6, pp. 896-902 | 2014/11 | |
| 9. | 小貫 哲平, 小野 竜典, 尾 崎 裕隆, 清水 淳, 周 立波 | 近赤外分光器を用いた反射分光方式の薄シリコンウェハ厚さ計 | 砥粒加工学会誌 | 58, 8, pp. 515-519 | 2014/08 | |
| 10. | Keito Uezaki, Jun Shimizu, Libo Zhou | Development of metal cutting process accompanied by a localized compressive hydrostatic stress field formation: Examination by molecular dynamics simulation | Precision Engineering | 38, 2, pp. 371-378 | 2014/04 | |
| 11. | Matsui, H., Zheng, M. & Hoshino, O. | Facilitation of Neuronal Responses by Intrinsic Default Mode Network Activity | Neural Computation | 26,, pp. 2441-2464 | 2014 | |

12. Yasuhiro Fukuoka, Kota Fukino, Yasushi Habu and Yoshikazu Mori Energy evaluation of a bio-inspired gait modulation method for quadrupedal locomotion *Bioinspiration & Biomimetics* , , 2015
13. Y. Mori, S. Kido Monitoring System for Elderly People Using Passive RFID Tags *Journal of Robotics and Mechatronics* 26, 5, pp.649-655 2014
14. 森善一, 勝村薫, 永瀬勝也 自走用車椅子使用者のための段差移動補助機の開発 *日本機械学会論文集* 80, 820, pp.1-13 2014
15. Tomoya Suzuki, Yushi Ohkura Financial Technical Indicator Based on Chaotic Bagging Predictors for Adaptive Stock Selection in Japanese and American Markets *Physica A* 442, , pp.50-66 2015
16. Megumi Yokouchi, Tomoya Suzuki Minimizing Prediction Risk for Adaptive Optimization of Embedding Parameters for Noisy and Short Data *Journal of Signal Processing* 19, 4, pp.123-126 2015
17. Kazuki Yanagisawa, Tomoya Suzuki Enhancing Predictive Power and Risk-reduction Efficiency of the Portfolio Models Based on Principal Component Analysis *Journal of Signal Processing* 19, 4, pp.119-122 2015
18. Tomoya Suzuki, Hajime Onuma Nonlinear Time-varying AR-ARCH Model Based on Chaos Prediction Model and its Statistical Significance Tests *Journal of Communication and Computer* 12, , pp.79-84 2015
19. Tomoya Suzuki, Kuniaki Ohkura, Masayuki Okazawa Small-world Properties Evaluated by Exchanging Network topology *International Journal of Modern Physics C, International Journal of Modern Physics C* 26, 11, 2015
20. 鈴木智也, 林大賀 決定論的非線形予測に基づいた時空間テクニカル分析 *電子情報通信学会論文誌 A* J98-A, 2, 2015/02
21. 山田雅章, 鈴木智也 Bipower Variation を用いた新しいテクニカル指標 *テクニカルアナリストジャーナル* 1, 1, 2014
22. Tomoya Suzuki, Kazuya Nakata Risk Reduction for Nonlinear Prediction and its Application to the Surrogate Data Test *Physica D* 266, 1, pp.1-12 2014
23. Tomoya Suzuki, Kiyoharu Tanaka Mean-Variance Portfolio Model Modified by Nonlinear Bagging Predictors *Journal of Signal Processing* 18, 6, pp.283-290 2014/11
24. Kai Morimoto, Masahiro Saito, Satoshi Inose, Atsushi Kannari, Tomoya Suzuki Application of the Principal Components Analysis to the Nonlinear Portfolio Model *Journal of Signal Processing* 18, 4, pp.177-180 2014/07
25. 尾畷裕隆, 長山拓矢, 周立波, 清水淳, 小貫哲平 ステレオ画像による砥石作業面トポグラフィの機上3次元計測システム開発に関する研究 *精密工学会誌* , , 2015
26. Teppei Onuki, Ippei Murayama, Takahiro Ojima, Jun Shimizu, Libo Zhou Modeling of process mechanisms in pulsed laser micro machining on lithium niobate substrates *International Journal of Automation Technology* 8, 6, pp.896-902 2014/11

27. 小貫哲平, 小野竜典, 尾嵩裕隆, 清水淳, 周立波 近赤外分光器を用いた反射分光方式の薄シリコンウェハ厚さ計 砥粒加工学会誌 58, 8, pp.515-519 2014/08
28. Masatomo Inui, Nobuyuki Umezu, Yuuki Kitamura Visualizing Sphere-Contacting Areas on Automobile Parts for ECE Inspection Journal of Computational Design and Engineering 2, 1, pp.55-66 2014/12
29. Teppei Onuki, Ippei Murayama, Takahiro Ojima, Jun Shimizu, Libo Zhou Modeling of process mechanisms in pulsed laser micro machining on lithium niobate substrates International Journal of Automation Technology 8, 6, pp.896-902 2014/11
30. 小貫哲平, 小野竜典, 尾嵩裕隆, 清水淳, 周立波 近赤外分光器を用いた反射分光方式の薄シリコンウェハ厚さ計 砥粒加工学会誌 58, 8, pp.515-519 2014/08
31. Nagayama K, Yamazaki S, Yahiro Y, Matsumoto T Estimation of the mechanical connection between apical stress fibers and the nucleus in vascular smooth muscle cells cultured on a substrate Journal of Biomechanics 47,, pp.1422-1429 2014/04

[工学基礎領域]

- | 氏名 | 著者名 | タイトル | 掲載誌名 | 巻号頁 | 出版年/月 | 備考 |
|----|---|--|-------------------------------------|-------------------|---------|----|
| 1. | H. Kobayashi and H. Takahashi | Roles of intermediate-range order on the glass transition process: Fictive temperature, residual entropy, relaxation time and boson peak | J. Non-Cryst. Solids | 427,, pp.34-40 | 2015/02 | |
| 2. | Makhsun, T. Hashimoto, T. Sakuma, H. Takahashi, O. Kamishima, N. Igawa and S. A. Danilkin | Estimation of force constants of Al from diffuse neutron scattering. | J Phys. Soc. Jpn. | 83,, 074602 | 2014/06 | |
| 3. | Y. Ishikawa, T. Sakuma, H. Takahashi and S. A. Danilkin | Pressure dependence of crystal structure of Cu ₂₀ by TOF powder neutron diffraction | Solid State Ionics | 262,, pp.622-624 | 2014/10 | |
| 4. | 湊淳, 鈴木慎吾, 村上雄太郎, 伊多波正徳, 小澤哲 | 形態素解析を用いた事故・リスクに関する記述の分析 | 日本感性工学会論文誌 | 13, 2, pp.341-346 | 2014/04 | |
| 5. | D.D.G.L. Dahanayaka, H. Tonooka, M.J.S. Wijeyaratne, A. Minato and S. Ozawa | Comparison of Three Chlorophyll-A Estimation Approaches Using Aster Data Acquired Over Sri Lankan Coastal Water Bodies | Malaysian J. Remote Sensing & GIS | 4,, pp.21-29 | 2015 | |
| 6. | G. Anne Nisha, Nalin Warnajith, Hiroshi Tsuchida, Atsushi Minato | Wireless sensor network system for inclination measurement using spirit level | Int. J. Modern Engineering Research | 5, 4, pp.1-8 | 2015 | |
| 7. | Nalin Warnajith, Nguyen Cao Thang, Sataru Ozawa, Atsushi Minato | Mobile Radiation Measuring System using Small Linux box and GPS sensor | Int. J. Modern Engineering Research | 5, 2, pp.1-8 | 2015 | |

8. S.H.P.K.Lakesh, D.D.G.L. Dahanayaka, G. Anne Nisha, N. Warnajith, H. Tonooka, A. Minato and S. Ozawa Development of inexpensive multi-parameter sensors based network system for water environment monitoring Int. J. of Environmental Sciences 5,, pp.341-352 2014
9. 湊淳, 鈴木慎吾, 村上雄太郎, 伊多波正徳, 小澤哲 形態素解析を用いた事故・リスクに関する記述の分析 日本感性工学会論文誌 13,2, pp.341-346 2014/04
10. Nobuo Niimura, Kenji Kikuchi, Ninh Duc Tuyen, Masakazu Komatsuzaki, Yoshinobu Motohashi Physical properties, structure, and shape of radioactive Cs from the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident derived from soil, bamboo and shiitake mushroom measurements Journal of environmental radioactivity ,, pp.1-6 2014
11. 植木 誠一郎 Composition operators between weighted Bergman spaces with admissible Bekolle weights Banach J. Math. Anal. 8,1, pp.64-88 2014
12. Takuya Hosokawa, Keiji Izuchi, Shuichi Ohno, Weighted composition operators between Hilbert spaces of analytic functions in the operator norm and Hilbert-Schmidt norm topologies Journal of Mathematical Analysis and Applications 421,2, pp.1546-1558 2015
13. Takuya Hosokawa, Michio Seto, Some remarks on operator equation $C_{\varphi} = C_{\psi} X$ Nihonkai Mathematical Journal 25,2, pp.85-91 2014

1.3 国際会議論文

[機械工学領域]

- | 氏名 | 著者名 | タイトル | 掲載誌名 | 巻号頁 | 出版年/月 | 備考 |
|----|---|---|---|-----|---------|----|
| 1. | Y Nishi, T Inagaki, Y Li, R Omiya and K Hatano | Research on the Flow Field of Undershot Cross-flow Waterturbines Using Experiments and Numerical Analysis | Proceedings of 27th IAHR Symposium on Hydraulic Machinery and Systems | | 2014/09 | |
| 2. | Y. Li, T. Sato, H. Saito, T. Inagaki | Thermo-physical Properties of Magnetic Fluid and Its Natural Convection Heat Transfer in a Horizontal Enclosed Rectangular Container without Magnetic Field | Proceedings of 16th International Symposium on Flow Visualization | | 2014/06 | |
| 3. | Y. LI, Y. NISHI, T. INAGAKI and K. HATANO | Visualization Study on the Flow Field of an Undershot Cross-flow Water Turbine Using PIV Technique | Proceedings of 16th International Symposium on Flow Visualization | | 2014/06 | |
| 4. | Masaaki Kato, Takamasa Yokota, Jost Weber, Mitsuru Konno, Ernst Winklhofer, Karl Wieser, Hrwig Ofner, Gill Denis Walter | An Investigation of Injection and | | | | |

- Combustion of Dimethylether Using high Pressure Injection System 248th American Chemical Society National Meeting & Exposition , , 2014/08
5. T. Masuzawa, M. Osa, N. Omori, E. Tatsumi Pediatric VAD with Five Degrees of Freedom Control MAGLEV Motor 41st Annual European Society for Artificial Organs (ESAO) Congress , , 2014/09
 6. Kurosaki W, Masuzawa T Cardiovascular circulation simulator to evaluate ventricular assist effect The 10th International Student Conference at Ibaraki University , , F02 2014/09
 7. Ota-Ishigaki A, Masuzawa T, Shibata T, Kawashima T, Maruyama, The relationship between the thrombogenicity and the generated flow around 3-dimensional micro geometrical structures on the bio-material -Investigation of micro flow-, The 10th International Student Conference at Ibaraki University , , D01 2014/09
 8. Onuma H, Masuzawa T Evaluation of Magnetic Suspension Characteristics and Levitation Performance of A Centrifugal Blood Pump Using Radial Type Self-Bearing Motor 14th International Symposium on Magnetic Bearings , , pp.174-179 2014/08
 9. Murakamia M, Masuzawa T, Yoshida S, Onuma H, Nishimura T, Kyo S Thin Maglev Ventricular Assist Device with radial Type Self-bearing Motor 14th International Symposium on Magnetic Bearings , , pp.168-173 2014/08
 10. Osa M, Masuzawa T, Omori N, Tatsumi E Radial Position Active Control of Double Stator Axial Gap Self-bearing Motor for Paediatric VAD 14th International Symposium on Magnetic Bearings , , pp.187-192 2014/08
 11. Kurita N, Timm D, Greatrex N, Kleinheyser M, Masuzawa T Optimization design of magnetically suspended system for the BiVACOR total artificial heart 14th International Symposium on Magnetic Bearings , , pp.437-440 2014/08
 12. Masuzawa T Magnetically suspended motor system for artificial hearts and blood pumps 14th International Symposium on Magnetic Bearings , , pp.421-425 2014/08
 13. Masuzawa T Magnetically suspended artificial heart 8th Asia-Pacific Symposium on Applied Electromagnetics and Mechanics 2014 , , pp.9-10 2014/07
 14. Iya I, Tashlykova-Bushkevich, Keitaro Horikawa and Goroh Itoh The role of Cr in H desorption kinetics in rapidly solidified Al Materials Science Forum 783,786, pp.264-269 2014/05
 15. Y. Okada, H. Suzuki, K. Matsuda, R. Kondo and M. Enokizono Development of Highly Efficient Magnetic Bearing and Application to Ultra-Low Temperature Fluid Pump Proceedings of the 14th International Symposium on Magnetic Bearings , , pp.180-185 2014/08
 16. Akira Kurumada, Goroh Itoh, Masamichi Sugita, Takaaki Sakuma, Masakatsu Seki Change of hardness of copper sheet by splitting process Procedia Engineering 81, , pp.861-866 2014/10

17. Mitsugu YAMAGUCHI, Shinji ARAGA, Mamoru MITA, Kazuhiko YAMASAKI, Katsuhiro MAEKAWA
Laser-based Conductive Film Forming with Gold Nanoparticles for Electrical
Contacts 64th Electronic Components and Technology Conference (ECTC 2014), Lake Buena
Vista, Florida, USA, May pp.27-30, 2014 , , 2014/05
18. T. Sagawa, M. Mita, K. Yamasaki, and K. Maekawa High-speed gold laser-plating on
nickel-plated copper leadframe toward flip-chip packaging Proceedings of
International Conference on Electronics Packaging (ICEP) 2014, Toyama, Japan, April
23-25, (2014) , , FC1-3 2014/04
19. Y. Nishi, T. Inagaki, Y. Li, R. Omiya and K. Hatano Research on the Flow Field
of Undershot Cross-Flow Water Turbines Using Experiments and Numerical Analysis
Proceedings of the 27th IAHR Symposium on Hydraulic Machinery and Systems
 , , 2014/09
20. Y. Li, Y. Nishi, T. Inagaki and K. Hatano Visualization study on the flow
field of an undershot cross-flow water turbine using PIV technique Proceedings of the
16th International Symposium on Flow Visualization , , 2014/06

[物質工学領域]

- | 氏名 | 著者名 | タイトル | 掲載誌名 | 巻号頁 | 出版年/月 | 備考 |
|----|--|---|---|-------------------|---------|----|
| 1. | Nobuo NIIMURA*, Ichiro TANAKA and Masayoshi KOBAYASHI | Visualization of the
electron transfer associated with biochemical reaction process by the ultra-slow muon | JPS Conference Proc. | 2, , 010311(5) | 2014/04 | |
| 2. | Kenta Iwasawa, Hiraku Ota, Mikka Nishitani-Gamo, Toshihiro Ando, Mika Eguchi | Characterization of LiCoO ₂ / Marimo carbon composite for lithium ion battery | 65th Annual Meeting of the International Society of Electrochemistry | , , isel40579 | 2014/09 | |
| 3. | Koki Baba, Hiraku Ota, Mikka Nishitani-Gamo, Toshihiro Ando, Mika Eguchi | Corrosion
of carbon supports for PEFC under current cycled conditions | 65th Annual Meeting of the
International Society of Electrochemistry | , , isel41804 | 2014/09 | |
| 4. | K. Iwasawa, H. Ota, M. Nishitani-Gamo, T. Ando and *M. Eguchi | Characterization
of LiFePO ₄ /Marimo carbon composite for lithium ion battery | IUMRS-ICA2014 | A2-026-
001, , | 2014/08 | |
| 5. | K. Baba, M. Eguchi*, M. Nishitani-Gamo, T. Ando | Durability of Marimo carbon
catalyst support under current cycled operating conditions | IUMRS-ICA2014 | A2-026-
002, , | 2014/08 | |
| 6. | K. Furuhashi, H. Gunji, H. Ota, M. Eguchi*, M. Nishitani-Gamo, T. Ando | Preparation of the Marimo carbon supported Pt-Pd bimetal catalyst, | IUMRS-
ICA2014 | A2-026-003, , | 2014/08 | |
| 7. | Yoshiaki Kiyonagi, Hirotaka Sato, Yoshinori Shiota, Takashi Kamiyama, Kenji Iwase, | | | | | |

- and Shoji Uno Development of Energy-Selective Neutron Imaging JPS Conf. Proc. 1, ,14008 2014
8. T. Sato, H. Hayashi, T. Nishi, M. Kurata An innovative anode concept for improving anodic dissolution rate of nitride fuel in electrorefining process Proceedings of International Nuclear Fuel Cycle Conference (GLOBAL 2015), Paris, France , ,No. 5447, 6p. 2015
9. 林 博和・西 剛史・佐藤 匠・倉田正輝 Development of nitride fuel cycle technology for transmutation of minor actinides Proceedings of International Nuclear Fuel Cycle Conference (GLOBAL 2015), Paris, France , ,No. 5384, 7p. 2015
10. H. Hayashi, T. Nishi, M. Takano, T. Sato, H. Shibata, M. Kurata Recent Progress and Future R&D Plan of Nitride Fuel Cycle Technology for Transmutation of Minor Actinides Proceedings of 13th OECD /NEA Information Exchange Meeting on Actinide and Fission Product Partitioning and Transmutation, Seoul, Korea, , pp.360-367 2015

[電気電子工学領域]

- | 氏名 | 著者名 | タイトル | 掲載誌名 | 巻号頁 | 出版年/月 | 備考 |
|----|--|---|---|----------------|---------|----|
| 1. | Song Yang, Teruyuki Miyajima | Filter-and-Forward Relay Beamforming for OFDM-based Cognitive Networks | Proc. Int. Conf. on Commun. Syst. (ICCS) | , , | 2014/11 | |
| 2. | Zhang Xi, Teruyuki Miyajima | OFDM Channel Shortening in the Presence of IQ Imbalance | Proc. ChinaSIP | , , | 2014/07 | |
| 3. | T. Kobayashi, S. Moriyama, K. Yokokura, M. Sawahata, M. Terakado, S. Hiranai, K. Wada, Y. Sato, J. Hinata, K. Hoshino, A. Isayama, M. Saigusa, K. Kajiwarra, Y. Oda, R. Ikeda, K. Takahashi, K. Sakamoto | Development of Dual Frequency Gyrotron and Launcher for the JT-60SA ECH/ECCD System | Proc. of 25th IAEA Fusion Energy Conference, St. Petersburg, Russia, 15 October, 2014 | , , | 2014/10 | |
| 4. | John B. Nkwanga, Naoto Kakimoto | Optimal voltage regulation and profile control for maximum distributed generation penetration | Proceedings of ISMS2015, Kuala Lumpur, Malaysia | , , pp.187-192 | 2015/02 | |
| 5. | Ahmad Syahiman, Yuki Ishikawa, Suguru Odakura, Naoto Kakimoto | Power control modelling for future energy management based on photovoltaic integrated system with lithium-ion storage Batteries | Modelling symposium (AMS) 2014 8th Asia | , , pp.187-192 | 2014/09 | |
| 6. | Y. Tamura, H. Shimakage | Lyapunov exponent analyses of chaotic oscillations in rf-biased Josephson junctions | Physics Procedia | , , pp.191-194 | 2014/05 | |
| 7. | T. Kimura, K. Uno and T. Masuzawa | Studies on Response Speed and Sensitivity of Two-Dimensional Integrated Magnetic Sensor | International Conference on Solid State Devices and Materials 2014 (SSDM2014) | , , | 2014/09 | |

8. Yudai Kishi, Masaya Nagai, Mamoru Mita, John C. Young, Keisuke Takano, Masanori Hangyo, Takehito Suzuki Terahertz Polarizer Consisting of Laminated Hollow Structure with High Extinction Ratio and Transmission Power Optical Terahertz Science & Technology Conference 2015 , , 2015/03
9. Yuki Takebayashi, Takahisa Togashi, Keisuke Takano, Masanori Hangyo, John C. Young, and Takehito Suzuki Negative Refractive Index by Paired Metal Cut Wires with an Asymmetric Alignment for Terahertz Superlens Optical Terahertz Science & Technology Conference 2015 , , 2015/03
10. Takahisa Togashi, Hideaki Kitahara, Keisuke Takano, Masanori Hangyo, Mamoru Mita, John C. Young, and Takehito Suzuki Design of Terahertz Wave Path-length Lens Based on Phase Control by Oblique Metal Slit Array META 2014 5th International Conference on Metamaterials, Photonic Crystals and Plasmonics, Singapore, May 20-23, 2014. , , 2014/05
11. Nozomu Koja, Keisuke Takano, Masanori Hangyo, John C. Young, and Takehito Suzuki Quasi-three Dimensional Post Array for Terahertz Magnetic Spoof Surface Plasmon Polaritons META 2014 5th International Conference on Metamaterials, Photonic Crystals and Plasmonics, Singapore, May 20-23, 2014. , , 2014/05

[メディア通信工学領域]

- | 氏名 | 著者名 | タイトル | 掲載誌名 | 巻号頁 | 出版年/月 | 備考 |
|----|----------------------------------|---|--|---------|---------|----|
| 1. | N.Nomiya, R.Sugita | Influence of layer thickness ratio on the leakage field from recorded magnetization of stacked media with high coercivity | 59th Annual Conference on Magnetism and Magnetic Materials | ,,FQ-15 | 2014/11 | |
| 2. | N.Tomiyama, K.Ebata, R.Sugita | Dependence of domain structure on applied field direction in stacked media | 59th Annual Conference on Magnetism and Magnetic Materials | ,,FQ-14 | 2014/11 | |
| 3. | H.Kawamura, K.Hayakawa, R.Sugita | Effect of interlayer interaction on domain structure of CoPt stacked films with perpendicular anisotropy | 59th Annual Conference on Magnetism and Magnetic Materials | ,,BW-05 | 2014/11 | |
| 4. | H.Kawamura, R.Tojo, R.Sugita | Aging variation of magnetic properties and domain structure of ultra-thin CoPt perpendicular magnetic anisotropy films | INTERMAG 2014 | ,,BR-01 | 2014/05 | |
| 5. | 梅比良 正弘 | Dynamic Channel Assignment Scheme with Cooperative Beam Forming for Multi-beam Mobile Satellite Networks | 2014 International Conference on Wireless Communications and Signal Processing (WCSP 2014) | ,, | 2014/10 | |
| 6. | 梅比良 正弘 | Location-based Centralized Dynamic Channel Assignment with Channel Segregation for Multi-beam Mobile Satellite Networks | 2014 International | | | |

- Conference on Wireless Communications and Signal Processing (WCSP 2014) ,,
2014/10
7. 梅比良 正弘, Energy Efficient RSSI-based 60GHz WLAN Discovery for Multi-band WLAN
The 20th Asia-Pacific Conference on Communications (APCC2014) ,,
2014/10
8. 梅比良 正弘, An Extended Calculation Model for Shadowing Loss Caused by a Moving
Human Body in 60GHz WLAN The 20th Asia-Pacific Conference on Communications (APCC2014)
,, 2014/10
9. 梅比良 正弘, Feasibility of RSSI Based Access Network Detection for Multi-band WLAN
Using 2.4/5GHz and 60GHz WPMC2014,, 2014/09
10. 梅比良 正弘, A multiband antenna composed of helical elements for sensor networks
Proc. IEEE-APS Topical Conference on Antennas and Propagation in Wireless
Communications , , pp.191-194 2014/08
11. H. Kaiju, H. Kasa, T. Komine, T. Abe, T. Misawa, and J. Nishii Magnetic
Properties of Spin Quantum Cross Devices Utilizing Stray Magnetic Fields Proc.
2014 MRS Spring Meeting 1708,, pp.vv09101-vv09106 2014/07

[情報工学領域]

- | 氏名 | 著者名 | タイトル | 掲載誌名 | 巻号頁 | 出版年/月 | 備考 |
|----|---|--|---|-----------------|---------|----|
| 1. | Toshiya Watanabe, Naohiro Ohtsuka, Susumu Shibusawa, Masaru Kamada and Tatsuhiko Yonekura | Motion detection and evaluation of chair exercise support system with depth image sensor | The International Workshop on Future Trends in Computing System Technologies and Applications (FUSION 2014), Bali, Indonesia, | pp.800-807 | 2014/12 | |
| 2. | Toshiya Watanabe, Naohiro Ohtsuka, Susumu Shibusawa, Masaru Kamada and Tatsuhiko Yonekura | Design of lower limb chair exercise support system with depth sensor | Proc. 11th IEEE International Conference on Ubiquitous Intelligence and Computing (UIC 2014), Bali, Indonesia | , , pp.104-111 | 2014/12 | |
| 3. | Norio Akatsu, Maiko Shimizu and Tatsuhiko Yonekura | A study of the simulation technology application to a lot layout design | Proc. 2014 International Conference on Network-Based Information Systems | 1,1, pp.584-589 | 2014/09 | |
| 4. | Toshiya Watanabe, Naohiro Ohtsuka, Susumu Shibusawa, Masaru Kamada, Tatsuhiko Yonekura | Motion detection and evaluation of chair exercise support system with depth image sensor | International Workshop on Future Trends in Computing System Technologies and Applications (FUSION 2014) | , , pp.800-807 | 2014/12 | |
| 5. | Toshiya Watanabe, Naohiro Ohtsuka, Susumu Shibusawa, Masaru Kamada, Tatsuhiko Yonekura | Design of lower limb chair exercise support system with depth sensor | The 11th IEEE International Conference on Ubiquitous Intelligence and Computing (UIC 2014) | , , pp.104-111 | 2014/12 | |

6. Sachin Rai, Yusuke Kozawa, Hiromasa Habuchi, Yuto Matsuda Proposal of Turbo-Coded Differential OOK for Optical IM/DD System Proceeding of 2015 RISP International Workshop on Nonlinear Circuits, Communications and Signal Processing (NCSP2015) NCSP2015,, 2015/03
7. Takuya Eto, Hiromasa Habuchi, Koichiro Hashiura Spread Spectrum/Binary Countdown Scheme with GMPSC for Multi-Hop Wireless Network Proceeding of Eighth International Conference on Mobile Computing and Ubiquitous Networking (ICMU2015) ICMU2015,, 2015/01
8. Sachin Rai, Hiromasa Habuchi Enhancement of Punctured Turbo Code with UTPA in Optical Wireless Channel Proceeding of International Symposium on Information Theory and Its Applications (ISITA2014) ISITA2014,, 2014/10
9. Toshiya Watanabe, Naohiro Ohtsuka, Susumu Shibusawa, Masaru Kamada and Tatsuhiro Yonekura Motion detection and evaluation of chair exercise support system with depth image sensor The International Workshop on Future Trends in Computing System Technologies and Applications (FUSION 2014), Bali, Indonesia ,,pp.800-807 2014/12
10. Toshiya Watanabe, Naohiro Ohtsuka, Susumu Shibusawa, Masaru Kamada and Tatsuhiro Yonekura Design of lower limb chair exercise support system with depth sensor The 11th IEEE International Conference on Ubiquitous Intelligence and Computing (UIC 2014), Bali, Indonesia ,,pp.104-111 2014/12
11. Satoshi Kozawa, Michitoshi Niibori, Yasuhiro Ohtaki and Masaru Kamada File manager that shows off notes out of the files 3rd International Workshop on Web Service and Social Media (WSSSM 2014), Proceedings of the 17th International Conference on Network-Based Information Systems (NBIS 2014), Salerno, Italy ,, pp.611-614 2014/09
12. Erjing Zhou, Michitoshi Niibori, Shusuke Okamoto, Masaru Kamada and Tatsuhiro Yonekura Interactive animation authoring platform based on state-transition diagrams that runs on Android devices 3rd International Workshop on Web Service and Social Media (WSSM 2014), Proceedings of the 17th International Conference on Network-Based Information Systems (NBIS 2014), Salerno, Italy ,, pp.596-599 2014/09
13. Yuto Yoshida, Michitoshi Niibori and Masaru Kamada A business Log system to display related logs based on past cyclic events of business 5th International Workshop on Heterogeneous Networking Environments and Technologies (HETNET 2014), Proceedings of the 17th International Conference on Network-Based Information Systems (NBIS 2014) Salerno, Italy ,, pp.545-548 2014/09
14. Yuki Takahashi, Michitoshi Niibori and Masaru Kamada NeighborNote : An Evernote application with capability of suggesting related notes based on user operation

- history Proceedings of the 17th International Conference on Network-Based Information Systems (NBIS 2014), Salerno, Italy , , pp.331-335 2014/09
15. Masaru Kabashima, Shinji Nagata, Osamu Saitou, Masaru Kamada, and Yuji Kuwahara A structure health monitoring system using wireless sensor International Symposium on Remote Sensing 2014 , ,Poster Poster#328 (4 pages) 2014/04
16. Minoru Sasaki, Kanako Komiya and Hiroyuki Shinnou Word Sense Disambiguation Based on Semi-automatically Constructed Collocation Dictionary SEMAPRO-2014 , , 2014/08
17. A. Kato, and H. Tonooka Evaluation of band-to-band position gaps in ASTER thermal infrared bands Proc. of the 10th International Student Conference at Ibaraki University (ISCIU10) , ,D04 2014/11
18. H. Tonooka, S. J. Hook, T. Matsunaga, S. Kato, E. Abbott, and H. Tan ASTER/TIR vicarious calibration activities in US and Japan validation sites for 14 years Proc. of SPIE 9218, , pp.9218-27 2014/08
19. Kaoru Kurosawa Garbled Searchable Symmetric Encryption Financial Cryptography 2014LNCS, 8438, 234-251 2014
20. Kaoru Kurosawa, Le Trieu PhongKurosawa-Desmedt Key Encapsulation Mechanism, Revisited AFRICACRYPT 2014 LNCS, , pp.51-68 2014/05
21. Satoshi Kozawa, Michitoshi Niibori, Yasuhiro Ohtaki, Masaru Kamada File manager that shows off notes out of the files Proceedings of the 17th International Conference on Network-Based Information Systems , , pp.611-614 2014/09
22. Akio Fujiyoshi Recognition of Labeled Multidigraphs by Spanning Tree Automata Proceedings of the 19th Conference on Implementation and Application of Automata (CIAA 2014), Giessen, LNCS 8587 , , pp.188-199 2014/08
23. Mamoru Fujiyoshi, Akio Fujiyoshi, Akiko Osawa, Yusuke Kuroda, Yuta Sasaki Development of Synchronized CUI and GUI for Universal Design Tactile Graphics Production System BLOT3 Proceedings of the 14th International Conference on Computers Helping People with Special Needs (ICCHP 2014), Paris, LNCS 8548 , , pp.18-25 2014/07
24. Akio Fujiyoshi, Mamoru Fujiyoshi, Akiko Ohsawa, Yuko OtaDevelopment of Multimodal Textbooks with Invisible 2-Dimensional Codes for Students with Print Disabilities Proceedings of the 14th International Conference on Computers Helping People with Special Needs (ICCHP 2014), Paris, LNCS 8548 , , pp.331-337 2014/07
25. Takayuki Yamada Remarks on Adaptive Type Neural Network Self-Tuning Controller and Its Stability Proceeding of The Twentieth International Symposium on Artificial Life and Robotics 2015 (AROB 20th 2015) , , pp.434-437 2015/01

26. Minoru Sasaki, Kanako Komiya, Hiroyuki Shinnou Word Sense Disambiguation Based on Semi-automatically Constructed Collocation Dictionary Proceedings of the Eighth International Conference on Advances in Semantic Processing(SEMAPRO2014) , , pp.29-32 2014/08
27. Kazuki Yoneyama Formal Modeling of Random Oracle Programmability and Verification of Signature Unforgeability Using Task-PIOAs ICISC 2014, , 2014/12
28. Kazuki Yoneyama Computational Soundness of Asymmetric Bilinear Pairing-based Protocols ProvSec 2014 , , 2014/10
29. Kazuki Yoneyama, Goichiro Hanaoka Compact Public Key Encryption with Minimum Ideal Property of Hash Functions ProvSec 2014 , , 2014/10
30. Koutarou Suzuki, Kazuki Yoneyama Converting PKI-based Authenticated Key Exchange to Identity-based CANS 2014 , , 2014/10
31. Koutarou Suzuki, Kazuki Yoneyama Secure Multi-party Computation for Elliptic Curves IWSEC 2014 , , 2014/08
32. Yusuke Naito, Kazuki Yoneyama, Kazuo Ohta Reset Indifferentiability from Weakened Random Oracle Salvages One-pass Hash Functions ACNS 2014 , , 2014/06
33. Kazuki Yoneyama Password-based Authenticated Key Exchange without Centralized Trusted Setup ACNS 2014 , , 2014/06
34. Kazuma Ohara, Kazuo Ohta, Koutarou Suzuki, Kazuki Yoneyama Constant Rounds Almost Linear Complexity Multi-party Computation for Prefix Sum Africacrypt 2014, , 2014/05
35. Maiko Yamazaki, Kanako Komiya, Hajime Morita, and Yoshiyuki Kotani Automatic Extraction of the Translation of Anime Titles from Web Corpora Using CRF JCKBSE 2014, Knowledge-Based Software Engineering Communications in Computer and Information Science 466, , pp.311-320 2014/09
36. Minoru Sasaki, Kanako Komiya, Hiroyuki Shinnou Word Sense Disambiguation Based on Semi-automatically Constructed Collocation Dictionary SEMAPRO 2014 : The Eighth International Conference on Advances in Semantic Processing, IARIA , , pp.29-32 2014/08
37. Kanako Komiya, Shohei Shibata and Yoshiyuki Kotani Cross-lingual Product Recommendation Using Collaborative Filtering With Translation PairsCicling2014, PartII, LNCS8404 , , pp.141-152 2014/04
38. Satoshi Noda, Tomoyuki Ishida, Koji Hashimoto, Yoshitaka Shibata Implementation of High Presence Video Communication System for Multiple Users using Tiled Display Environment The 29th IEEE International Conference on Advanced Information Networking and Applications Workshops , , pp.496-501 2015/03
39. Kazuhiro Takahagi, Tomoyuki Ishida, Satoshi Noda, Akira Sakuraba, Noriki Uchida,

- Yoshitaka Shibata Proposal of the Fire Fighting Support System for the Volunteer Fire Company The 29th IEEE International Conference on Advanced Information Networking and Applications Workshops , , pp.484-489 2015/03
40. Kazuhiro Takahagi, Tomoyuki Ishida, Kaoru Sugita, Noriki Uchida, Yoshitaka Shibata Proposal of the Relief Supplies Support System at the time of Large-scale Natural Disaster The Ninth IEEE International Conference on Broadband and Wireless Computing, Communication and Applications , , pp.432-435 2014/11
41. Noriki Uchida, Noritaka Kawamura, Tomoyuki Ishida, Yoshitaka Shibata Proposal of Seeking Wireless Station by Flight Drones based on Delay Tolerant Networks The Ninth IEEE International Conference on Broadband and Wireless Computing, Communication and Applications , , pp.401-405 2014/11
42. Akira Sakuraba, Goshi Sato, Tomoyuki Ishida, Yasuo Ebara, Noriki Uchida, Yoshitaka Shibata A GIS based Disaster Status Sharing and Representation System Using Ultra Definition Display Environment The 17th IEEE International Conference on Network-Based Information Systems, , pp.381-386 2014/09
43. Tomoyuki Ishida, Kazuhiro Takahagi, Akira Sakuraba, Noriki Uchida, Yoshitaka Shibata Proposal of New Disaster Support System for Large-Scale Natural Disaster The 17th IEEE International Conference on Network-Based Information Systems , , pp.405-410 2014/09
44. Noriki Uchida, Mizue Kimura, Tomoyuki Ishida, Yoshitaka Shibata, Norio Shiratori Evaluation of Wireless Network Communication by Autonomous Flight Wireless Nodes for Resilient Networks The 17th IEEE International Conference on Network-Based Information Systems, , pp.180-185 2014/09
45. Tomoyuki Ishida, Kazuhiro Takahagi, Youichirou Shimizu, Akira Sakuraba, Noriki Uchida, Yoshitaka Shibata The Information Sharing System using Web-GIS at the time of Wide-scale Disaster The Eighth IEEE International Conference on Innovative Mobile and Internet Services in Ubiquitous Computing , , pp.133-138 2014/07
46. Noriki Uchida, Noritaka Kawamura, Tomoyuki Ishida, Yoshitaka Shibata Proposal of Autonomous Flight Wireless Nodes with Delay Tolerant Networks for Disaster Use The Eighth IEEE International Conference on Innovative Mobile and Internet Services in Ubiquitous Computing , , pp.146-151 2014/07
47. Tomoyuki Ishida, Yoichiro Shimizu, Kazuhiro Takahagi, Akira Sakuraba, Noriki Uchida, Yoshitaka Shibata Construction of Integrated Safety Confirmation System Using the IC Card The 28th IEEE International Conference on Advanced Information Networking and Applications Workshops , , pp.593-598 2014/05

[都市システム工学領域]

氏名 著者名 タイトル 掲載誌名 巻号頁 出版年/月 備考

1. Osamu Saitou, Yuji Kuwahara PERFORMACE EVALUATIO OF UAV TO USE FOR DISASTER
PREVETI International Symposium on Remote Sensing 2015 , , PA1-56 2015
2. Ryojun Kawashima, Yuji Kuwahara Method of correcting DEM data used for flood
simulation International Symposium on Remote Sensing 2015 , , PA1-56 2015
3. Yuta INOUE, Daiki SEKINE, and Yuji KUWAHARA GENERATION OF SAR DATA-SELECTION
SUPPORT BY USING DIGITAL ELEVATION DATA International Symposium on Remote Sensing
2015 , , PA2-60 2015
4. Yuji Kuwahara, Shusheng Zhang GENERATION OF A REVEGETATION MAP OF FUNAFUTI ATOLL
International Symposium on Remote Sensing 2015 , , PB2-69 2015
5. 桑原祐史, Relevance of CO2 Concentration and Green Spaces for Hitachi-shi, Japan
International symposium on remote sensing, CD-R , , 2014
6. 桑原祐史, Proposal of Procedure to Analyze the Regionality of QOL in Evacuation
Center in Hitachi-City International symposium on remote sensing, CD-R , ,
2014
7. 桑原祐史, Investigation of Geographical Feature and Vegetation using for Planting
Plan of the Coastal Zone at Funafuti Atoll, Tuvalu International symposium on remote
sensing, CD-R , , 2014
8. Nishigaya, T., Murakami, S. Hazard mapping of Slope failures in Malay Peninsula
by using a Historical map of Slope disaster IEEE International Symposium on
Telecommunication Technologies (ISTT 2014) , , pp. 247-250 2014/11
9. Murakami, S., Nishigaya, T., Tay, L. T., Habibah, L. Development of Historical Landslide
Database in Malay Peninsula IEEE International Symposium on Telecommunication
Technologies (ISTT 2014) , , pp. 161-165 2014/11
10. 岸 裕和, 角江俊昭, 小峯秀雄, 村上 哲 Evaluation of Turbulent Flow Conditions in
Rock Cracks and Feasibility of a New Grouting Method for Laminar and Turbulent
Conditions 8th Asian Rock Mechanics Symposium, PO-96 , , 2014/10
11. Toshihiro Morii, Kaoru Kobayashi, Kazunobu Matsumoto and Katsuo Taguchi Estimation
and Observation of Water Diversion in Capillary Barrier of Soil UNSAT2014
pp. 1197-1203 2014/07
12. T. Kumazawa Effects of disaster prevention broadcasting for Tsunami on human
behavior on initial refuge Proceedings of 11th Symposium of International Urban
Planning and Environment Association , , pp. 59-61 2014

[知能システム工学領域]

- | 氏名 | 著者名 | タイトル | 掲載誌名 | 巻号頁 | 出版年/月 | 備考 |
|----|----------------|--|---|-----|-------|----|
| 1. | Masatomo Inui, | Data Conversion From Dixel Model to B-reps Solid Model | Proc. of
15th International Conference on Precision Engineering, ICPE 2014 | | | |

2. M. Inui, N. Umezu, and K. Kobayashi Parallel Distance Field Computation with GPU and Its Application for Evaluating Part Thickness Proc. of ISCIE/ASME 2014 International Symposium on Flexible Automation , , 2014/07
3. Kazuhiro Tsuboi and Kaito Yasuda 2 Aerodynamic Coefficients Estimation based on Local Geometry of Ball Trajectory Proceedings of the International Association of Computer Science in Sport Conference (IACSS2014) , , 2014/06
4. Teppei Onuki, Ryusuke Ono, Hirotaka Ojima, Jun Shimizu, Libo Zhou Influence of surface integrity in silicon wafer thickness measurements by reflection spectroscopy Advanced Materials Research 1017, , pp. 681-685 2014/09
5. Tomohiro Inada, Libo Zhou, Jun Shimizu, Hirotaka Ojima, Takuya Ito Development of non-contact classifying systems by use of acoustic levitation Advanced Materials Research 1017, , pp. 586-591 2014/09
6. Yutaro Ebina, Libo Zhou, Jun Shimizu, Teppei Onuki, Hirotaka Ojima Wafer Grinding of Using Fixed Abrasive Diamond Wheel - Evaluation of cutting edge distribution in Diamond Wheels - Advanced Materials Research 1017, , pp. 255-260 2014/09
7. Hirotaka Ojima, Taiju Suzuki, Libo Zhou, Jun Shimizu, Teppei Onuki Development of Areal Wavelet Transform for the 2D images Proc. of 15th Int'l Conf. on Precision Engineering (ICPE2014) , , pp. 884-887 2014/07
8. Teppei Onuki, Hirotaka Ojima, Jun Shimizu, Libo Zhou Comparative Investigations of Analysis Methods in Thickness Inspections of Ultra Thin Semiconductor Wafers by Means of White Light Reflectometry Proc. of 15th Int'l Conf. on Precision Engineering (ICPE2014) , , pp. 836-837 2014/07
9. Jun Shimizu, Takeyuki Yamamoto, Libo Zhou, Teppei Onuki, Hirotaka Ojima Development of Microtextured Photocatalytic Surface by Vibration-assisted Scratching Materials Science Forum 783-786, , pp. 1488-1493 2014/04
10. Teppei Onuki, Ryusuke Ono, Hirotaka Ojima, Jun Shimizu, Libo Zhou Influence of surface integrity in silicon wafer thickness measurements by reflection spectroscopy Advanced Materials Research 1017, , pp. 681-685 2014/09
11. Yutaro Ebina, Libo Zhou, Jun Shimizu, Teppei Onuki, Hirotaka Ojima Wafer Grinding of Using Fixed Abrasive Diamond Wheel - Evaluation of cutting edge distribution in Diamond Wheels - Advanced Materials Research 1017, , pp. 255-260 2014/09
12. Tomohiro Inada, Libo Zhou, Jun Shimizu, Hirotaka Ojima, Takuya Ito Development of non-contact classifying systems by use of acoustic levitation Advanced Materials Research 1017, , pp. 586-591 2014/09

13. Hirotaka OJIMA, Taiju SUZUKI, Libo ZHOU, Jun SHIMIZU and Teppei ONUKI
Development of Areal Wavelet Transform for the 2D images Proceedings of
15th Int'l Conference on Precision Engineering (ICPE2014) , , pp.836-837 2014/07
14. Teppei ONUKI, Hirotaka OJIMA, Jun SHIMIZU and Libo ZHOU Comparative Investigations
of Analysis Methods in Thickness Inspections of Ultra Thin Semiconductor Wafers by
Means of White Light Reflectometry Proceedings of 15th Int'l Conference on Precision
Engineering (ICPE2014) , , pp.836-837 2014/07
15. Jun Shimizu, Takeyuki Yamamoto, Libo Zhou, Teppei Onuki, Hirotaka Ojima
Development of Microtextured Photocatalytic Surface by Vibration-assisted
Scratching Materials Science Forum 783-786, , pp.1488-1493 2014/04
16. Y. Kumahara, Y. Mori Portable Robot Inspiring Walking in Elderly People Proc. of
the Second International Conference on Human-Agent Interaction , , pp.145-148
2014
17. Zi-Jiang Yang and P. Qin Distributed Robust Synchronization Tracking Control
of Networked Euler-Lagrange Systems via Reference Information Estimation 2014 IEEE
International Conference on Control Applications (CCA) Part of 2014 IEEE Multi-
conference on Systems and Control , , 2014/10
18. Zi-Jiang Yang and P. Qin Distributed Robust Synchronization Tracking Control
of Networked Euler-Lagrange Systems by cascaded Estimation of Reference Velocity and
Position International Conference on Advanced Mechatronic Systems , ,
2014/08
19. Kazuki Yanagisawa, Tomoya Suzuki Improving Predictive Power and Risk
Reduction of the Portfolio Models Based on Principal Component Analysis
Proceedings of International Symposium on Nonlinear Circuits and Signal
Processing , , 2015/03
20. Hiroya Koizumi, Tomoya Suzuki Technical Trading Strategy Using the Reaction to
Financial Market Jumps Proceedings of International Symposium on Nonlinear Circuits
and Signal Processing , , 2015/03
21. Megumi Yokouchi, Tomoya Suzuki Adaptive Optimization of Embedding Parameters by
Minimizing Prediction Risk Proceedings of International Symposium on Nonlinear
Circuits and Signal Processing , , 2015/03
22. Hajime Onuma, Tomoya Suzuki Nonlinear Time-varying AR-ARCH Model Based on Chaos
Prediction Model Proceedings of International Symposium on Nonlinear Circuits and
Signal Processing, , 2015/03
23. Inose Satoshi, Tomoya Suzuki Nonlinear AR-DCC Portfolio Model Considering
Liquidity of Imperfect Markets Proceedings of International Symposium on Nonlinear
Circuits and Signal Processing , , 2015/03

24. Inose Satoshi, Tomoya Suzuki, Kazuo Yamanaka Stock Portfolio Optimization Based on Nonlinear Prediction and DCC-GARCH Model Proceedings of 2014 International Symposium on Nonlinear Theory and its Applications , , 2014/09
25. Haruaki Sakaki, Tomoya Suzuki Combinatorial Optimization of Financial Technical Indicators Based on Bayesian Network Proceedings of 2014 International Symposium on Nonlinear Theory and its Applications , , 2014/09
26. Hirotaka Ojima, Libo Zhou, Jun Shimizu, Teppei Onuki, Taiju Suzuki, Development of Areal Wavelet Transform for the 2D images Proceedings of 15th International conference on Precision Engineering (ICPE2014) , , pp.884-887 2014/07
27. Teppei Onuki, Hirotaka Ojima, Jun Shimizu, Libo Zhou Comparative Investigations of Analysis Methods in Thickness Inspections of Ultra Thin Semiconductor Wafers by Means of White Light Reflectometry Proceedings of 15th International conference on Precision Engineering (ICPE2014) , , pp.836-837 2014/07
28. Teppei Onuki, Ryusuke Ono, Hirotaka Ojima, Jun Shimizu and Libo Zhou Influence of surface integrity in silicon wafer thickness measurements by reflection spectroscopy Advanced Materials Research 1017,, pp.681-685 2014/06
29. Yutaro. Ebina, Libo Zhou, Jun Shimizu, Teppei Onuki,, Hirotaka. Ojima Wafer Grinding Using Fixed Abrasive Diamond Wheel - Evaluation of cutting edge distribution in Diamond Wheels - Advanced Materials Research 1017,, pp.255-260 2014/06
30. Jun Shimizu, Takeyuki Yamamoto, Libo Zhou, Teppei Onuki, Hirotaka Ojima, Development of Microtextured Photocatalytic Surface by Vibration-assisted Scratching Materials Science Forum 783-786,, pp.1488-1493 2014/05
31. Masatomo INUI, Nobuyuki UMEZU, and Koudai KOBAYASHI Parallel Distance Field Computation with GPU and Its Application for Evaluating Part Thickness Proc. of ISFA 2014 , , 2014/07
32. Teppei Onuki, Hirotaka Ojima, Jun Shimizu, Libo Zhou Comparative Investigations of Analysis Methods in Thickness Inspections of Ultra Thin Semiconductor Wafers by Means of White Light Reflectometry Proceedings of 15th International conference on Precision Engineering (ICPE2014) , , pp.836-837 2014/07
33. Hirotaka Ojima, Libo Zhou, Jun Shimizu, Teppei Onuki, Taiju Suzuki, Development of Areal Wavelet Transform for the 2D images Proceedings of 15th International conference on Precision Engineering (ICPE2014) , , pp.884-887 2014/07
34. Tomohiro Inada, Libo Zhou, Jun Shimizu, Hirotaka Ojima, Takuya Ito, Development of non-contact classifying systems by use of acoustic levitation Advanced Materials Research 1017,, pp.586-591 2014/06
35. Yutaro. Ebina, Libo Zhou, Jun Shimizu, Teppei Onuki,, Hirotaka. Ojima Wafer Grinding Using Fixed Abrasive Diamond Wheel - Evaluation of cutting edge distribution in Diamond Wheels - Advanced Materials Research 1017,, pp.255-260 2014/06

36. Teppei Onuki, Ryusuke Ono, Hiroataka Ojima, Jun Shimizu and Libo Zhou, Influence of surface integrity in silicon wafer thickness measurements by reflection spectroscopy
Advanced Materials Research 1017,, pp.681-685 2014/06
37. Jun Shimizu, Takeyuki Yamamoto, Libo Zhou, Teppei Onuki, Hiroataka Ojima,
Development of Microtextured Photocatalytic Surface by Vibration-assisted Scratching
Materials Science Forum 783-786,, pp.1488-1493 2014/05

[工学基礎領域]

氏名 著者名 タイトル 掲載誌名 巻号頁 出版年/月 備考

1.4 大学・研究所等紀要

[機械工学領域]

氏名 著者名 タイトル 掲載誌名 巻号頁 出版年/月 備考

1. 伊藤吾朗, 渡壁尚仁, 関村玄弥, 小塚健司, 菅原篤史, 大和田祐輝, 車田亮, 波多野雄治 トリチウムオートラジオグラフィによる金属材料中の水素の挙動解析 共同研究成果報告書
,, pp.10-11 2014/04

[物質工学領域]

氏名 著者名 タイトル 掲載誌名 巻号頁 出版年/月 備考

1. 西 剛史, 荒井 康夫, 高野 公秀, 倉田 正輝 Property Database of TRU Nitride
Fuel JAEA-Data/Code 2014-001,, 2014

[電気電子工学領域]

[メディア通信工学領域]

[情報工学領域]

[都市システム工学領域]

1. 阪 絵梨子, 森井俊広, 小林 薫, 松元和伸 土のキャピラリーバリア機能を利用した
試験的な盛土式廃棄物貯蔵施設のフィールド条件下での性能 新潟大学農学部研究報告
66, 2 pp.155-161 2014/04

[知能システム工学領域]

[工学基礎領域]

氏名	著者名	タイトル	掲載誌名	巻号頁	出版年/月	備考
1.	村上雄太郎, 今井昭夫	現代ベトナム語における漢越語の研究 (6)	日本人学習者から見た漢越語の声調とその用法に関する諸問題	東京外大 東南アジア学 第 20 巻,	pp. 1-9	2015/03

1.5 総説・解説・報告等

[機械工学領域]

氏名	著者名	タイトル	掲載誌名	巻号頁	出版年/月	備考
1.	金野 満,	代替燃料エンジン	自動車技術年鑑	2014487,,	2014/07	
2.	増澤徹	退院できる補助人工心臓	日本機械学会誌	118, 1155, pp. 69-72	2015/02	
3.	尾関和秀, 青木秀希, 宇都宮宏子, 山田悦弘	歯科インプラントにおける有限要素解析法の応用について	バイオインテグレーション学会誌	5,, pp. 183-187	2015/09	

[物質工学領域]

氏名	著者名	タイトル	掲載誌名	巻号頁	出版年/月	備考
1.	小林政義, 田中伊知朗	中性子回折計の標準タンパク質結晶探索に向けた単斜晶リゾチームの X 線解析沈殿剤としたリゾチームタンパク質のヨウ素配位	Photon Factory Activity Report 2013 #31(2014) B	,, 458	2014/07	

[電気電子工学領域]

氏名	著者名	タイトル	掲載誌名	巻号頁	出版年/月	備考
1.	松村邦仁, 関東康祐, 田中伸厚, 三枝幹雄, 菊地賢司, 車田亮	茨城大学における原子力工学教育の取り組み	保全学	14, 2, pp. 14-20	2015/02	

[メディア通信工学領域]

氏名	著者名	タイトル	掲載誌名	巻号頁	出版年/月	備考
1.	野宮直人, 大山哲広, 杉田龍二	高保磁力積層媒体の磁化反転過程に及ぼす層厚比の影響	電子情報通信学会技術研究報告	,, MR2014-37 (pp. 53-57)	2014/12	

[情報工学領域]

氏名	著者名	タイトル	掲載誌名	巻号頁	出版年/月	備考
1.	大野 博	陽的 5 段 4 次 Runge-Kutta 法の解系について	第 13 回常微分方程式の数値解法とその周辺	,, pp. 55-65	2014/08	

[都市システム工学領域]

[知能システム工学領域]

- | 氏名 | 著者名 | タイトル | 掲載誌名 | 巻号頁 | 出版年/月 | 備考 |
|---------------------------------|-----|--|--|---------------------|------------------|---------|
| 1. 清水 淳 | | 切削加工によるテクスチャリング | トライボロジスト | 60, 3, pp. 177-183 | 2015/03 | |
| 2. 清水 淳 | | トライボロジー現象の古典分子動力学解析 | アンサンブル | 17, 1, pp. 7-13 | 2015/01 | |
| 3. 清水 淳 | | 分子動力学によるシリコンウエハ研削メカニズムの解析 | 精密工学会誌 | 80, 9, pp. 811-814 | 2014/09 | |
| 4. 周 立波, 清水 淳, 小貫哲平, 尾畷裕隆, 山本武幸 | | | 日本縦断研究室巡り「茨城大学 Nano-Engineering Laboratory (nLab)」 | レーザ協会誌 | 39, 1, pp. 33-35 | 2014/05 |
| 5. 小貫哲平, 清水淳, 山本武幸, 尾畷裕隆, 周立波 | | 脆性機能性材料 (ニオブ酸リチウム) のピコ秒レーザ微細加工技術 | レーザ加工学科誌 | 22, 2, pp. 1-6 | 2015/02 | |
| 6. 鈴木智也 | | 時空間決定論的テクニカル分析 | テクニカルアナリストジャーナル | 1, 1, | 2014 | |
| 7. 周立波, 清水淳, 小貫哲平, 尾畷裕隆, 山本武幸 | | | 日本縦断研究室巡り 茨城大学 Nano-Engineering Laboratory (nLab) | レーザ協会誌 | 39, 1, pp. 33-35 | 2014/05 |
| 8. 長山和亮 | | 細胞骨格・核のメカノトランスダクションとその解析技法: アクチンストレスファイバーから核への力の伝達 | 細胞工学 | 33, 09, pp. 922-927 | 2014/08 | |

[工学基礎領域]

- | 氏名 | 著者名 | タイトル | 掲載誌名 | 巻号頁 | 出版年/月 | 備考 |
|---------|-----|--------------------|---------------|--------------------|---------|----|
| 1. 小泉 智 | | 入門講座 原子炉における小角散乱装置 | 日本中性子科学会誌「波紋」 | 24, 2, pp. 141-150 | 2014/05 | |

1.6 その他

[機械工学領域]

- | 氏名 | 著者名 | タイトル | 掲載誌名 | 巻号頁 | 出版年/月 | 備考 |
|----|--|---|---|-----------------|---------|----|
| 1. | 稲垣照美, 松村邦仁, 李艶栄 | 茨城県北部地域における放射能汚染の地理的動態調査と環境影響評価 | 平成 25 年度 茨城大学復興支援プロジェクト調査報告書 | , , pp. 85-92 | 2014/07 | |
| 2. | 稲垣照美, 五島 裕, 遠藤進, 樫村英紀, 小川 悟, 西 康行, 李艶栄 | ホテルとペーパークラフト風車による地域環境形成のための啓蒙活動と教育教材の開発 | 平成 25 年度 茨城大学社会連携事業会支援事業 戦略的地域連携プロジェクト報告書 | , , pp. 48-51 | 2014/06 | |
| 3. | 伊藤吾朗 | 非鉄金属の熱処理と金属組織 | 平成 26 年度茨城大学社会公開セミナー実践産業技術持論テキスト | , , pp. 3-20 | 2014/10 | |
| 4. | 松田健一, 宮嶋 要, 近藤 良 | 磁気軸受の新しい制御方法の提案 | 第 23 回 MAGDA コンファレンス講演論文集 | , , pp. 137-140 | 2014/12 | |
| 5. | 加藤正寛, 松田健一, 岡田養二, 近藤 良, 増澤 徹 | ホモポーラ型ハイブリット 5 軸制御セルフベアリングモータの開発 | 第 23 回 MAGDA コンファレンス講演論文集 | , , pp. 119-122 | 2014/12 | |
| 6. | 岡田養二, 松田健一, 近藤 良 | 歩行補助用高トルク偏平モータの計算例 | 第 26 回「電磁力関連のダイナミクス」講演会講演論文集 | , , pp. 307-310 | 2014/05 | |

[物質工学領域]

[電気電子工学領域]

[メディア通信工学領域]

[情報工学領域]

- | 氏名 | 著者名 | タイトル | 掲載誌名 | 巻号頁 | 出版年/月 | 備考 |
|----|------|--|---|----------------|---------|----|
| 1. | 外岡秀行 | ASTER 雲量推定に関する研究 | 平成 26 年度委託事業 石油資源遠隔探知技術の研究開発報告書, (独)産業技術総合研究所 | , , 2-pp. 1-10 | 2015 | |
| 2. | 外岡秀行 | ASTER 熱赤外バンドの代替校正に関する研究 | 平成 26 年度委託事業 石油資源遠隔探知技術の研究開発報告書, (独)産業技術総合研究所 | , , 2-pp. 1-14 | 2015 | |
| 3. | 外岡秀行 | 平成 26 年度 地球観測用小型赤外カメラ (CIRC) 校正検証 (霞ヶ浦実験) | 委託研究報告書, JX-PSPC-403740, (独)宇宙航空研究開発機構 | , , pp. 1-28 | 2015/03 | |
| 4. | 外岡秀行 | (一社)日本リモートセンシング学会 地球観測利用戦略コミュニティからの地球観測衛星に係る提言および持続的な活動のための組織・制度設計検討 | 委託研究成果報告書, (一財)リモート・センシング技術センター | , , pp. 1-45 | 2015/02 | |

5. 外岡秀行 ASTER 雲量推定に関する研究 平成 25 年度委託事業 石油資源遠隔探知技術の研究開発報告書, (独)産業技術総合研究所 , , 2-pp. 1-10 2014
6. 外岡秀行 ASTER データを用いた広域分光放射率マップの作成 平成 25 年度委託事業 石油資源遠隔探知技術の研究開発報告書, (独)産業技術総合研究所 , , 3-pp. 1-7 2014
7. 外岡秀行 ASTER 熱赤外バンドの代替校正に関する研究 平成 25 年度委託事業 石油資源遠隔探知技術の研究開発報告書, (独)産業技術総合研究所 , , 2-pp. 1-11 2014
8. 佐々木 圭佑, 黒澤 馨 Garbled searchable symmetric encryption 方式の計算機シミュレーション 電子情報通信学会 信学技報 ISEC2014, 51, pp. 27-34 2014/09

[都市システム工学領域]

- | 氏名 | 業績種別 | 研究業績名 | 研究開始年/月 | 研究終了年/月 |
|----------|-------------|--|----------------------------------|---------|
| 1. 熊澤 貴之 | 芸術活動・建築作品等 | 「市民会館から始まる芸術文化創造」展の開催 | 2014/09 | 2014/10 |
| 2. 熊澤 貴之 | フィールドワーク | 市民会館を考える連続ワークショップの開催及び実施 | 2014/08 | 2014/10 |
| 3. 一ノ瀬 彩 | 芸術活動・建築作品等 | 水辺のマルシェ:なわてざぶとんインスタレーション・ワークショップ | 2014/04 | 2014/05 |
| 4. 一ノ瀬 彩 | 芸術活動・建築作品等 | 工芸の五月 2014 : 井戸端プリント・旅行社みずのさんぽ | 2013/10 | 2014/05 |
| 5. 一ノ瀬 彩 | クリエイティブユニット | SAVA PLANPOT DESIGN WORKS まちづくり体験型イベント作成ゲーム ザ・クリエイティブセンター media project Untenor 作品(カードゲーム) | 2014/07 | |
| 6. 平田 輝満 | 新聞 | 東京新聞 | 2015/03 | |
| 7. 平田 輝満 | 新聞 | 毎日新聞朝刊 | 2015/03 | |
| 8. 平田 輝満 | テレビ | NHK 茨城県のニュース 水戸放送局 | 2014/07 | |
| 9. 平田 輝満 | 雑誌 | 週刊東洋経済 | 2014/05/03・10 日合併号(2014/4/28 発売) | 2014/04 |

[知能システム工学領域]

[工学基礎領域]

- | 氏名 | 審議会・委員会等名/役割 | 依頼者名 | 年度 |
|---------|--|------|------|
| 1. 小泉 智 | Julich Research Center (Germany) Guest Scientist | | 2014 |

1.7 知的財産権

[機械工学領域]

氏名 名称 種別・番号 年/月

1. 増澤 徹 陰圧発生防止機構及びその陰圧発生防止機構を備えた容積ポンプ 出願番号: 特願 2014-159157 (特許) 2014/08
2. 増澤 徹 生体組織接着用柔軟性金属箔テープ及びその接着方法 登録(特許)番号: 5636857 (特許) 2014/10
3. 増澤 徹 アキシナル型磁気浮上モータおよびアキシナル型磁気浮上モータを備えたアキシナル型磁気浮上遠心ポンプ 登録(特許)番号: 特許第 5590520 号 (特許) 2014/08
4. 増澤 徹 生体組織と人工物の接着装置, ステント 登録(特許)番号: 5543435 (特許) 2014/05
5. 増澤 徹 遠心型の補助人工心臓を用いた体内発電装置 登録(特許)番号: 第 5509436 号 (特許) 2014/04
6. 松田 健一 磁気軸受 出願番号: 特願 2014-105356 (特許) 2014/05

[物質工学領域]

氏名 名称 種別・番号 年/月

1. 久保田 俊夫 縮合多環芳香族を有するポリマー及びそれを用いた発光素子と電極 出願番号: 特願 2014-219812 (特許) 2014/10
2. 篠嶋 妥 超低抵抗率銅配線を有する半導体集積回路装置 出願番号: 特願 2015-38589 (特許) 2015/02
3. 五十嵐 淑郎 レアメタル吸着剤 公開番号: 公開 2015-058383 (特許) 2015/03
4. 五十嵐 淑郎 金の捕集材および分離回収方法 登録(特許)番号: 特許登録 5703514 (特許) 2015/03
5. 五十嵐 淑郎 高原子価金属イオンの捕集・検出剤 登録(特許)番号: 特許登録 5610410 (特許) 2014/09
6. 五十嵐 淑郎 化学発光反応の時間計測により被検出物質の濃度を測定する方法およびそれに使用するキット 登録(特許)番号: 特許登録 5582745 (特許) 2014/07
7. 五十嵐 淑郎 臭素酸イオンの測定方法および装置 (国際出願) 登録(特許)番号: US 特許登録 8, 778, 691 (特許) 2014/07
8. 阿部修実, 坂根嘉純 複合酸化物粉末の製造方法 登録(特許)番号: 特許登録 5462639 (特許) 2014/09

[電気電子工学領域]

氏名 名称 種別・番号 年/月

1. 栗原 和美 リラクタンス発電機 登録(特許)番号: 5594660 (特許) 2014/08
2. 鈴木 健仁 偏波変換器 出願番号: 特願 2015- 35651 (特許) 2015/02

3. 鈴木 健仁 シート型メタマテリアル 出願番号:特願 2015- 16116 (特許) 2015/01
4. 鈴木 健仁 金属スリットアレー 出願番号:特願 2014-174289 (特許) 2014/08
5. 鈴木 健仁 ワイヤーグリッド装置 出願番号:特願 2014-170354 (特許) 2014/08
6. 鈴木 健仁 メタルプレートレンズ 公開番号:特開 2014-179876 (特許) 2014/09
7. 鈴木 健仁 メタマテリアル 公開番号:特開 2014-160947 (特許) 2014/09
8. 鈴木 健仁 ワイヤーグリッド装置 登録(特許)番号:特許第 5626740 号 (特許)
2014/10
9. 鈴木 健仁 テラヘルツ電磁波発生装置 登録(特許)番号:特許第 5517127 号 (特許)
2014/04

[メディア通信工学領域]

[情報工学領域]

[都市システム工学領域]

- | 氏名 | 名称 | 種別・番号 | 年/月 |
|---------------------------|-----------------------|--------------------------|---------|
| 1. 藤田 昌史 | 配水管の老朽化判定方法 | 公開番号:特開 2014-106146 (特許) | 2014 |
| 2. 藤田 昌史 | 海水を利用した下排水処理方法 | 公開番号:特開 2014-91099 (特許) | 2014 |
| 3. 小林 薫, 松元和伸, 森井俊広, 中房 悟 | キャピラリー多層地盤における集排水制御構造 | 公開番号:特開 2014-61466 (特許) | 2014/04 |

[知能システム工学領域]

- | 氏名 | 名称 | 種別・番号 | 年/月 |
|---------|--------|-----------------------------|---------|
| 1. 森 善一 | 介助用移乗器 | 登録(特許)番号:特許第 5588271 号 (特許) | 2014/08 |

[工学基礎領域]

- | 氏名 | 名称 | 種別・番号 | 年/月 |
|----------|------------------|--------------------------|---------|
| 1. 菊地 賢司 | 汚染土壌又は汚染焼却灰の除染方法 | 公開番号:特開 2014-142311 (特許) | 2014/08 |

1.8 受賞・表彰

[機械工学領域]

氏名	共同受賞・表彰者名	受賞・表彰名称	授与機関名	受賞年/月
1. 稲垣 照美		Doctor's Professor of the year	茨城大学	2014/07
2. 稲垣 照美		Master's Professor of the year	茨城大学	2014/07
3. 堀辺 忠志	櫻井航太, 佐藤剛, 森孝太郎	2014年茨城講演会優秀講演発表賞, 論文名「表面硬化層を有するはりの塑性崩壊荷重解析」	日本機械学会関東支部茨城ブロック	2014/10

[物質工学領域]

1. 峠睦, 長野拓義, 田川智彦, 坂本武司, 横井裕之, 岩本知広, 渡邊純二	2014年度精密工学会論文賞 公益社団法人精密工学会	2015/03
2. 西 剛史	平成26年度 科学技術分野の文部科学大臣表彰 若手科学者賞	2014
3. 西 剛史	第47回 日本原子力学会賞 論文賞	2015

[電気電子工学領域]

氏名	共同受賞・表彰者名	受賞・表彰名称	授与機関名	受賞年/月
1. 石井慶祐, 大竹秀明, 大坪翼, 鶴殿治彦		第22回電気学会茨城支所 学生発表優秀賞ポスター発表(指導学生)	電気学会東京支部茨城支所	2014/11
2. 大坪翼, 大竹秀明, 鶴殿治彦		第22回電気学会茨城支所 学生発表優秀賞口頭発表(指導学生)	電気学会東京支部茨城支所	2014/11
3. 堀信彦, 江坂文孝, 鶴殿治彦		第75回応用物理学会秋季学術講演会 講演奨励賞(指導学生)	応用物理学会	2014/09
4. N. Hori, S. Hasunuma, F. Esaka, H. Udono		Young Scientist Award (ICSS-Silicide 2014)	Committee of ICSS-Silicide 2014, JSAP	2014/07
5. 三枝幹雄・森山伸一・小山岳・小林貴之・杉山直弥・松原史明・滝井啓太		平成25年度 JT-60 共同研究優秀賞 日本原子力研究開発機構		2014/10

[メディア通信工学領域]

[情報工学領域]

氏名	共同受賞・表彰者名	受賞・表彰名称	授与機関名	受賞年/月
1. 澁澤 進		Doctor's Professor of the Year	茨城大学	2014/07

[都市システム工学領域]

氏名	共同受賞・表彰者名	受賞・表彰名称	授与機関名	受賞年/月
1. 村上 哲		平成26年度ひたちなか市功労賞	ひたちなか市	2015/03

2. 車谷 麻緒 平成 26 年度 茨城大学学長学術表彰 奨励賞 茨城大学 2014/11
3. 車谷 麻緒 平成 25 年度 日本計算工学会 論文賞 2014/05

[知能システム工学領域]

- | 氏名 | 共同受賞・表彰者名 | 受賞・表彰名称 | 授与機関名 | 受賞年/月 |
|-------------------|-----------|--|-------|---------|
| 1. Masatomo Inui, | | Best Paper Award, The 15th International Conference on Precision Engineering | | 2014/07 |

[工学基礎領域]

2. 外部獲得資金

2.1 競争的資金（科学研究費補助金等）

[機械工学領域]

氏名	資金名	研究課題	研究経費	研究開始年/月	研究終了年/月
1. 伊藤 伸英	科研費 ()	手・頭・心を融合させた児童のための工学的グループものづくりシステムの構築 ()	3000000	2014/04	2016/03
2. 伊藤 伸英	科研費以外 (研究成果最適展開支援プログラム ハイリスク挑戦タイプ)	カーボン素材切断用砥石仕様の最適化による歩留まり向上 ()	2000000	2013/10	2015/03
3. 稲垣 照美	科研費以外 (茨城大学 平成 26 年度茨城大学地域復興プロジェクト)	茨城県北部地域における放射能汚染の地理的動態調査と環境影響評価 (代表)	300000	2014/07	2015/03
4. 稲垣 照美	科研費以外 (JST JST プログラム A-STEP ハイリスク挑戦タイプ (復興促進型))	既設管路や開水路の超低落差を利用した可搬型の超小型軸流水車の開発 (分担)	19500000	2014/02	2015/03
5. 稲垣 照美	科研費以外 (茨城大学 平成 25 年度茨城大学戦略的地域連携プロジェクト)	ホテルとペーパークラフト風車による地域環境形成のための啓蒙活動と教育教材の開発 (代表)	423000	2013/06	2015/03
6. 金野 満	科研費以外 (AICE)	(AICE)エンジン実機による EGR デポジット生成要因解析 (代表)	6383199	2014/04	2015/03
7. 金野 満	科研費以外 (SIP) (JST)急速圧縮装置による実ノック条件を想定したガソリンの着火特性 ()		19072000	2014/10	2015/03
8. 金野 満	科研費以外 (SIP) (JST)高オクタン価改質燃料による希薄予混合気の燃焼改善 (代表)		52103600	2014/10	2015/03
9. 金野 満	科研費 (基盤研究(C)一般)	石油代替合成燃料としてのジメチルエーテルの利用技術に関する基礎研究 (代表)	4200000	2012/04	2015/03
10. 増澤 徹	科研費以外 (公益財団法人NSKメカトロニクス技術高度化財団 メカトロニクス技術高度化「研究助成」(2013年度事業分))	世界初・世界最小の連続流ポンプ全置換型磁気浮上人工心臓の研究開発 (代表)	1990000	2014/04	2016/03
11. 増澤 徹	科研費以外 (独立行政法人科学技術振興機構 平成 26 年度第 2 回独立行政法人科学技術振興機構研究成果最適展開支援事業 (A-STEP) [フィージビリティスタディ])	冠動脈バイパス手術支援用血管吻合デバイスの研究開発 (代表)	1700000	2014/04	2015/03
12. 増澤 徹	科研費 (基盤研究(C)一般)	磁気ビーズと集積化磁気センサを利用した細胞観測・順送り運搬システムに関する研究 (分担)	1990000	2013/07	2015/03

13. 堀辺 忠志 科研費以外（新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO) 太陽光発電多用途化可能性検討事業) 洪水対策特殊架台の設計及び施行方法の検討 (分担) 3209000
2013/11 2014/11
14. 松田 健一 科研費（基盤研究(C)一般) 両心補助人工心臓用小型・高性能5軸制御セルフベアリングモータに関する研究 (代表) 4290000 2013/04 2016/03
15. 車田 亮 科研費以外（JX日鉱日石エネルギー(株) 中央技術研究所 共同研究) 水素ステーション高圧水素容器用アルミニウム合金の疲労に係る材料解析 (分担) 1050000 2014/04 2015/03
16. 山崎 和彦 科研費以外（財団) 銅マイクロ粒子トナーの開発とそのレーザ焼結特性の評価 (代表) 1000000 2014/02 2017/03
17. 西 泰行 科研費以外（篠田株式会社 国内共同研究費) 新型小水力発電の研究 (2) (分担) 210000 2014/10 2015/09
18. 西 泰行 科研費以外（株式会社茨城製作所 国内共同研究費) 集水装置を有する軸流水車に関する研究 (代表) 210000 2014/10 2015/09
19. 西 泰行 科研費以外（株式会社茨城製作所 国内共同研究費) 超小型軸流水車に関する研究 (代表) 210000 2014/06 2015/05
20. 西 泰行 科研費以外（独立行政法人科学技術振興機構 A-STEP ハイリスク挑戦タイプ (復興促進型)) 既設管路や開水路の超低落差を利用した可搬型の超小型軸流水車の開発 (代表) 9745000 2014/04 2015/03
21. 西 泰行 科研費以外（吉田精工株式会社 国内共同研究費) 新型歯科用エアタービンの開発に関する研究 (代表) 315000 2014/04 2015/03
22. 西 泰行 科研費以外（篠田株式会社 国内共同研究費) 新型小水力発電の研究 (分担) 1300000 2013/11 2014/09
23. 西 泰行 科研費以外（株式会社茨城製作所 国内共同研究費) 集水装置を有する軸流水車に関する研究 (代表) 210000 2013/11 2014/09
24. 西 泰行 科研費以外（株式会社茨城製作所 国内共同研究費) 超小型水車に関する研究 (代表) 105000 2013/06 2014/05
25. 西 泰行 科研費以外（株式会社茨城製作所 国内共同研究費) 新型水車に関する研究 (代表) 105000 2013/06 2014/05
26. 西 泰行 科研費以外（株式会社茨城製作所 国内共同研究費) 小型水車の研究開発 (代表) 105000 2013/06 2014/05
27. 西 泰行 科研費（若手研究(B)) 汚水用一枚羽根遠心ポンプの複雑非定常内部流動と異物閉塞機構の解明 (代表) 4810000 2012/04 2015/03

[物質工学領域]

- | 氏名 | 資金名 | 研究課題 | 研究経費 | 研究開始年/月 | 研究終了年/月 |
|----------|-----------|---|---------|---------|---------|
| 1. 太田 弘道 | 科研費（萌芽研究) | 倒置・超短時間レーザーフラッシュ法による放射性物質固化用ガラス融体の熱伝導率の研究 () | 3900000 | 2012/04 | 2015/03 |

- | | | | | | |
|-----------|-----------------|--|---------|---------|---------|
| 2. 五十嵐 淑郎 | 科研費 (萌芽研究) | 新しい時間計測—化学発光反応の創出と小型分析装置の試作 (代表) | 4030000 | 2013/05 | 2015/03 |
| 3. 鈴木 徹也 | 科研費 (基盤研究(C)一般) | レーザー加熱による耐酸化表面処理法の開発 (代表) | 3300000 | 2012/04 | 2015/03 |
| 4. 山内 智 | 科研費 (萌芽研究) | 糖結晶THzエミッターの開発 (代表) | 4030000 | 2012/04 | 2015/03 |
| 5. 木村 成伸 | 科研費 (萌芽研究) | シアノバクテリアを利用した膜タンパク質大量生産系の構築 (代表) | 3000000 | 2013/04 | 2016/03 |
| 6. 北野 誉 | 科研費 (基盤研究(A)一般) | 霊長類ゲノムをモデルとした塩基配列進化の総合的研究 (分担) | 1000000 | 2014/04 | 2018/03 |
| 7. 北野 誉 | 科研費 (その他) | ひらめき☆ときめきサイエンス ～ようこそ大学の研究室へ～ (代表) | 403000 | 2014/04 | 2015/03 |
| 8. 田代 優 | 科研費 (基盤研究(C)一般) | 高温動作パワー半導体実装用アルミ銅合金ワイヤボンディングプロセスの開発 (代表) | 5460000 | 2012/04 | 2015/03 |
| 9. 岩瀬 謙二 | 科研費 (若手研究(B)) | その場観察中性子小角散乱による水素貯蔵材料のナノ構造の解析 (代表) | 4290000 | 2013/04 | 2016/03 |

[電気電子工学領域]

- | 氏名 | 資金名 | 研究課題 | 研究経費 | 研究開始年/月 | 研究終了年/月 |
|----------|---------------------------|---|----------|---------|---------|
| 1. 栗原 和美 | 科研費 (基盤研究(C)一般) | インバータを使用しないプレミアム効率単相永久磁石モータの最適設計 (代表) | 3900000 | 2013/04 | 2016/03 |
| 2. 池畑 隆 | 科研費 (基盤研究(C)一般) | プラズマアシストによる熱電半導体Mg ₂ Si薄膜合成の低温化 (代表) | 910000 | 2013/04 | 2016/03 |
| 3. 和田 達明 | 科研費 (基盤研究(C)一般) | κ -統計力学における情報幾何構造の解明 (代表) | 3800000 | 2013/04 | 2016/03 |
| 4. 宮嶋 照行 | 科研費 (基盤研究(C)一般) | 少数のパイロット信号を用いる時変スパース通信路推定法の開発 (代表) | 2000000 | 2014/04 | 2017/03 |
| 5. 鶴殿 治彦 | 科研費以外 (科学技術振興機構 JST-ALCA) | 14族元素による環境調和型クラスレート太陽電池の開発 (分担) | 21170000 | 2011/10 | 2017/03 |
| 6. 鶴殿 治彦 | 科研費 (基盤研究(B)一般) | 温度変調によるシリサイドナノバルク結晶創成と熱電応用 (代表) | 4940000 | 2013/04 | 2016/03 |
| 7. 島影 尚 | 科研費 (基盤研究(B)一般) | 極限的微小加工技術による高速化・高効率化を目指したナノアンテナ結合型赤外検出器 (分担) | 2840000 | 2012/04 | 2015/03 |
| 8. 横田 浩久 | 科研費 (基盤研究(C)一般) | 空孔径制御を用いた偏波保持フォトニック結晶ファイバデバイス作製とその応用 (代表) | 4100000 | 2012/04 | 2015/03 |
| 9. 鈴木 健仁 | 科研費 () | リアルタイムテラヘルツナノイメージングのためのゼロ近傍屈折率メタマテリアルの研究 (代表) | 24050000 | 2014/03 | 2018/03 |

10. 鈴木 健仁 科研費 () -60dB 高消光比・90%高透過率・堅牢・低コストなテラヘルツワイヤーグリッド (代表) 4160000 2014/04 2017/03
11. 鈴木 健仁 科研費以外 (国際科学技術財団) メタマテリアルによるゼロ近傍屈折率素子を用いたテラヘルツ波面制御 (代表) 1000000 2014/04 2015/03
12. 鈴木 健仁 科研費以外 (総務省 SCOPE 若手 ICT 研究者等育成型研究開発) テラヘルツ波高機能制御のための電磁メタマテリアルによる人工誘電体レンズを実装した高感度放射検出素子の研究開発 (代表) 21450000 2012/09 2015/03
13. 鈴木 健仁 科研費以外 (福井大学遠赤外領域開発研究センター) テラヘルツ波光伝導アンテナの高効率化の研究 (代表) 114000 2014/04 2015/03
14. 鈴木 健仁 科研費以外 (大阪大学レーザーエネルギー学研究センター共同利用・共同研究) サブ波長金属構造によるテラヘルツ表面波伝搬制御 (代表) 130000 2014/04 2015/03
15. 田中 正志 科研費 (基盤研究(C)一般) リチウムイオン二次電池の劣化モードを考慮した非破壊の劣化評価・寿命推定手法の確立 (分担) 900000 2013/04 2016/03

[メディア通信工学領域]

- | 氏名 | 資金名 | 研究課題 | 研究経費 | 研究開始年/月 | 研究終了年/月 |
|-----------|----------------------------------|---|----------|---------|---------|
| 1. 杉田 龍二 | 科研費 (基盤研究(C)一般) | エネルギーアシスト記録及び瓦記録方式ハードディスク対応超高速サーボ信号転写の研究 (代表) | 5460000 | 2012/04 | 2015/03 |
| 2. 梅比良 正弘 | 科研費 (基盤研究(C)一般) | 高精度スペクトラム利用率測定によるホワイトスペース推定法の研究 (代表) | 4000000 | 2013/04 | 2016/03 |
| 3. 山田 光宏 | 科研費 (萌芽研究) | カオス性の異なる $1/f$ ゆらぎの感性評価と発生手法の開発 (代表) | 800000 | 2013/04 | 2015/03 |
| 4. 鶴野 克宏 | 科研費 (萌芽研究) | レーザースペックルを用いた視覚復号型秘密分散暗号法の開発研究 (代表) | 3000000 | 2014/05 | 2016/03 |
| 5. 中村 真毅 | 科研費 (基盤研究(C)一般) | 省エネ型高出力超短パルスレーザーの開発とスーパーコンティニウムの発生 (代表) | 3900000 | 2013/04 | 2016/03 |
| 6. 小峰 啓史 | 科研費 (基盤研究(C)一般) | 超高記録密度積層構造ナノワイヤメモリの低電流・高速動作に関する研究 (代表) | 4000000 | 2013/04 | 2016/03 |
| 7. 小峰 啓史 | 科研費 (基盤研究(C)一般) | エネルギーアシスト記録及び瓦記録方式ハードディスク対応超高速サーボ信号転写の研究 (分担) | 5000000 | 2012/04 | 2015/03 |
| 8. 小峰 啓史 | 科研費以外 (NEDO 平成 23 年度先導的産業技術創出事業) | 超高効率 1次元量子ナノワイヤー熱電変換素子の開発 (分担) | 10000000 | 2011/10 | 2015/09 |

[情報工学領域]

- | 氏名 | 資金名 | 研究課題 | 研究経費 | 研究開始年/月 | 研究終了年/月 |
|----------|-----------------|---------------------------------------|---------|---------|---------|
| 1. 澁澤 進 | 科研費 (基盤研究(C)一般) | センサネットワークと知識ベースを用いた高齢者見守りシステムの研究 (代表) | 4810000 | 2012/04 | 2015/03 |
| 2. 羽渕 裕真 | 科研費 (基盤研究(C)一般) | ITS のための光/電波融合型通信の高度化 (代 | | | |

- 表) 4300000 2012/04 2015/03
3. 羽瀧 裕真 科研費(基盤研究(C)一般) I T Sのための光/電波融合型通信の高度化()
5460000 2012/04 2015/03
4. 鎌田 賢 科研費(萌芽研究) 地盤中の水の挙動の調査を格段に進展できるワイヤレスマルチセンサの開発への挑戦(分担) 4915000 2014/04 2017/03
5. 鎌田 賢 科研費(基盤研究(C)一般) 可変張力つき2変数スプラインの導出とその画像補間への応用(代表) 1700000 2014/04 2017/03
6. 新納 浩幸 科研費(基盤研究(C)一般) 外れ値検出手法からの重み設定による共変量シフト下における語義曖昧性解消の領域適応() 4680000 2014/04 2017/03
7. 黒澤 馨 科研費(基盤研究(C)一般) 秘密鍵の漏洩に対し安全な公開鍵暗号系に関する研究(代表) 4000000 2012/04 2015/03
8. 藤芳 明生 科研費(基盤研究(B)一般) 文字認知が困難な児童生徒の能動的読書を可能にするマルチモーダル教科書の開発と評価(代表) 13000000 2014/04 2018/03
9. 藤芳 明生 科研費(基盤研究(A)一般) 理数系をはじめとするデジタル教科書をバリアフリー化するシステムの研究(分担) 2000000 2013/04 2018/03
10. 石田 智行 科研費以外(COC地域課題解決型特定研究プロジェクト) 地域再生・地域創生を目的とした産官学民協働型『街ビジョン』(代表) 200000 2014/11 2015/03

[都市システム工学領域]

- | 氏名 | 資金名 | 研究課題 | 研究経費 | 研究開始年/月 | 研究終了年/月 |
|----------|-------------------------|---|----------|---------|---------|
| 1. 金 利昭 | 科研費(基盤研究(B)一般) | 多様化するパーソナルモビリティの共存性評価システムの開発と道路・エリアマネジメント(代表) | 10000000 | 2012/04 | 2015/03 |
| 2. 小峯 秀雄 | 科研費(基盤研究(B)一般) | 地層処分・余裕深度処分のためのベントナイト緩衝材の水分拡散係数データベースの構築(代表) | 13100000 | 2012/04 | 2016/03 |
| 3. 原田 隆郎 | 科研費(基盤研究(C)一般) | 生体情報による横断歩道橋の振動使用性評価システムの開発(代表) | 3900000 | 2013/04 | 2016/03 |
| 4. 原田 隆郎 | 科研費以外(NEXCO東日本 技術研究助成) | 生体脈波を利用した高速道路の走行安全性評価システムの開発() | 1650000 | 2013/12 | 2014/12 |
| 5. 信岡 尚道 | 科研費(基盤研究(C)一般) | 不確実性を考慮した確率的沿岸浸水リスクの時空間評価手法開発と評価結果の活用法(代表) | 3800000 | 2013/05 | 2017/03 |
| 6. 藤田 昌史 | 科研費以外(イノベーション研究推進プログラム) | 微生物燃料電池を用いた創エネ型排水処理手法の開発(代表) | 500000 | 2014/12 | 2016/03 |
| 7. 藤田 昌史 | 科研費(基盤研究(C)一般) | 海水を利用した生物学的排水処理手法の開発(代表) | 3900000 | 2012/04 | 2015/03 |
| 8. 車谷 麻緒 | 科研費(基盤研究(A)一般) | 遡上津波と構造物の相互作用評価のためのマルチスケール数値実験(分担) | 1100000 | 2013/04 | 2016/03 |
| 9. 小林 薫 | 科研費(基盤研究(C)一般) | 扁平な破砕貝殻の水理学特性の解明と貝殻を再利用したキャピラリーバリア地盤の開発(代表) | 3900000 | 2013/04 | 2016/03 |

10. 小林 薫 科研費（基盤研究(A)一般）キャピラリー・バリア盛土による放射性廃棄物・汚染物質の長期貯蔵保管工法の提案（分担） 830000 2013/04 2016/03
11. 平田 輝満 科研費以外（国土交通省 国土交通省・交通運輸技術開発推進制度）航空機の到着管理システムに関する研究（分担） 402948 2014/05 2016/03
12. 平田 輝満 科研費（基盤研究(B)一般）広域災害時の救援救助活動を支える空港運用最適化モデルの開発と効果的運用方策の検討（分担） 12700000 2013/04 2016/03
13. 平田 輝満 科研費（基盤研究(B)一般）統合型 GHG 排出量推計モデルによるアジアにおける気候変動適応型国際航空政策の評価（代表） 8000000 2013/04 2016/03

[知能システム工学領域]

- | 氏名 | 資金名 | 研究課題 | 研究経費 | 研究開始年/月 | 研究終了年/月 |
|-----------|---|---|----------|---------|---------|
| 1. 乾 正知 | 科研費（基盤研究(C)一般） | 基本形状配置による機械部品の製造性・安全性などの高速化評価（代表） | 4000000 | 2013/04 | 2016/03 |
| 2. 清水 淳 | 科研費（基盤研究(C)一般） | ピコ秒レーザによる単結晶ダイヤモンド工具刃先成形とテクスチャリングによる長寿命化（分担） | 5200000 | 2013/04 | 2016/03 |
| 3. 周 立波 | 科研費（基盤研究(C)一般） | ピコ秒レーザによる単結晶ダイヤモンド工具刃先成形とテクスチャリングによる長寿命化（分担） | 5200000 | 2013/04 | 2016/03 |
| 4. 森 善一 | 科研費（基盤研究(C)一般） | 一般トイレ利用可能・車いすに常備できる折りたたみ移乗器の開発 平成 26 年～平成 28 年 科学研究費補助金 基盤研究(C)（代表） | 4940000 | 2014/04 | 2016/03 |
| 5. 中村 雅史 | 科研費（基盤研究(C)一般） | ナノ傾斜構造化複合表面改質によるドライ摺動アルミニウム合金の開発（代表） | 4000000 | 2013/04 | 2016/03 |
| 6. 鈴木 智也 | 科研費（基盤研究(C)一般） | 背景ダイナミクスを重視する非線形時系列解析と金融工学への応用（） | 4500000 | 2013/06 | 2016/03 |
| 7. 小貫 哲平 | 科研費（基盤研究(C)一般） | ピコ秒レーザによる単結晶ダイヤモンド工具刃先成形とテクスチャリングによる長寿命化（分担） | 5200000 | 2013/04 | 2016/03 |
| 8. 小貫 哲平 | 科研費（若手研究(A)） | 2次元同時分光イメージング計測による大径極薄$10 \cdot m$ウェハ機上全面厚さ計測技術（代表） | 21970000 | 2013/04 | 2016/03 |
| 9. 小貫 哲平 | 科研費以外（NSFC（National Science Foundation China） | Joint research fund for overseas Chinese scholars and scholars in HongKong and Macao (no. 51228501)) High Efficiency Defect-free Fabrication of Soft-brittle Material by Use of Chemo-Mechanical Grinding（分担） | 12600000 | 2013/01 | 2014/12 |
| 10. 岩崎 唯史 | 科研費以外（戦略的創造研究推進事業 CREST） | 神経系まるごとの観測データに基づく神経回路の動作特性の解明（分担） | 45000000 | 2012/10 | 2018/03 |
| 11. 梅津 信幸 | 科研費（基盤研究(C)一般） | 基本形状配置による機械部品の製造性・安全性などの高速な評価（分担） | 5200000 | 2013/04 | 2016/03 |
| 12. 尾畷 裕隆 | 科研費（若手研究(B)） | 高精細ステレオ三次元測定システムによるオンマシン 3D 砥石性状解析（代表） | 4420000 | 2012/04 | 2015/03 |

13. 長山 和亮 科研費 (萌芽研究) 細胞核内外の力学環境操作による細胞機能制御の試み (代表) 2800000 2014/04 2016/03
14. 長山 和亮 科研費 (特定領域研究 (公募)) 細胞運動の秩序を担う細胞接着斑・細胞骨格・核の力学的協調作用の解析 (代表) 7000000 2013/04 2015/03
15. 長山 和亮 科研費 (若手研究(A)) 細胞の力学応答機構解明のための細胞骨格～核膜～DNAの力学的相互作用の解析 () 20400000 2012/04 2016/03
16. 竹田 晃人 科研費 (若手研究(B)) 圧縮センシング理論の統計物理学的解析による解明 (代表) 4420000 2012/04 2015/03

[工学基礎領域]

- | 氏名 | 資金名 | 研究課題 | 研究経費 | 研究開始年/月 | 研究終了年/月 |
|-----------|-----------------|--|----------|---------|---------|
| 1. 高橋 東之 | 科研費 (基盤研究(C)一般) | 種々のリン酸塩とその複合化物におけるプロトン伝導機構の統一的モデルの構築 (代表) | 4200000 | 2013/04 | 2016/03 |
| 2. 村上 雄太郎 | 科研費 (基盤研究(C)一般) | 『日越辞典』編纂へ向けての基盤構築研究—漢越語の使用状況と意味分析 (代表) | 3600000 | 2013/04 | 2017/03 |
| 3. 岡 裕和 | 科研費 (基盤研究(C)一般) | 記憶項を伴う双曲型方程式の適切性に関する研究 (代表) | 3200000 | 2012/04 | 2015/03 |
| 4. 熊沢 紀之 | 科研費 (基盤研究(B)一般) | 東海村臨界事故を踏まえた福島原発事故後の環境対策とまちづくりに関する総合的研究 (代表) | 11440000 | 2013/04 | 2017/03 |
| 5. 植木 誠一郎 | 科研費 (若手研究(B)) | ベルグマン空間に作用するリーマン・スティルチェス型積分作用素の解析 (代表) | 1900000 | 2014/04 | 2017/03 |
| 6. 平澤 剛 | 科研費 (基盤研究(C)一般) | De Branges 空間論を用いた半閉作用素の位相解析的研究 (代表) | 3120000 | 2012/04 | 2015/03 |

2.2 民間等との共同研究・受託研究

[機械工学領域]

氏名	実施形態	共同・受託研究テーマ	代表区分	相手機関名	受入金額	研究開始年/月	研究終了年/月
1. 近藤 良	国内共同研究	磁気浮上系の制御に関する研究	代表			2014/04	2015/03
2. 稲垣 照美	国内共同研究	機能性流体に関する研究	代表	福島工業高等専門学校物質工学科		2015/03	2016/03
3. 稲垣 照美	国内共同研究	新型小水力発電の研究	代表	(株) 篠田・岐阜県		2015/03	2015/09
4. 稲垣 照美	国際共同研究	複雑環境の多相流と伝熱機構に関する研究	分担	大連理工大学		2014/04	2015/03
5. 稲垣 照美	国内共同研究	原子炉出力変動吸収機構の開発研究	代表	東京大学原子力専攻		2014/04	2015/03
6. 稲垣 照美	国内共同研究	原子炉出力変動吸収機構の開発研究	代表	東京大学原子力専攻		2014/04	2015/03
7. 稲垣 照美	国内共同研究	温調内臓型はんだこての開発	代表			2014/09	2015/03
8. 稲垣 照美	国内共同研究	超小型軸流水車	分担	(株) 茨城製作所		2014/06	2015/05
9. 稲垣 照美	国内共同研究	集水装置を有する軸流水車	分担	(株) 茨城製作所		2014/10	2015/09
10. 稲垣 照美	国内共同研究	温調内臓型半田ごての開発	代表	環境熱流体エネルギー工学実験室		2014/09	2015/03
11. 稲垣 照美	国内共同研究	JST プログラム A-STEP ハイリスク挑戦タイプ (復興促進型) 既設管路や開水路の超低落差を利用した可搬型の超小型軸流水車の開発	分担	茨城製作所		2014/04	2015/03
12. 稲垣 照美	国内共同研究	カーボンナノチューブ流体に関する研究	代表	福島工業高等専門学校		2013/12	2015/03
13. 稲垣 照美	国内共同研究	新型小水力発電の研究	代表	篠田株式会社環境事業部		2013/11	2014/09
14. 稲垣 照美	国内共同研究	IH ヒーター鍋温度の高精度制御に関する研究	代表	金澤工業株式会社		2013/07	2014/06
15. 稲垣 照美	国内共同研究	超小型水車に関する研究	分担	(株) 茨城製作所		2013/05	2014/05
16. 稲垣 照美	国内共同研究	新型水車に関する研究	分担	(株) 茨城製作所		2013/05	2014/05

17. 稲垣 照美 国内共同研究 小型水車の研究開発 分担 (株) 茨城製作所
2013/05 2014/05
18. 金野 満 その他 (JST)急速圧縮装置による実ノック条件を想定したガソリンの着火特
性 JST 2014/10 2015/03
19. 金野 満 その他 SIP 高オクタン価改質燃料による希薄予混合気の燃焼改善
代表 JST 2014/10 2015/03
20. 金野 満 出資金による受託研究 AICE エンジン実機による EGR デポジット生成
要因解析 代表 2014/04 2015/03
21. 金野 満 国内共同研究 ジメチルエーテル(DME)噴霧に関する研究 代表
2014/06 2015/05
22. 金野 満 国内共同研究 DME 噴霧に関する研究 代表 いすゞ中央研究所
2013/06 2014/05
23. 田中伸厚 国内共同研究 新素材傾斜材料による汚染のない超音波ホモジナイザーの開発
(2014/04~2016/03)
24. 田中 伸厚 国内共同研究 混練り効果の最適なスクリー形状の研究 代表
金澤工業 (株) (2013/10~2014/04)
25. 松田 健一 出資金による受託研究 高速ターボ機械用磁気軸受の開発
E5 棟 3F 機械工学実験室 C 2014/04 2015/03
26. 松村 邦仁 国内共同研究 LNGに関する研究 代表 2014/11 2015/03
27. 山崎 和彦 国内共同研究 高速レーザーめっき電気接点用端子の研究開発 代表
2014/12 2015/12
28. 山崎 和彦 国内共同研究 熱硬化性樹脂への銅マイクロ粒子レーザー焼結膜形成技術開
発 代表 2014/06 2015/05
29. 山崎 和彦 国内共同研究 光ファイバーへの金ナノ粒子レーザー焼結膜形成技術開発
代表 2014/06 2015/05
30. 山崎 和彦 国内共同研究 燃料電池用電極の研究 分担 2014/04 2015/03
31. 山崎 和彦 国内共同研究 高速レーザーめっきの実用化検証 代表
2013/12 2014/11
32. 山崎 和彦 国内共同研究 樹脂成形品のレーザートリミングに関する研究 分担
2012/10 2015/03
33. 西 泰行 国内共同研究 新型小水力発電の研究 (2) 分担 2014/10 2015/09
34. 西 泰行 国内共同研究 集水装置を有する軸流水車に関する研究 代表
2014/10 2015/09
35. 西 泰行 国内共同研究 超小型軸流水車に関する研究 代表 2014/06
2015/05
36. 西 泰行 国内共同研究 新型歯科用エアタービンの開発に関する研究 代表
2014/04 2015/03
37. 西 泰行 国内共同研究 新型小水力発電の研究 分担 2013/11 2014/09

38.	西 泰行	国内共同研究	集水装置を有する軸流水車に関する研究	代表		
					2013/11	2014/09
39.	西 泰行	国内共同研究	超小型水車に関する研究	代表	2013/06	2014/05
40.	西 泰行	国内共同研究	新型水車に関する研究	代表	2013/06	2014/05
41.	西 泰行	国内共同研究	小型水車の研究開発	代表	2013/06	2014/05

[物質工学領域]

氏名	実施形態	共同・受託研究テーマ	代表区分	相手機関名	受入金額	研究開始年/月	研究終了年/月
1. 太田 弘道	国内共同研究	物質・デバイス領域共同研究拠点		珪酸塩融体のネットワーク構造と熱物性	分担	2014/04	2015/04
2. 太田 弘道	国内共同研究	サポイン「平成26年度戦略的基盤技術高度化支援事業「欠陥を事前予測し実用性を高めたシミュレーションによる複雑一体部品の一気通貫製造法の開発」	分担			2013/10	2014/04
3. 太田 弘道	国内共同研究	物質・デバイス領域共同研究拠点		珪酸塩融体のネットワーク構造と熱物性	分担	2013/04	2014/04
4. 五十嵐 淑郎	国内共同研究	新規前処理材の作製と機能評価に関する研究	代表			2014/06	2015/03
		茨城大学工学部					
5. 山内 智	国内共同研究	大気中から水分を抽出する造水器に関する研究	代表	(有) ライフラボ		2014/04	2015/03
6. 田中 伊知朗	その他	茨城県中性子ビームラインの運転維持管理および利用者支援に関する事業	分担	茨城大学フロンティア応用原子科学研究センター		2014/04	2015/03
7. 田中 伊知朗	その他	茨城県中性子ビームラインの機器高度化に係る試験研究等に関する調査事業	分担	茨城大学フロンティア応用原子科学研究センター		2014/04	2015/03
8. 田中 伊知朗	その他	茨城県中性子ビームラインの特性を活かした中性子構造解析の先導的研究事業	分担	茨城大学フロンティア応用原子科学研究センター		2014/04	2015/03
9. 細谷孝明, 田中 伊知朗	国内共同研究	中性子検出器用高性能シンチレータに関する研究	分担	日本原子力研究開発機構		2014/04	2014/09
10. 阿部修実	国内共同研究	酸化亜鉛型避雷器用素子に関する実験的研究	代表	(株) 日立製作所		2014	
11. 阿部修実	国内共同研究	メカノケミカルプロセスを利用した高機能セラミックス粉末の合成	代表	北興化学工業(株)		2014	

[電気電子工学領域]

氏名	実施形態	共同・受託研究テーマ	代表区分	相手機関名	受入金額	研究開始年/月	研究終了年/月
1. 栗原 和美	企業からの受託研究	ACモータの性能向上の研究	代表			2014/04	2015/03

- | | | | | | | |
|----------|-----------|---|----|-----------|---------|---------|
| 2. 宮嶋 照行 | その他 | マルチバンド・マルチモード対応センサー無線通信基盤技術の研究開発 | 分担 | 総務省 | 2012/04 | 2015/03 |
| 3. 鶴殿 治彦 | 国内共同研究 | 簡易合成法を用いた π 型モジュール用シリサイド系熱電材料の開発 | 代表 | 株) 昭和 KDE | 2014/10 | 2016/03 |
| 4. 鶴殿 治彦 | 企業からの受託研究 | 量産連続型放電プラズマ焼結装置の開発 | 代表 | 株) 第一機電 | 2014/09 | 2015/05 |
| 5. 鶴殿 治彦 | 企業からの受託研究 | 省エネ型放電プラズマ焼結装置の開発 | 代表 | 株) 第一機電 | 2013/10 | 2014/05 |
| 6. 鶴殿 治彦 | 国内共同研究 | マグネシウムシリサイド結晶の合成法の開発 | 代表 | 株) 昭和 KDE | 2013/10 | 2014/09 |
| 7. 柳平 丈志 | 国内共同研究 | 高周波電源開発に関する研究 | 代表 | | 2013/05 | 2014/04 |
| 8. 横田 浩久 | 国内共同研究 | フォトリソグラフィ結晶ファイバデバイスの研究 | | | 2014/07 | 2017/03 |
| 9. 横田 浩久 | その他 | 大口径マルチモード光ファイバ・コネクタ及びその通信性能に関する国際標準化・普及基盤構築に関する調査研究 | 分担 | | 2014/07 | 2015/02 |

[メディア通信工学領域]

- | 氏名 | 実施形態 | 共同・受託研究テーマ | 代表区分 | 相手機関名 | 受入金額 | 研究開始年/月 | 研究終了年/月 | |
|-----------|------------|-------------------------------------|------|----------------------------------|------|---------|---------|---------|
| 1. 武田 茂樹 | | 医療現場で使用するセンサ無線 | 代表 | | | 2013/06 | 2014/05 | |
| 2. 武田 茂樹 | | 産業用無線電波伝搬 | 代表 | | | 2013/06 | 2014/05 | |
| 3. 梅比良 正弘 | 出資金による受託研究 | 電波資源拡大のための研究開発 | | マルチバンド・マルチモード対応センサー無線通信基盤技術の研究開発 | 分担 | 総務省 | 2014/04 | 2015/03 |
| 4. 梅比良 正弘 | 国内共同研究 | 密に展開された WLAN における干渉モニタリング・接続制御方式の研究 | 代表 | ジェイズ・コミュニケーション株式会社 | | 2013/04 | 2015/03 | |
| 5. 小峰 啓史 | 企業からの受託研究 | 磁性体関連シミュレーション III | 代表 | | | 2014/04 | 2015/03 | |
| 6. 小峰 啓史 | 企業からの受託研究 | 磁気メモリの研究 | 代表 | | | 2013/06 | 2014/09 | |

[情報工学領域]

- | 氏名 | 実施形態 | 共同・受託研究テーマ | 代表区分 | 相手機関名 | 受入金額 | 研究開始年/月 | 研究終了年/月 |
|----------|-----------|--------------------------------|------|---------------------|------|---------|---------|
| 1. 上田 賀一 | 国内共同研究 | インフラシステム向けソフトウェアエンジニアリングに関する研究 | 代表 | (株) 日立製作所 インフラシステム社 | | 2014/04 | 2016/03 |
| 2. 上田 賀一 | 国内共同研究 | Simulink モデルメトリクスに関する研究 | 代表 | | | 2014/07 | 2015/03 |
| 3. 鎌田 賢 | 企業からの受託研究 | モバイル端末による測位方法の検証に関する共 | | | | | |

- 同研究 代表 2013/11 2014/04
4. 外岡 秀行 その他 平成 26 年度地球観測用小型赤外カメラ(CIRC)校正検証
代表 (独) 宇宙航空研究開発機構 2014/09 2015/03
5. 外岡 秀行 その他 ASTER 画像の信頼性・利用性の向上に関する研究 代表
(独) 産業技術総合研究所 2014/04 2015/02
6. 黒澤 馨 国内共同研究 ユビキタスビジネス環境での暗号技術に関する研究
アイ・ティ・ジャパン株式会社

[都市システム工学領域]

- | 氏名 | 実施形態 | 共同・受託研究テーマ | 代表区分 | 相手機関名 | 受入金額 | 研究開始年/月 | 研究終了年/月 |
|----------|--------|--|------|-------------------|------|---------|---------|
| 1. 山田 稔 | 国内共同研究 | 位置情報発信技術を使った公共バス交通向け運行状況可視化クラウドシステムの評価及び地域への定着 | 代表 | 茨城日立情報サービス | | 2013/12 | 2014/08 |
| 2. 原田 隆郎 | 国内共同研究 | 橋梁のクラック等の経過観察システムに関する研究 | 代表 | | | 2014/04 | 2015/03 |
| 3. 一ノ瀬 彩 | 国内共同研究 | 公共複合施設におけるサイン改修とデザインマネジメントに関する研究 | | 公益財団法人日立市科学文化情報財団 | | 2014/9 | 2015/03 |

[知能システム工学領域]

- | 氏名 | 実施形態 | 共同・受託研究テーマ | 代表区分 | 相手機関名 | 受入金額 | 研究開始年/月 | 研究終了年/月 |
|----------|------------|---|------|-------------|------|---------|---------|
| 1. 清水 淳 | 国内共同研究 | ナノトライボロジー現象の分子動力学シミュレーション | 代表 | 自動車製造企業 | | 2014/07 | 2015/03 |
| 2. 周 立波 | 国内共同研究 | 砥石の高品質化に関する研究 | | 三井金属 | | 2013/04 | 2015/03 |
| 3. 小貫 哲平 | 国内共同研究 | 防災ヘリコプター向け可搬型着陸灯の試作開発に関する研究 | 代表 | 日邦電機産業 株式会社 | | 2015/03 | 2015/09 |
| 4. 岩崎 唯史 | 出資金による受託研究 | JST CREST 神経系まるごとの観測データに基づく神経回路の動作特性の解明 | 分担 | 科学技術振興機構 | | 2012/10 | 2018/03 |
| 5. 住谷 秀保 | 出資金による受託研究 | 歯科治療不安軽減ゆらぎ制御足部マッサージの開発 | 代表 | (株) 吉田精工 | | 2014/03 | 2015/10 |

[工学基礎領域]

- | 氏名 | 実施形態 | 共同・受託研究テーマ | 代表区分 | 相手機関名 | 受入金額 | 研究開始年/月 | 研究終了年/月 |
|--------|-----------|---------------------|------|-------|------|---------|---------|
| 1. 湊 淳 | 企業からの受託研究 | 放射線計測ネットワーク構築に関する研究 | 代表 | | | 2013/04 | 2015/03 |

2.3 奨学寄付金

[機械工学領域]

氏名	寄附金名称	寄付者芳名	金額	年度
1. 堀辺 忠志	折れにくい締結ボルトの開発(その6)	東北ねぢ製造(株)		2014/04
2. 堀辺 忠志	浸炭焼入れにより任意の硬度分布に熱処理された歯車の歯元曲げ強度の研究			2014/11
3. 車田 亮	アルミニウム合金の疲労と破壊靱性に及ぼす水素の影響	軽金属奨学会		2014/04

[物質工学領域]

氏名	寄附金名称	寄付者芳名	金額	年度
1. 五十嵐 淑郎	感温性液体を用いた有用物回収に関する学術研究	大阪ガス株式会社		2014
2. 北野 誉	北野研究室研究促進助成			2014
3. 岩本 知広	一般研究開発助成「界面ナノ塑性流動による低エネルギー接合法の開発	公益財団法人 天田財団		2014

[電気電子工学領域]

氏名	寄附金名称	寄付者芳名	金額	年度
1. 栗原 和美	高性能電動機, 有限要素法による電気機械の最適設計	(株)日立アプライアンス		2014
2. 柳平 丈志	非接触電圧計測技術に関する研究助成金	オムロン		2014
3. 鈴木 健仁	研究室5周年 研究寄付資金事業 -未来を拓く人材の育成を-			2014
4. 鈴木 健仁	テラヘルツ電磁メタマテリアルの基礎研究活動のため			2014

[メディア通信工学領域]

氏名	寄附金名称	寄付者芳名	金額	年度
1. 小峰 啓史	磁性体関連シミュレーション	昭和電工		2014

[情報工学領域]

[都市システム工学領域]

氏名	寄附金名称	寄付者芳名	金額	年度
1. 桑原 祐史	「突発的な豪雨を対象とした流出解析の精度向上」の研究	福山コンサルタント		2014
2. 桑原 祐史	空間情報生成技術に関する情報共有や, ベトナムでの海外浸食	日立パワーソリューションズ		2014
3. 桑原 祐史	オフィス街発生CO ₂ の活用に関する研究助成金	前田建設工業株式会社		2014

[知能システム工学領域]

氏名	寄附金名称	寄付者芳名	金額	年度
1. 周 立波	小径砥石による大口径ウエハに関する研究	東京エレクトロン九州		2014
2. 楊 子江	メタモデルに基づく進化的最適化とその応用			2014

[工学基礎領域]

IV 教職員組織と管理・運営

次ページ以降に組織図，学科等担当教員，博士前期課程・後期課程担当教員を示す。

1. 組織

2. 教育組織

2.1 教員名簿（学部・領域）

教育組織

学科等担当教員一覧

平成27年3月31日

学科等	教授	准教授	講師	助教	計
機械工学科	伊藤 吾朗 増澤 徹 関東 康祐 稲垣 照美 田中 伸厚 金野 満 堀辺 忠志 近藤 良 前川 克廣 倉本 繁	尾関 和秀 道辻 洋平 清水 年美 車田 亮 松田 健一 伊藤 伸英 松村 邦仁 西 泰行 山崎 和彦 田中 光太郎	今村 仁	森 孝太郎 李 艶栄 長 真啓 小林 純也	
	10	10	1	4	25
生体分子機能工学科	小林 芳男 五十嵐 淑郎 小野 高明 木村 成伸 久保田 俊夫 森川 敦司 阿部 修実 田中 伊知朗 【海野昌喜】	大野 修 山内 智 熊沢 紀之 東 美和子 北野 誉 江口 美佳 福元 博基		細谷 孝明	
	9	7	0	1	17
マテリアル工学科	太田 弘道 篠嶋 妥 鈴木 徹也 池田 輝之 岩本 知広 【佐藤成男】 (高橋東之)	稲見 隆 【西野創一郎】	横田 仁志 田代 優 永野 隆敏 岩瀬 謙二		
	6 (7)	2	4	0	12
電気電子工学科	今井 洋 三枝 幹雄 栗原 和美 山中 一雄 垣本 直人 島影 尚 鶴殿 治彦 宮嶋 照行 【池畑 隆】	金谷 範一 和田 達明 木村 孝之 青野 友祐 堀井 龍夫 祖田 直也 柳平 丈志 横田 浩久 宮島 啓一 鶴野 将年 【佐藤直幸】		鈴木 健仁 田中 正志	
	9	11	0	2	22
メディア通信工学科	杉田 龍二 梅比良 正弘 辻 龍介 武田 茂樹 (湊 淳)	赤羽 秀郎 鶴野 克宏 小峰 啓史 中村 真毅 上原 清彦 矢内 浩文 山田 光宏	塚元 康輔 出崎 善久		
	4 (5)	7	2	0	13
情報工学科	荒木 俊郎 岸 義樹 黒澤 馨 米倉 達広 鎌田 賢 羽瀨 裕真 澁澤 進 上田 賀一	山田 孝行 外岡 秀行 新納 浩幸 藤芳 明生 【大瀧保広】	岡田 信一郎 佐々木 稔 古宮 嘉那子 【野口 宏】	大野 博 石田 智行 芝軒 太郎	
	8	5	4	3	20
都市システム工学科	沼尾 達弥 呉 智深 金 利昭 横木 裕宗 山田 稔	井上 涼介 信岡 尚道 原田 隆郎 村上 哲 藤田 昌史 平田 輝満 車谷 麻緒 熊澤 貴之 【桑原祐史】		一ノ瀬 彩	
	5	9	0	1	15
知能システム工学科	星野 修 馬場 充 乾 正知 周 立波 楊 子江 青島 伸一 清水 淳 坪井 一洋 長山 和亮	森 善一 城間 直司 鈴木 智也 福岡 泰宏 小貫 哲平 中村 雅史 竹田 晃人	中野 博民 近藤 久 井上 康介 尾嵩 裕隆 梅津 信幸 岩崎 唯史 関根 栄子	住谷 秀保 竹内 亨	
	9	7	7	2	25
共通	村上 雄太郎 岡 裕和 平澤 剛 小泉 智 【高橋東之】 【湊 淳】	植木誠一郎 細川 卓也	伊多波 正徳		
	6	2	1	0	9
合計	66	60	19	13	158

※【 】は、独立専攻、広域水圏環境科学教育研究センター、学術情報局所属の教員を表す。

※（ ）は湊、高橋の各先生の第一担当科目の所属。

但し、共通からの委員の選出が多々あるので、ここでは便宜上、共通に入れている。

※赤字表記は女性教員

※平成26年4月1日～ 特任教授

大貫 仁、小澤 哲、鹿子嶋 憲一、加納 幹雄、小山田 弥平、塩幡 宏規、友田 陽

教員組織

工学野区分

平成27年3月31日

領域	教授	准教授	講師	助教	計
機械工学	伊藤 吾朗 増澤 徹 稲垣 照美 関東 康祐 金野 満 田中 伸厚 堀辺 忠志 近藤 良 前川 克廣 倉本 繁	尾関 和秀 道辻 洋平 清水 年美 車田 亮 松田 健一 伊藤 伸英 松村 邦仁 西 泰行 山崎 和彦 田中 光太郎	今村 仁	森 孝太郎 李 艶栄 長 真啓 小林 純也	
	10	10	1	4	25
物質工学	五十嵐 淑郎 木村 成伸 小林 芳男 小野 高明 太田 弘道 森川 敦司 久保田 俊夫 阿部 修実 篠嶋 妥 田中 伊知朗 鈴木 徹也 池田 輝之 岩本 知広 【海野昌喜】 【佐藤成男】	大野 修 東 美和子 山内 智 北野 誉 稲見 隆 江口 美佳 福元 博基 【西野創一郎】	横田 仁志 田代 優 永野 隆敏 岩瀬 謙二	細谷 孝明	
	15	8	4	1	28
電気電子工学	今井 洋 三枝 幹雄 栗原 和美 山中 一雄 垣本 直人 島影 尚 鶴殿 治彦 宮嶋 照行 【池畑 隆】	金谷 範一 和田 達明 木村 孝之 青野 友祐 堀井 龍夫 祖田 直也 柳平 丈志 横田 浩久 宮島 啓一 鶴野 将年 【佐藤直幸】		鈴木 健仁 田中 正志	
	9	11	0	2	22
メディア通信工学	杉田 龍二 梅比良 正弘 辻 龍介 武田 茂樹	赤羽 秀郎 鶴野 克宏 小峰 啓史 中村 真毅 上原 清彦 矢内 浩文 山田 光宏	塚元 康輔 出崎 善久		
	4	7	2	0	13
情報工学	荒木 俊郎 岸 義樹 黒澤 馨 米倉 達広 鎌田 賢 羽瀧 裕真 澁澤 進 上田 賀一	山田 孝行 外岡 秀行 新納 浩幸 藤芳 明生 【大瀧保広】	岡田 信一郎 佐々木 稔 古宮 嘉那子 【野口 宏】	大野 博 石田 智行 芝軒 太郎	
	8	5	4	3	20
都市システム工学	沼尾 達弥 呉 智深 金 利昭 横木 裕宗 山田 稔	井上 凉介 信岡 尚道 原田 隆郎 村上 哲 藤田 昌史 平田 輝満 車谷 麻緒 熊澤 貴之 【桑原祐史】		一ノ瀬 彩	
	5	9	0	1	15
知能システム工学	星野 修 馬場 充 乾 正知 周 立波 楊 子江 青島 伸一 清水 淳 坪井 一洋 長山 和亮	森 善一 城間 直司 鈴木 智也 福岡 泰宏 小貫 哲平 中村 雅史 竹田 晃人	中野 博民 近藤 久 井上 康介 尾嵩 裕隆 梅津 信幸 岩崎 唯史 関根 栄子	住谷 秀保 竹内 亨	
	9	7	7	2	25
工学基礎	村上 雄太郎 岡 裕和 平澤 剛 小泉 智 【高橋東之】 【湊 淳】 【菊地賢司】	熊沢 紀之 植木誠一郎 細川 卓也	伊多波 正徳		
	7	3	1	0	11
合計	67	60	19	13	159
所 属 等	教授	准教授	講師	助教	計
社会連携センター		岡田 真澄			
	0	1	0	0	1
合計	67	61	19	13	160

※【 】は、独立専攻、広域水圏環境科学教育研究センター、学術情報局、フロンティア応用原子科学研究センター所属の教員を表す。

※赤字表記は女性教員

※平成26年4月1日～ 特任教授

大貫 仁、小澤 哲、鹿子嶋 憲一、加納 幹雄、小山田 弥平、塩幡 宏規、友田 陽

2.2 教員名簿（大学院）

茨城大学大学院工学研究科博士前期課程

平成 26 年 4 月 1 日現在

専攻	教授	准教授	講師	助教	計
機械工学専攻	増澤 徹 伊藤吾朗 稲垣照美 関東康祐 田中伸厚 近藤 良 金野 満 前川克廣 堀辺忠志	尾関和秀 道辻洋平 清水年美 伊藤伸英 松田健一 松村邦仁 車田 亮 山崎和彦 西 泰行 田中光太郎	今村 仁	森 孝太郎 李 艶榮	
計	9	10	1	2	22
物質工学専攻	木村成伸 小林芳男 五十嵐淑郎 小野高明 太田弘道 森川教司 久保田俊夫 阿部修実 篠嶋 妥 田中伊知朗 小泉 智 鈴木徹也 池田輝之	東 美和子 大野 修 北野 誉 山内 智 稲見 隆 江口 美佳 福元博基	田代 優 永野隆敏 横田仁志 岩瀬謙二	細谷孝明	
計	13	7	4	1	25
電気電子工学専攻	今井 洋 三枝幹雄 栗原和美 垣本直人 山中一雄 島影 尚 鶴殿治彦 宮嶋照行	金谷範一 和田達明 木村孝之 青野友祐 柳平丈志 祖田直也 横田浩久 堀井龍夫 宮島啓一		鈴木健仁 田中正志	
計	8	9		2	19
メディア通信工学専攻	杉田龍二 梅比良正弘 辻 龍介 武田茂樹	赤羽秀郎 鶴野克宏 小峰啓史 中村真毅 上原清彦 矢内浩文 山田光宏	塚元康輔		
計	4	7	1		12
情報工学専攻	荒木俊郎 岸 義樹 黒澤 馨 米倉達広 鎌田 賢 羽瀨裕真 澁澤 進 上田賀一	新納浩幸 外岡秀行 山田孝行 藤芳明生 【大瀧保広】	岡田信一郎 佐々木 稔 古宮嘉那子		
計	8	5	3		16
都市システム工学専攻	呉 智深 沼尾達弥 金 利昭 横木裕宗 山田 稔 【三村信男】	信岡尚道 原田隆郎 村上 哲 藤田昌史 平田輝満 熊澤貴之 井上凉介 車谷麻緒 【桑原祐史】		一ノ瀬 彩	
計	6	9		1	16
知能システム工学専攻	馬場 充 星野 修 乾 正知 周 立波 楊 子江 青島伸一 清水 淳 坪井一洋 長山和亮	森 善一 城間直司 福岡泰宏 中村雅史 鈴木智也 小貫哲平 竹田晃人	中野博民 近藤 久 井上康介 尾畷裕隆 梅津信幸 岩崎唯史 関根栄子		
計	9	7	7		23
応用粒子線科学専攻	池畑 隆 高橋東之 湊 淳 海野昌喜 佐藤成男	佐藤直幸 西野創一郎			
計	5	2			7
共通講座	平澤 剛 【菊池賢司】 村上雄太郎 岡 裕和	熊沢紀之 植木誠一郎 細川卓也	伊多波正徳		
計	4	3	1		8
合計	66	59	17	6	148

※【 】は、広域水圏環境科学教育研究センター、学術情報局、フロンティア応用原子科学研究センター所属の教員を表す。

※平成26年4月1日～ 特任教授(M○含)

大貫 仁、小澤 哲、鹿子嶋 憲一、加納幹雄、小山田 弥平、塩幡 宏規、友田 陽

専攻	講 座	教 授	准 教 授	講 師	助 教	計
物質科学	分子工学	五十嵐淑郎・木村成伸 小林芳男・小野高明 森川敦司・久保田俊夫 阿部修実・小泉 智	東 美和子・大野 修 熊沢紀之・北野 誉 江口美佳・福元博基			14
	物性工学	杉田龍二・篠嶋 妥 太田弘道・島影 尚 田中伊知郎・鶴殿治彦	小峰啓史・青野友祐 和田達明			9
	材料システム	伊藤吾朗・鈴木徹也 池田輝之	稲見 隆・車田 亮			5
		17	11			28
生産科学	エネルギーシステム	稲垣照美・垣本 直人 金野 満・田中伸厚 辻 龍介	柳平丈志・松村邦仁 西 泰行・田中光太郎			9
	設計及び生産 プロセス工学	前川克廣・関東康祐 周 立波・堀辺志志 清水 淳・(菊地賢司)	尾関和秀・井上涼介 伊藤伸英・中村雅史 山崎和彦			11
	計測・制御学	馬場 充・山前一雄 栗原和美・増澤 徹 近藤 良・楊 子江 青島伸一	金谷範一・森 善一 道辻洋平・清水年美 福岡泰宏・小貫哲平			13
		18	15			33
情報・システム科学	社会・環境システム	呉 智深・金 利昭 横木裕宗・山田 稔	村上 哲・藤田 昌史 外岡秀行・原田隆郎 信岡尚道・平田輝満 車谷麻緒・【桑原祐史】			12
	電子・通信システム	今井 洋・鎌田 賢 梅比良正弘・三枝幹雄 羽瀧裕真・武田茂樹 宮嶋照行・《尾崎久記》	木村孝之・赤羽秀郎 堀井龍夫・上原清彦 横田浩久・祖田直也 鶴野克宏・矢内浩文		鈴木健仁	17
	計算機科学	荒木俊郎・岸 義樹 黒澤 馨・米倉達広 星野 修・澁澤 進 岡 裕和・平澤 剛 上田賀一・坪井一洋	新納浩幸・山田孝行 宮島啓一・植木誠一郎 細川卓也・鈴木智也 竹田晃人			17
		22	23		1	46
環境機能学	生命・環境システム	【三村信男・沼尾達弥】				2
	機能システム科学	乾 正知	山内 智			2
		3	1			4
応用粒子線	量子基礎科学 構造生物学	海野昌喜				1
	中性子材料科学	高橋東之・佐藤成男	西野創一郎			3
	エネルギー・リスク情報科学 基礎原子力科学	池畑 隆・湊 淳	佐藤直幸			3
		5	2			7
	合 計	65	52		1	118

※《 》は、教育学部専任教員を表す。

※()は、フロンティア応用原子科学研究センター所属の教員を表す。

※【 】は、広域水圏環境科学教育研究センター所属の教員を表す。

※平成26年4月1日～ 特任教授(D〇合)

大貫 仁、小澤 哲、鹿子嶋 憲一、加納幹雄、小山田 弥平、
塩幡 宏規、友田 陽

2.3 教職員数

H27.3.31 現在

	事務職員	技術職員	教務職員	教 員					非常勤職員				合 計	
	一般(一)			教授	准教授	講師	助教	計	事務補佐員	技術補佐員	非常勤 研究員	産学官 連携研 究員等		
工学部事務部	26	2								6				34
事務支援室	1	4												5
図書館工学部分館	2									1				3
機械工学領域		3		10	10	1	4	25	1					29
物質工学領域		4		13	7	4	1	25	2			5		36
電気電子工学領域		5		8	10		2	20	1					26
メディア通信工学領域				4	7	2		13	1					14
情報工学領域		1		8	4	3	3	18	1			1		21
都市システム工学領域		3		5	8		1	14				1		18
知能システム工学領域		4		9	7	7	2	25	1			1		31
工学基礎領域				4	3	1		8				3		11
独立専攻				5	2			7						7
IT基盤センター		3			1	1		2	1					6
社会連携センター	3				1			1	3					7
フロンティア応用原子科学研究センター				1				1						1
ICAS									1					1
(広域水圏センター)					1			1						1
合 計	32	29		67	61	19	13	160	19			11		251

3. 各種委員会と構成

3.1 学科

平成 26 年度各種委員会委員等 (No.1)

◎印は委員会委員長 ○印は副委員長

26.4.1 現在

委員会等名	人員 人	任期 年	発令日	終了日	機 械	分子機能	マテリアル	電気電子	メディア 通 信	情 報	都 市 システム	知 能 システム	共 通 科目担当	
学科長	9	2	25.4.1	27.3.31	前川	久保田	鈴木徹	山中	武田	遊澤	金	清水	湊	
中期計画策定・ 点検評価委員会	5	2	26.4.1	28.3.31	◎伊藤吾 道辻		池田				村上哲	城間	/	
	4	2	25.4.1	27.3.31		細谷		宮島	杉田	山田			/	
教育改善委員会	6	2	26.4.1	28.3.31	◎増澤	福元			矢内	荒木		尾高	伊多波	
	4	2	25.4.1	27.3.31	尾関		篠嶋	横田			信岡			
教務委員会	6	2	26.4.1	28.3.31		東		島影	鶴野			A 楊 B 福岡	村上雄	
	4	2	25.4.1	27.3.31	◎田中伸		横田			岡田	横木			
学生委員会	4	2	26.4.1	28.3.31	金野		田代			岸	藤田		/	
	4	2	25.4.1	27.3.31		小林		垣本	小峰			◎星野	/	
入学者選抜実施委員会	8	2	26.5.1	28.4.30	西	細谷		※○宮嶋		大野博	平田	※◎乾 岩崎	小泉	
	3	2	25.5.1	27.4.30			永野	佐藤直	出崎					
ものづくり教育研究 支援ラボ運営委員会	4	2	26.4.1	28.3.31		小野	田代		小峰		呉		/	
	4	2	25.4.1	27.3.31	※◎前川			島影		大野		森	/	
就 職 担 当					伊藤伸	北野	永野	池畑	上原	上田 外岡	横木	A 青島 B 森	/	
ク ラ ス 担 当 教 員	1 年 次 兼学生相談担当 教員	補助担任	前学期	清水	熊沢	岩瀬	金谷	上原 辻	黒澤	原田	A 中村雅 B 星野	/		
			後学期	伊藤吾	小野	鈴木徹	横田	山田光 矢内	藤芳	三村	A 馬場 B 近藤久	/		
	2 年 次 兼学生相談担当 教員					松田	木村	鈴木徹	三枝	出崎	山田孝	呉	A 坪井 B 梅津	/
	3 年 次 兼学生相談担当 教員					関東	江口	福見	宮島	小峰	佐々木	山田稔	A 岡 B 尾高	/
4 年 次 兼学生相談担当 教員					伊藤伸	北野	永野	池畑	武田	外岡	横木	A 青島 B 森	/	

※は学部長指名の委員。

3.2 領域

平成 26 年度 各領域各種委員会委員等

◎印は委員会委員長 ○印は副委員長

26.10.1 現在

委員会等名	人員 人	任期 年	発令日	終了日	機 械	物 質	電気電子	メディア 通 信	情 報	都 市 システム	知 能 システム	工学基礎
副 学 部 長	3	2	26.9.1	27.3.31			池畑	梅比良		横木		
領 域 長	8	1	26.4.1	27.3.31	堀辺	藤嶋	垣本	武田	上田	金	清水	岡
副 領 域 長	8	1	26.4.1	27.3.31	稲垣	久保田	鶴殿	辻	澁澤	沼尾	坪井	高橋
(学部長指名) 工 学 部 長 室 (実務担当者)	14	1	26.4.1	27.3.31	西 松田 李	横田	池畑	梅比良 武田	外岡 佐々木 岡田	横木 桑原		湊 村上雄
(学部長指名) 企画立案委員会	10	1	26.4.1	27.3.31		木村 太田	島影			沼尾		
(学部長指名) 広 報 委 員 会	9	1	26.4.1	27.3.31	伊藤伸	江口 永野	柳平	鶴野	藤芳	車谷	梅津	◎村上雄
(学部長指名) 入学者選抜方法検討委員会	8	1	26.4.1	27.3.31	道辻	◎久保田 田代	青野	小峰	藤芳	山田稔	井上康	
(学部長指名) 教 員 評 価 委 員 会	5	2	26.4.1	28.8.31	伊藤吾 増澤			梅比良		横木		
教育制度改革委員会	5	2	26.4.1	28.3.31		福元	今井			一ノ瀬	周	
	4	2	25.4.1	27.3.31	◎増澤			赤羽	岸			平澤
国 際 交 流 委 員 会	3	2	26.4.1	28.3.31		五十嵐			鎌田		鈴木智	
	4	2	25.4.1	27.3.31	増澤		◎鶴殿	辻		良		
留学生専門教育教員 村上雄、湊、事務長												
中 期 計 画 策 定 ・ 点 検 評 価 委 員 会	6	2	26.4.1	28.3.31	◎伊藤吾 道辻	江口	島影			村上哲	城間	植木
	4	2	25.4.1	27.3.31			宮島	杉田	黒澤			
技 術 部 運 営 委 員 会					◎学部長、事務長、総括技術長、技術長、技術班長							
	4	2	26.4.1	28.3.31	田中光	鈴木徹		杉田		沼尾		
	2	2	25.4.1	27.3.31			今井		山田孝		住谷	伊多波
図 書 委 員 会					◎分館長 高橋 東之 (任期26.4.1~28.3.31)							
	4	2	26.4.1	28.3.31		岩本	田中正		新納		関根	
	4	2	25.4.1	27.3.31	今村			上原		井上凉		植木
表 面 処 理 運 営 委 員 会	3	2	26.4.1	28.3.31	森孝	鈴木徹	鶴殿			沼尾		
宿 舎 委 員 会	8	1	26.4.1	27.3.31	李	西野	三枝	辻	荒木	一ノ瀬	井上康	平澤
					総務係長、会計第一係長							
互 親 会 理 事	1	1	26.4.1	27.3.31				梅比良				
互 親 会 役 員	8	1	26.4.1	27.3.31	松村	稲見	島影	中村真	荒木	熊澤	梅津	細川

◎印は委員会委員長、○印は副委員長、※は学部長指名の委員。

3.3 大学院理工学研究科

平成 26 年度 理工学研究科各種委員会委員一覧

(26.9.1)

委員会等名 (任期)	博士後期課程 専攻長会議	博士前期課程 専攻長会議	運営委員会	博士後期課程 委員会	点検・評価 委員会	運営調整 委員会	(日立地区)		博士後期課程 入学選考 委員会	
							博士前期課程 入学選考 委員会	博士前期課程 大学院 教務委員会		
							自 26.4.1 至 27.3.31	自 26.4.1 至 27.3.31		
専攻等名	研究科長 1 副研究科長 1	研究科長 1 副研究科長 1	研究科長 1 副研究科長 1							
博士 後 期 課 程	物質科学	鶴殿 治彦	鶴殿 治彦	鶴殿 治彦	小林 芳男	鶴殿 治彦			鶴殿 治彦	
	生産科学	辻 龍介	辻 龍介	辻 龍介	近藤 良				辻 龍介	
	情報・ システム科学	呉 智深	呉 智深	呉 智深	三枝 幹雄				呉 智深	
	宇宙地球 システム科学	吉田 龍生	吉田 龍生	吉田 龍生	天野 一男	吉田 龍生			吉田 龍生	
	環境機能科学	小島 純一 沼尾 達弥	小島 純一 沼尾 達弥	小島 純一 沼尾 達弥	小島 純一 沼尾 達弥				小島 純一 沼尾 達弥	
	応用 粒子線科学	湊 淳 高妻 孝光	湊 淳 高妻 孝光	湊 淳 高妻 孝光	佐久間 隆				湊 淳 高妻 孝光	
博士 前 期 課 程	理 学		下村 勝孝 森 聖治 藤縄 明彦	下村 勝孝 森 聖治 藤縄 明彦	小島 純一 藤澤 清史	森 聖治 小島 純一 藤縄 明彦			下村 勝孝 森 聖治 藤縄 明彦	
	機 械 工 学		堀辺 忠志 増澤 徹	堀辺 忠志 増澤 徹	関東 康祐	近藤 良	○金野 満	堀辺 忠志	関東 康祐	
	物 質 工 学		篠嶋 妥 久保田俊夫	篠嶋 妥 久保田俊夫	池田 輝之	大野 修	◎田中伊知朗	篠嶋 妥	池田 輝之	
	電 気 電 子 工 学		垣本 直人 島影 尚	垣本 直人 島影 尚	和田 達明	宮島 啓一	青野 友祐	垣本 直人		
	メディア通信 工 学		武田 茂樹 矢内 浩文	武田 茂樹 矢内 浩文	赤羽 秀郎	中村 真毅	杉田 龍二	◎武田 茂樹		
	情 報 工 学		羽濑 裕真 (~26.9.30) 上田 賀一 (26.10.1~)	羽濑 裕真 (~26.9.30) 上田 賀一 (26.10.1~) 澁澤 進	澁澤 進	岸 義樹	◎澁澤 進	黒澤 馨	羽濑 裕真 (~26.9.30) 上田 賀一 (26.10.1~)	澁澤 進
	都市システム 工 学		金 利昭	金 利昭 (呉 智深)	山田 稔	井上 凉介	呉 智深	桑原 祐史	金 利昭	
知能システム 工 学		清水 淳 坪井 一洋	清水 淳 坪井 一洋	星野 修	森 善一	坪井 一洋	小貫 哲平	清水 淳	星野 修	
応用 粒子線科学		湊 淳 高妻 孝光	(湊 淳) (高妻 孝光)	(湊 淳) (高妻 孝光)	(佐久間 隆) 高橋 東之		佐藤 直幸	湊 淳		
後 期 課 程 委 員 長			(馬場 充)	馬場 充					馬場 充	
研究科長が 指定した者				○安藤 寿男 森 聖治 藤縄 明彦					安藤 寿男	
計	10	12	26	20	17	8	8	8	17	

() は兼務者、◎印は委員会委員長、○印は副委員長

V 社会における活動

1. セミナー

茨城大学社会公開セミナー (主催: 茨城大学大学院理工学研究科)			
講師	主 題	所 属	開催日
近藤 良	下肢障害者のための脚支援システム	茨城大学大学院 理工学研究科 機械工学専攻 教授	H26. 5. 8
小峯 秀雄	放射性物質汚染土壌の実情と今後の課題	早稲田大学理工学術院 創造理工学部 社会環境工学科 教授	H26. 5. 15
井門 俊治	3次元CG・可視化と教育への応用	埼玉工業大学 教授	H26. 5. 22
池田 輝之	熱電変換技術のこれから・廃熱再生のために	茨城大学大学院 理工学研究科 物質工学専攻 教授	H26. 5. 29
岩松 勝	超電導リニアモーターカーと超電導技術 ～ 開発の歴史とキーテクノロジー ～	公益財団法人 鉄道総合技術研究所 企画室 次長	H26. 6. 5
小澤 佑介	可視光通信の仕組みと応用 － LED照明を利用した新しい通信方式－	東京理科大学 理工学部 電気電子情報工学科 助教	H26. 6. 12
藪田 哲郎	マシンインテリジェンス	横浜国立大学 大学院工学研究所 教授	H26. 6. 19
山田 悠介	－ 放射光施設が果たす生命科学への貢献－	高エネルギー加速器 研究機構 物質構造科学研究所 助教	H26. 6. 26

2. 教員の学外活動

2.1 学外教育

[機械工学領域]

氏名 講義・講演名 実施主体 種別 年度

1. 稲垣 照美 科学の甲子園参加者強化トレーニング 茨城県立水戸第二高等学校, 日立北高等学校, 下館第一高等学校, 茨城県教育庁 自治体での社会教育 2014
2. 稲垣 照美 エネルギーとその多様性 福島県立磐城高等学校 出前授業 2014
3. 増澤 徹 茨城県立産業技術短期大学校 命を助ける工学技術—医用工学と人工心臓— 茨城県立産業技術短期大学校 公開講座 2014
4. 田中 伸厚 計算力学技術者 公認 CAE 技能講習会(熱流体力学分野) 日本機械学会 その他 2014
5. 堀辺 忠志 ものづくり基礎理論講座 日立地区産業支援センター その他 2014
6. 松村 邦仁 原子力大学連携ネットワーク 共通講座 原子力工学基礎(Ⅱ):核燃料サイクルに係る科目 第10回 原子力発電所の安全設計 原子力教育大学連携ネットワーク (JNEN) その他 2014

[物質工学領域]

氏名 講義・講演名 実施主体 種別 年度

1. 田中 伊知朗 東海村 J-PARC での生命科学 県立日立第一高等学校 出前授業 2014
2. 木村 成伸 日立シビックセンター科学館 大人のための科学教室 「タンパク質」 日立シビックセンター科学館 その他 2014
3. 木村 成伸 平成26年度ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～ KAKENHI 「血液型の DNA 解析 ～なぜ A, B, O が存在するのか?～」(実施代表者 北野 誉) H26.8.8 実施 日本学術振興会 その他 2014
4. 木村 成伸 平成26年度未来の科学者育成プロジェクト事業「高校生科学体験教室」大腸菌を用いた遺伝子組換え型タンパク質の合成 茨城県教育庁 自治体での社会教育 2014
5. 江口 美佳 高大連携講座「次世代エネルギー 電池のはなし」 出前授業 2014
6. 北野 誉 第188回農林交流センターワークショップ 農林水産省農林水産技術会議事務局 筑波事務所 国立研究開発法人 農業環境技術研究所 その他 2014
7. 北野 誉 大人のための科学教室 「遺伝子」 日立シビックセンター 自治体での社会教育 2014

[電気電子工学領域]

氏名 講義・講演名 実施主体 種別 年度

1. 栗原 和美 モーターとわれわれの日常生活 茨城県立太田第一高等学校 出前授業 2014

2. 栗原 和美 モーターとわれわれの日常生活 霞ヶ浦高等学校 出前授業 2014
3. 柳平 丈志 ものづくり基礎理論講座「電気回路設計の基礎」茨城大学主体の社会教育
(公開講座以外) 2014
4. 横田 浩久 光ファイバ通信入門 茨城大学主体の社会教育(公開講座以外) 2014

[メディア通信工学領域]

氏名 講義・講演名 実施主体 種別 年度

1. 上原 清彦 特別講義「企業における情報通信システムの研究開発」高知工科大学
その他 2014

[情報工学領域]

氏名 講義・講演名 実施主体 種別 年度

1. 鎌田 賢 第38回全国高等学校総合文化祭「いばらき総文祭2014」 第38回全
国高等学校総合文化祭茨城県実行委員会 自治体での社会教育 2014

[都市システム工学領域]

氏名 講義・講演名 実施主体 種別 年度

1. 横木 裕宗 平成26年度茨城県弘道館アカデミー県民大学「豊かな生活環境を求めて
(地球温暖化)」茨城県県北生涯学習センター その他 2014
2. 横木 裕宗 平成26年度いばらき子ども大学県北キャンパス授業「地球温暖化の未来」
茨城県県北生涯学習センター その他 2014
3. 横木 裕宗 「地球温暖化が我が国の沿岸影響におよぼす影響」 水産土木建設技術
センターその他 2014
4. 熊澤 貴之 いばらき子ども大学県央キャンパス その他 2014

[知能システム工学領域]

氏名 講義・講演名 実施主体 種別 年度

1. 清水 淳 放送大学面接授業「身近な摩擦現象の理解」 放送大学茨城学習センター
その他 2014
2. 清水 淳 全国中小企業団体中央会 平成26年度 地域中小企業の人材確保・定着支
援事業 ものづくり基礎理論講座「加工技術の基礎」 (株)ひたちなかテクノセンター,
(公財)日立地区産業支援センター 自治体での社会教育 2014
3. 住谷 秀保 Blenderによる3次元CGおよび2Dコンテンツ製作 茨城県立産業技術
短期大学校 出前授業 2014
4. 住谷 秀保 Blenderによる3次元CG製作 日立工業高校 出前授業 2014

[工学基礎領域]

2.2 兼業・兼職

[機械工学領域]

氏名	種別	事業先・主催	役職名	開始年/月	終了年/月
1. 稲垣 照美	兼業	日立市環境政策課	環境を創る日立市民会議 理事	2014/04	2016/03
2. 金野 満	出前授業	牛久栄進久高		2014/10	
3. 金野 満	兼業	自動車技術会	バイオディーゼル燃料分科会委員	2014/04	2015/03
4. 金野 満	兼業	一般社団法人日本 DME 協会	一般社団法人日本 DME 協会フォーラム 部会運営委員	2013/06	
5. 金野 満	兼業	公益社団法人自動車技術会	内燃機関の熱効率向上分科会幹事	2013/05	2015/03
6. 金野 満	兼業	千葉大学	客員教授	2013/04	2016/03
7. 金野 満	兼業	日本機械学会	低コスト・低エミッション・低燃費エンジンシ ステム構築に関する研究分科会研究委員	2013/04	2015/03
8. 金野 満	兼業	公益社団法人自動車技術会	次世代自動車分科会委員	2013/01	2015/03
9. 田中 伸厚	兼業	原子力規制委員会	原子力規制庁 技術評価検討会	2015/03	2016/02
10. 田中 伸厚	兼業	日本学術振興会	科学研究費委員会	2014/12	2015/11
11. 田中 伸厚	兼業	高度情報科学技術研究機構	「京」利用研究課題審査委員会	2014/10	2015/03
12. 田中 伸厚	兼業	日本機械学会	JABEE 審査委員会	2014/10	2015/03
13. 田中 伸厚	兼業	日本原子力研究開発機構	原子力研修委員会	2014/05	2015/03
14. 田中 伸厚	非常勤講師	金沢大学大学院	講師	2014/04	2015/03
15. 田中 伸厚	非常勤講師	日本大学大学院	講師	2014/04	2014/09
16. 田中 伸厚	兼業	日本原子力学会	「2015 年春の年会」現地委員	2014/01	2015/03
17. 田中 伸厚	兼業	日本学術振興会	科学研究費委員会専門委員	2013/12	2014/11
18. 田中 伸厚	兼業	日本原子力発電株式会社	原子力発電研修評価委員	2013/10	2014/11

[物質工学領域]

氏名	種別	事業先・主催	役職名	開始年/月	終了年/月
1. 久保田 俊夫	兼業	公益社団法人茨城県水質保全協会	理事	2013/04	2015/03

2. 久保田 俊夫 兼業 厚生労働省 粉じん等対策指導委員 2011/04 2015/03
3. 久保田 俊夫 兼業 日本学術振興会産学協力委員会フッ素化学第155委員会
幹事(事務局), 運営委員 2010/04 2015/03
4. 五十嵐 淑郎 兼業 独立行政法人 物質・材料研究機構 リサーチアドバイザー
2014/09 2016/03
5. 五十嵐 淑郎 兼業 日本分析化学会 2014年度役員等候補者選考委員 2014/04
2014/08
6. 五十嵐 淑郎 兼業 日本分析化学会 2014年度役員等候補者推薦委員 2014/08
2015/03
7. 五十嵐 淑郎 兼業 日本分析化学会関東支部茨城地区研究交流会 実行委員 2005/04
2015/03
8. 田中 伊知朗 兼業 新世代研究所 水和ナノ構造研究会委員長 2012/04 2015/03
9. 田中 伊知朗 兼業 総合科学研究機構東海事業センターCROSS 利用研究課題審査
委員会「分科会」委員 2013/07 2015/03
10. 田中 伊知朗 兼業 日本原子力研究開発機構および高エネルギー加速器研究機構 J-
PARC センター 中性子課題審査部会 P3: ソフトマター・バイオマテリアル・液体分科会委
員 2013/07 2015/03
11. 田中 伊知朗 兼業 日本学術振興会産学協力研究委員会第169委員会 学界委員
2014/06
12. 田中 伊知朗 出前授業 茨城県日立第一高等学校 高大連携公開講座講師 2014/07
13. 木村 成伸 兼業 茨城大学生協同組合 理事 2014/05 2015/05
14. 永野 隆敏 兼業 NHK 名古屋 番組製作相談役(番組名: 超絶 凄ワザ!)
2015/02
15. 岩瀬 謙二 兼業 日本中性子科学会 選挙管理委員会委員 2014/08 2014/12
16. 岩瀬 謙二 その他 (社)日本アイソトープ協会 中性子応用専門委員会 委員
2012/06 2016/03
17. 西 剛史 兼業 第2回アジア核燃料国際会議(ANFC2014) プログラ
ム委員・編集小委員会委員 2013/12 2015/03

[電気電子工学領域]

- | 氏名 | 種別 | 事業先・主催 | 役職名 | 開始年/月 | 終了年/月 |
|----------|-------|------------|-------------------------|---------|---------|
| 1. 栗原 和美 | 兼業 | (株)日立製作所 | 総合教育センタ
技術研修所 | 2014/08 | 2014/09 |
| 2. 鶴殿 治彦 | 兼業 | 文部科学省 | 科学技術専門家ネットワーク
専門調査委員 | 2014/04 | 2015/03 |
| 3. 柳平 丈志 | 非常勤講師 | 茨城高等工業専門学校 | 非常勤講師 | 2014/08 | 2014/04 |
| 4. 柳平 丈志 | 非常勤講師 | 福島高等工業専門学校 | 非常勤講師 | 2003/04 | |

2015/03

5. 祖田 直也 兼業 電気学会 電力用磁性材料の高度活用技術調査専門委員会
委員 2014/04 2017/03
6. 鈴木 健仁 その他 電気学会 メタマテリアル・プラズモニクスの光・電子デバイス応
用調査専門 委員会委員 2013/12 2015/11

[メディア通信工学領域]

- | 氏名 | 種別 | 事業先・主催 | 役職名 | 開始年/月 | 終了年/月 |
|-----------|-------|-----------------------------------|-----|-----------------|---------------|
| 1. 杉田 龍二 | 兼業 | 独立行政法人 日本学術振興会
及び国際事業委員会書面審査委員 | | 2013/08 2014/07 | 特別研究員等審査会専門委員 |
| 2. 杉田 龍二 | 兼業 | 一般社団法人 電子情報通信学会
究千問委員会委員長 | | 2012/05 2014/05 | 磁気記録・情報ストレージ研 |
| 3. 杉田 龍二 | 兼業 | 公益社団法人 日本磁気学会 理事 | | 2011/06 2015/05 | |
| 4. 梅比良 正弘 | 兼業 | 一般社団法人 電子情報通信学会
信)・理事 | | 2014/06 2015/06 | 次期ソサイエティ会長(通 |
| 5. 梅比良 正弘 | 兼業 | 独立行政法人 日本学術振興会 | | 2013/12 2014/11 | 科学研究費委員会専門委員 |
| 6. 梅比良 正弘 | 兼業 | 総務省独立行政法人評価委員会 | 委員 | 2015/06 | 2013/07 |
| 7. 梅比良 正弘 | 兼業 | 総務省 情報通信審議会専門委員 | | 2013/03 2015/01 | |
| 8. 梅比良 正弘 | 兼業 | 総務省 若手 ICT 研究者育成型評価委員会委員 | | 2014/10 | 2013/02 |
| 9. 矢内 浩文 | 非常勤講師 | 玉川大学 非常勤講師 | | 1999/04 2016/03 | |

[情報工学領域]

- | 氏名 | 種別 | 事業先・主催 | 役職名 | 開始年/月 | 終了年/月 |
|----------|-------|-------------------------------------|-----------|-----------------|----------------|
| 1. 上田 賀一 | 非常勤講師 | 茨城キリスト教大学 | | 2015/03 | 非常勤講師 1996/04 |
| 2. 外岡 秀行 | 兼業 | (一財) 宇宙システム開発利用推進機構
システム開発委員会委員長 | | 2014/01 2017/03 | HISUI 地上データシ |
| 3. 外岡 秀行 | 兼業 | (一財) 宇宙システム開発利用推進機構
星利用委員会 委員 | | 2012/04 2016/03 | 次世代地球観測衛 |
| 4. 外岡 秀行 | 兼業 | (国研) 宇宙航空研究開発機構 | | 2013/07 2016/03 | CIRC 利用検討委員会委員 |
| 5. 外岡 秀行 | 兼業 | (一社) 日本リモートセンシング学会 | 評議員 | 2014/08 2016/06 | |
| 6. 外岡 秀行 | 兼業 | (一社) 日本リモートセンシング学会 | 受託研究担当責任者 | 2014/06 2016/03 | |
| 7. 外岡 秀行 | 兼業 | (一社) 日本リモートセンシング学会 | 事務局長・理事 | 2012/05 | |

- 2014/05
8. 外岡 秀行 兼業 (一財)宇宙システム開発利用推進機構 データ利用委員会
委員 2012/04 2015/03
9. 外岡 秀行 兼業 (一財)宇宙システム開発利用推進機構 ASTER センサ委員会
委員 2012/04 2015/03
10. 外岡 秀行 兼業 (一財)宇宙システム開発利用推進機構 ASTER 委員会委員
2012/04 2015/03
11. 黒澤 馨 兼業 放送大学 客員教授 2014/04 2015/03
12. 黒澤 馨 兼業 茨城県科学技術振興財団 つくば賞予備審査会委員 2013/04
2015/03
13. 佐々木 稔 非常勤講師 茨城キリスト教大学 非常勤講師 2014/04
2015/02
14. 佐々木 稔 非常勤講師 日立製作所日立工業専門学院 非常勤講師
2014/01 2014/11
15. 石田 智行 兼業 日立市職員研修「教養講演会」 講師 2015/01 2015/01
石田 智行 公開講座平成26年度茨城県弘道館アカデミー県民大学 講師 2014/10
2014/10
16. 石田 智行 その他 日本バーチャルリアリティ学会学会誌委員会 委員 2014/04
2016/03
17. 石田 智行 その他 日立市地域情報化推進会議 委員 2013/11 2016/03
18. 岡田 信一郎 非常勤講師 放送大学茨城学習センター 非常勤講師 2014/10
2015/3

[都市システム工学領域]

- | 氏名 | 種別 | 事業先・主催 | 役職名 | 開始年/月 | 終了年/月 |
|---------|-----|----------------|------------------------------|---------|--------------------|
| 1. 金 利昭 | 兼業 | 水戸市 | 自転車利用環境計画策定委員会委員長 | | 2014/01
2016/03 |
| 2. 金 利昭 | 兼業 | ・独立行政法人日本学術振興会 | 特別研究員等審査会専門委員・国際事業委員会書面審査員 | 2013/08 | 2014/07 |
| 3. 金 利昭 | 兼業 | つくば市役所 | 自転車のまちつくば推進委員会 委員・委員長 | 2012/06 | 2015/03 |
| 4. 金 利昭 | 兼業 | 日本道路協会 | 日本道路協会交通安全施設小委員会自転車ワーキング部会委員 | 2012/06 | 2014/05 |
| 5. 金 利昭 | 兼業 | 水戸市 | 水戸市環境審議会 委員・委員長 | 2010/10 | 2014/10 |
| 6. 金 利昭 | その他 | 地域科学研究会 | 自転車まちづくりフォーラム実行委員会委員 | 2008/04 | 2015/03 |
| 7. 山田 稔 | 兼業 | 日立市 | 日立市新庁舎建設バリアフリー関連設備検討委員会 委員長 | 2013/05 | 2014/09 |

8. 山田 稔 兼業 笠間市 笠間市都市計画道路再検討委員会・委員 2012/11
2014/11
9. 山田 稔 兼業 ひたちなか市 ひたちなか市都市計画審議会 委員長 2012/08
2015/08
10. 山田 稔 兼業 水戸市 水戸市都市計画審議会委員 2003/11 2015/05
11. 横木 裕宗 兼業 日本技術士会 平成 27 年度技術士試験委員 2015/02 2016/03
12. 横木 裕宗 兼業 地球環境産業技術研究機構 統合モデル WG 委員 2014/08
2015/03
13. 横木 裕宗 兼業 国土技術研究センター 平成 26 年度海岸委員会委員 2014/06
2015/03
14. 横木 裕宗 兼業 日本技術士会 平成 26 年度技術士試験委員 2014/03 2015/03
15. 原田 隆郎 兼業 国土交通省関東地方整備局常陸河川国道事務所 総合評価
審査分科会委員 2012/04 2016/03
16. 原田 隆郎 兼業 国土交通省関東地方整備局常陸海浜公園事務所 総合評価
審査分科会委員 2012/04 2016/03
17. 原田 隆郎 兼業 国土交通省関東地方整備局 専門的技術支援者 2014/05 2015/03
18. 信岡 尚道 非常勤講師 JICA 講師 2008/09 2014/09
19. 村上 哲 兼業 道路防災診断 国土交通省関東地方整備局 委員 2014/04
2015/03
20. 村上 哲 兼業 福島県道路防災ドクター 委員 2010/04 2016/03
21. 藤田 昌史 兼業 茨城県企業局 県央広域工業用水道事業に関する意見聴取
2015/03 2015/03
22. 藤田 昌史 兼業 茨城県企業局 県中央広域水道用水供給事業に関する意見聴取
2015/03 2015/03
23. 藤田 昌史 兼業 日本技術士会 技術士試験委員 2015/02 2016/03
24. 藤田 昌史 兼業 茨城県土木部 茨城県下水道事業経営懇談会会長 2015/02
2020/02
25. 藤田 昌史 兼業 茨城県教育委員会 科学の甲子園参加者強化トレーニング講師
2014/10 2014/10
26. 藤田 昌史 兼業 秋田県横手市 横手市水道ビジョン策定委員会委員 2014/09
2016/03
27. 藤田 昌史 兼業 茨城県企業局 経営懇談会会長 2014/08 2019/03
28. 藤田 昌史 兼業 茨城県立日立第一高等学校 平成 26 年度高大連携事業に係わる講
座講師 2014/08 2014/08
29. 藤田 昌史 兼業 日本水環境学会 Associate Editor of Journal of Water and
Environment Technology 2014/07 2015/07
30. 藤田 昌史 兼業 土木学会技術推進機構技術者教育プログラム審査委員会審査チー
ム オブザーバー 2014/07 2015/03

31. 藤田 昌史 兼業 茨城県生活環境部 茨城県環境影響評価審査会委員 2014/06
2015/07
32. 藤田 昌史 兼業 公益財団法人日本下水道新技術機構 第4 審査証明委員会副委員長
2014/06 2015/03
33. 藤田 昌史 兼業 公益財団法人日本下水道新技術機構 建設技術（下水道）審査証明
委員会委員 2014/06 2015/03
34. 藤田 昌史 兼業 国立環境研究所 The 7th GEOSS Asia-Pacific Symposium, WG2:
Asia-Pacific Biodiversity Observation Network で講演 2014/05 2014/05
35. 藤田 昌史 兼業 水戸市 千波湖アオコ集積防止業務委託に係わる技術提案競技審
査委員 2014/05 2014/05
36. 藤田 昌史 兼業 公益財団法人日本下水道新技術機構 新技術発掘検討会委員
2014/04 2015/03
37. 藤田 昌史 兼業 日本技術士会 技術士試験委員 2014/01 2015/03
38. 藤田 昌史 兼業 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費委員会専門委員
2013/12 2014/11
39. 藤田 昌史 兼業 日本水環境学会 Associate Editor of Journal of Water and
Environment Technology 2013/08 2014/07
40. 車谷 麻緒 出前授業 平成 26 年度未来の科学者育成プロジェクト事業「科学の甲子園参
加者強化トレーニング」講師 2014/10 2014/10
41. 車谷 麻緒 出前授業 水戸葵陵高等学校 模擬授業 2014/09 2014/09
42. 車谷 麻緒 兼業 財団法人 建設工学研究振興会 2014/04 2015/03
43. 平田 輝満 兼業 国土交通省航空局「羽田空港の機能強化に向けたブラスト検討委員
会」委員 2014/11 2015/03
44. 平田 輝満 兼業 水戸市自転車利用環境整備審議会 委員 2014/07 2016
45. 平田 輝満 兼業 茨城県：つくばヘリポート指定管理者選定委員会 委員 長
2014/07 2014/10
46. 平田 輝満 兼業 水戸市自転車利用環境計画策定委員会・水戸市 委員
2014/03 2016/03
47. 平田 輝満 兼業 首都圏空港機構強化検討調査委員会・運輸政策研究機構 委員
2013/11 2014/04
48. 一ノ瀬 彩 兼業 茨城県・(株)ひたちなテクノセンター 2013/07
2014/09
49. 一ノ瀬 彩 兼業 日立市 2013/06 2015/05

[知能システム工学領域]

- | 氏名 | 種別 | 事業先・主催 | 役職名 | 開始年/月 | 終了年/月 |
|---------|----|--------|-------|-------|-----------------|
| 1. 森 善一 | | 非常勤講師 | CS 勝田 | 非常勤講師 | 2014/10 2014/10 |

- | | | | | | |
|----|--------|-------|---------------------------|---------------|-----------------|
| 2. | 森 善一 | 非常勤講師 | 茨城県県北生涯学習センター | 非常勤講師 | |
| | | | | | 2014/10 2014/10 |
| 3. | 森 善一 | 非常勤講師 | 茨城大学工学部 | 非常勤講師 | 2014/10 2014/10 |
| 4. | 森 善一 | 兼業 | 財団法人茨城県中小企業振興公社 | 中小企業テクノエキスパート | |
| | | | | | 2009/04 2015/05 |
| 5. | 鈴木 智也 | 兼業 | ロゴス・アンド・パトス・アドバイザーサービス(株) | 顧問 | |
| | | | | | 2014/02 2015/01 |
| 6. | 鈴木 智也 | 兼業 | (株)エネルギー総合研究所 | 技術顧問 | 2013/08 2014/07 |
| 7. | 長山 和亮 | 非常勤講師 | 名古屋工業大学大学院工学研究科共同ナノメディシン科 | | |
| | 学専攻 教授 | | | | 2014/04 |
| 8. | 長山 和亮 | 非常勤講師 | 茨城北西看護専門学校 | 講師 | 2014/04 |

[工学基礎領域]

- | 氏名 | 種別 | 事業先・主催 | 役職名 | 開始年/月 | 終了年/月 |
|----|--------|--------|--------------------|--------------------|-----------------|
| 1. | 高橋 東之 | 兼業 | サイエンス&テクノロジー株式会社 | 講師 | 2015/03 2015/03 |
| 2. | 高橋 東之 | 兼業 | サイエンス&テクノロジー株式会社 | 講師 | 2013/08 |
| 3. | 村上 雄太郎 | 非常勤講師 | 東京外国語大学 | 非常勤講師 | 1985/04 2015/03 |
| 4. | 菊地 賢司 | 兼業 | 総合科学研究機構 | 利用研究課題審査委員会分科会レフラー | |
| | | | | | 2014/07 2015/03 |
| 5. | 菊地 賢司 | 兼業 | 株式会社トータル・サポート・システム | インデクサー | |
| | | | | | 2014/05 2015/03 |
| 6. | 菊地 賢司 | 兼業 | 日本原子力学会春の年会現地委員 | 現地委員 | 2014/04 2015/03 |
| 7. | 菊地 賢司 | 兼業 | 日本原子力研究開発機構 | 研究嘱託 | 2009/04 2015/03 |
| 8. | 植木 誠一郎 | 非常勤講師 | 放送大学茨城学習センター | | 2014/04 |
| 9. | 平澤 剛 | 非常勤講師 | 国立大学法人 新潟大学 理学部 | | 2014/12 |

VI 国際交流

1. 国際交流実績

平成26年度の教員の海外渡航者，外国人研究者等の受入数の実績を下の表に示す。

国際交流の実績

項 目	経 費 区 分	人数
I 教員の海外渡航者数	(1) 国立大学法人	7
	(2) 科学研究費補助金	20
	(3) 学術振興会	0
	(4) その他	26
	計	55
II 外国人研究者等受入数	(1) 日本学術振興会	0
	(2) 外国政府機関等	1
	(3) 公益法人	1
	(4) 私費	2
	(5) その他	0
	計	4

2. 留学生の受入れと支援

所属と出身国に分けた留学生の受入状況を下の表に示す。

国費留学生の受入状況

(平成 26 年 4 月 1 日付け)

国 籍		国 費 留 学 生											小 計	合 計
区 分		バハレーン	ナイジェリア	中国	韓国	コソボ	マレーシア	エジプト	ポーランド	インドネシア	ウガンダ	サモア独立国		
学 部	1年次												0	0
													0	
	2年次												0	0
													0	
	3年次												0	0
													0	
	4年次												0	0
													0	
	留年生	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0	0
		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0	
大 学 院	1年次												0	0
													0	
	2年次										1		1	1
													0	
	留年生	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0	0
			/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0	
	1年次							1					1	1
													0	
	2年次												0	1
							1						1	
	3年次												0	1
													0	
	留年生	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0	0
		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0	
研究生 (学部)													0	0
研究生 (大学院)		1											1	1
科目等履修生 (学部)													0	0
科目等履修生 (大学院)													0	0
特別聴講学生 (学部)													0	0
特別聴講学生 (大学院)													0	0
小 計		1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	3	5
		0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2	

(上欄：男性，下欄：女性)

私費留学生の受入状況

国 籍		私 費 留 学 生															小 計	合 計	
区 分	中 国	インドネシア	ミャンマー	マレーシア	ベトナム	スリランカ	インド*	ハンガリア	台湾	ニュージーランド	韓国	エジプト	ニュージーランド	ネパール	フィリピン				
学 部	1年次	7			1												8	10	
	2年次				1	1												2	
			10			1	2											13	19
	3年次		2		1	3												6	
			4			2	7						1					14	16
	4年次		1			1												2	
			6			8	2											(1)	16
留年生	1	1		1	3				1		1						8		
	2		1		5						3						(1)	11	(1) 11
																	0		
大 学 院	1年次	7				1				1							9	15	
	2年次		4			1							1				6		
			7			2	1					1			1		12	15	
	留年生	3															3		
																	0	0	
																	0		
																	0		
院	1年次	4							1								5	7	
	2年次												1				2		
			2	1		2											5	5	
																	0		
	3年次	1					1						1				3	5	
	留年生		1				1											2	
																		0	0
																	0		
研究生 (学部)	3	1															4	6	
	2																2		
研究生 (大学院)																	0	0	
科目等履修生 (学部)																	0	0	
科目等履修生 (大学院)																	0	0	
特別聴講学生 (学部)	1																0	1	
特別聴講学生 (大学院)	1																1	2	
	1																1		
小 計	54	2	1	21	13	1	0	1	1	0	(2)	5	1	0	1	0	(2)	101	(2) 136
	16	1	0	5	8	0	1	0	1	0		1	2	0	0	0		35	
合 計	70	3	1	26	21	1	1	1	2	0	(2)	6	3	0	1	0	(2)	136	(2) 136

(平成26年4月1日付け)

(上欄：男性，下欄：女性，()内は休学者数の内訳)

奨学金受給者の一覧を下の表に示す。

区分		国費	マレーシア政府派遣	学習奨励費	茨城大学国際交流育英奨学金	アクモス株式会社	ロータリー米山	関東つくば銀行	神林留学生奨学金	実吉奨学会	朝鮮奨学金	短期留学推進制度	エジプト政府派遣	合計	
学部	1年次		1		1									2	
			1											1	
	2年次		1											1	
			1											1	
	3年次		2											2	
学部	2年次		2											2	
	4年次		10	2			2							14	
大学院	前期課程	1年次								1				1	
		2年次	1		1	1		2						5	
	後期課程	1年次	1		1										2
															0
		2年次	1			1									2
		3年次	1												1
	研究生(学部)	1												1	
	研究生(大学院)													0	
	特別聴講学生(学部)													0	
	特別聴講学生(大学院)													0	
小計		3	14	4	2	0	4	0	0	1	0	0	0	28	
		2	5	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	10	
合計		5	19	4	4	0	5	0	0	1	0	0	0	38	

(上欄：男性，下欄：女性)

チューターの実績

平成26年度は以下の24名の留学生に対してチューターが付けられた。

(学部生9名，博士前期課程学生4名，博士後期課程学生4名，研究生5名，特別聴講生2名)

3. 国際交流会館の概要と実績

国際交流会館の概要と実績を表に示す。

国際交流会館の概要

棟	区 分		部 屋 数
単 身 棟	留 学 生 用		14 部屋
	チューター用		1 部屋
	研 究 者 用		0 部屋
家 族 棟	夫 婦 室	留 学 生 用	2 部屋
	”	研 究 者 用	1 部屋
	家 族 室	留 学 生 用	1 部屋
	”	研 究 者 用	1 部屋
合 計			20 部屋

所在地：〒316-0036 日立市鮎川町6-10-3 (単身棟)

〒316-0036 日立市鮎川町6-10-4 (家族棟)

国際交流会館の26年度の実績(留学生のみ)

		入居希望応募者数	許可者数 (留学生)	居住者総数	部屋別
学 部 生	2 年 次	10	0	0	単 身 室
	3 年 次 以 上	6	3	3	
大 学 院 生	前 期 課 程	6	5	5	
	後 期 課 程	2	2	2	
学術交流協定大学留学生		0	0	3	
研 究 生 等 留 学 生		1	1	1	
学 部 生		1	1	2	夫 婦 室
大 学 院 生		1	1	2	
研 究 生 等		0	0	0	
学 部 生		0	0	0	家 族 室
大 学 院 生		2	1	3	
研 究 生 等		0	0	0	
合 計		29	14	21	

4. 大学間および学部間学術交流協定

大学間および学部間学術交流協定の状況を下表に示す.

大学名, 国名, 協定締結日

大 学	国 名	協 定 締 結 日	備 考
アラバマ大学バーミングハム校	アメリカ合衆国	1984 年11月12日	大学間
復旦大学	中華人民共和国	1988 年 3月27 日	大学間
忠北大学校	大韓民国	1991 年 5月 8日	大学間
デ・ラ・サール大学	フィリピン	1997 年 6月 2 日	大学間
浙江農業大学	中華人民共和国	1997 年11月10 日	大学間
イースタン・ワシントン大学	アメリカ合衆国	1999 年 2月16 日	大学間
ポーランド日本情報工科大学	ポーランド	2000 年 5月 1 日	学部間
武漢科技大学	中華人民共和国	2006 年 1月 1 日	学部間

あとかき

工学部年報2015をお届けします。お忙しい中で快く原稿をご提供下さった
総務係・学務第一係・学務第二係・専門職員（学務）・IT基盤センターならびに
各領域の方々に感謝いたします。

工学部広報委員 年報担当 佐藤直幸・車谷麻緒